

5 健康づくりに対する意識や状況

(1) 自身の現在の健康状態

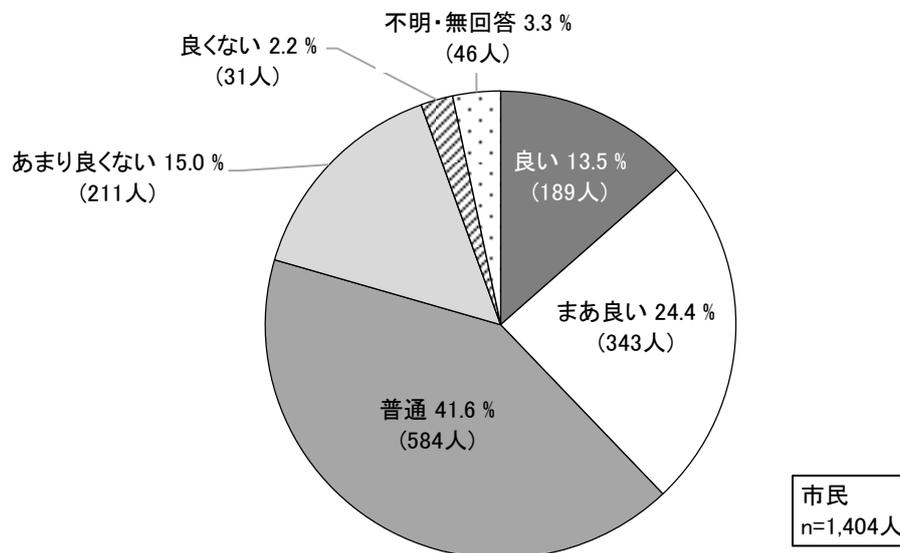
問27 あなたはご自身の現在の健康状態をどのように考えていますか。(○は1つだけ)

4割弱が「良い」「まあ良い」と回答

「良い」(13.5%)、「まあ良い」(24.4%)と回答した人を合わせた、健康状態が良いと感じている人の割合は4割弱(37.9%)となっている。

一方、「あまり良くない」(15.0%)、「良くない」(2.2%)と回答した人を合わせた、健康状態が良くないと感じている人の割合は2割弱(17.2%)となっている。

図 5.1 自身の現在の健康状態



【性別・年齢別】

「良い」「まあ良い」と回答した人を合わせた割合は、20歳代（52.9%）が最も高く、5割強となっている。

一方、「あまり良くない」「良くない」と回答した人を合わせた割合は、他の年代に比べ70歳以上（21.3%）でやや高くなっている。

図 5.1-2 自身の現在の健康状態（年齢別・全体）

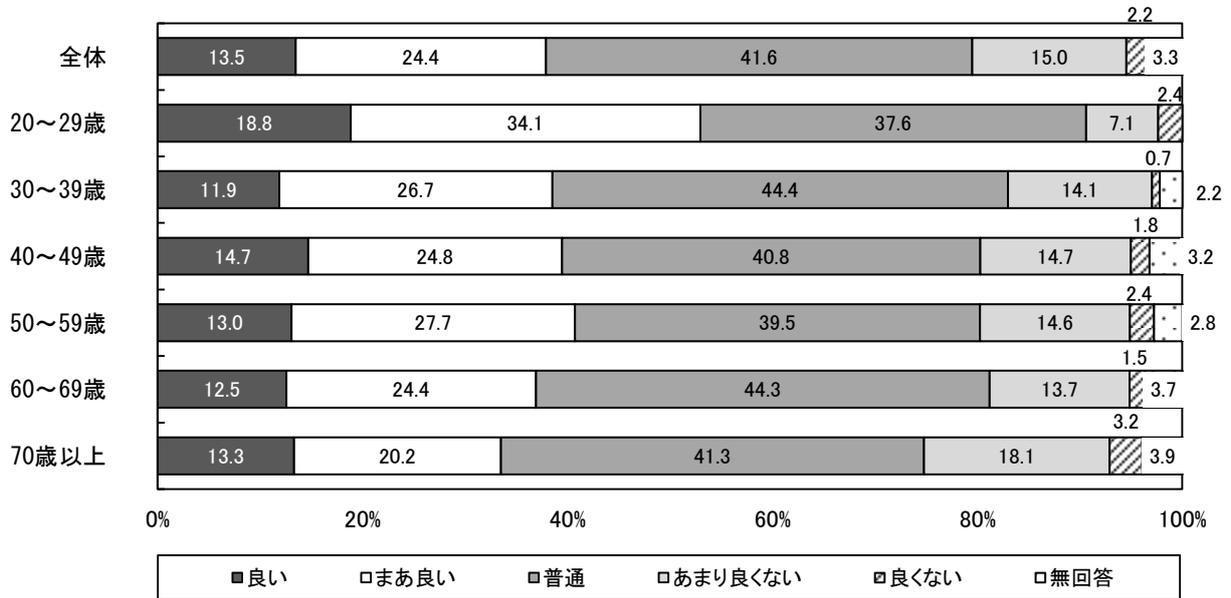
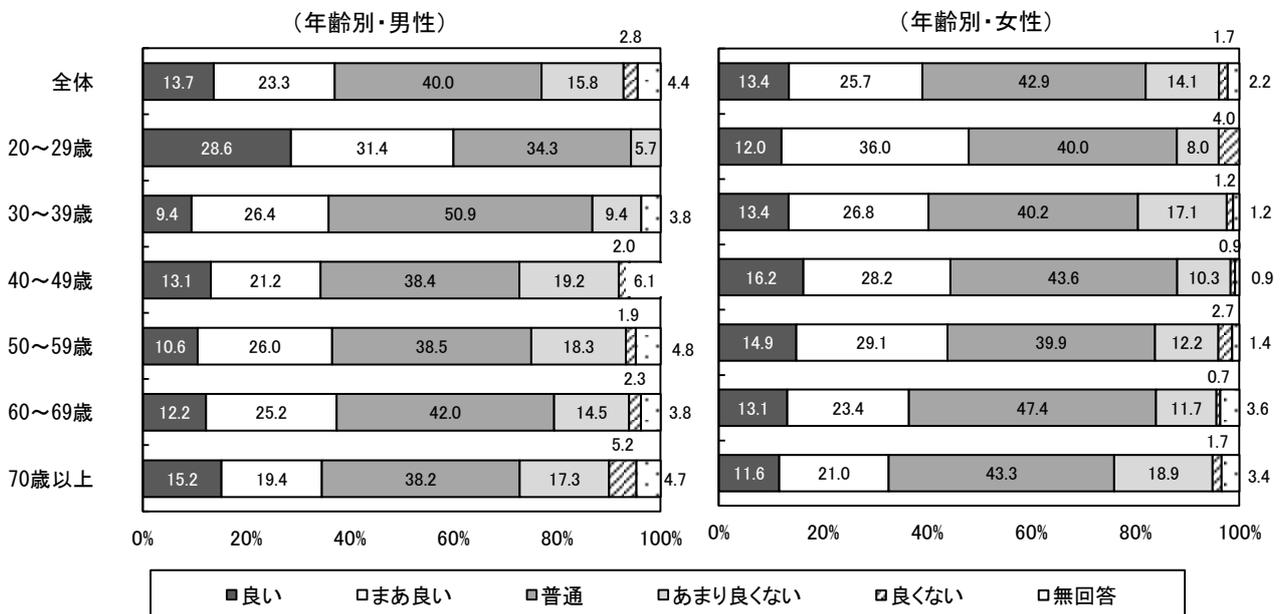


図 5.1-3 自身の現在の健康状態



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	46
男性	613	35	53	99	104	131	191	27
女性	767	50	82	117	148	137	233	17

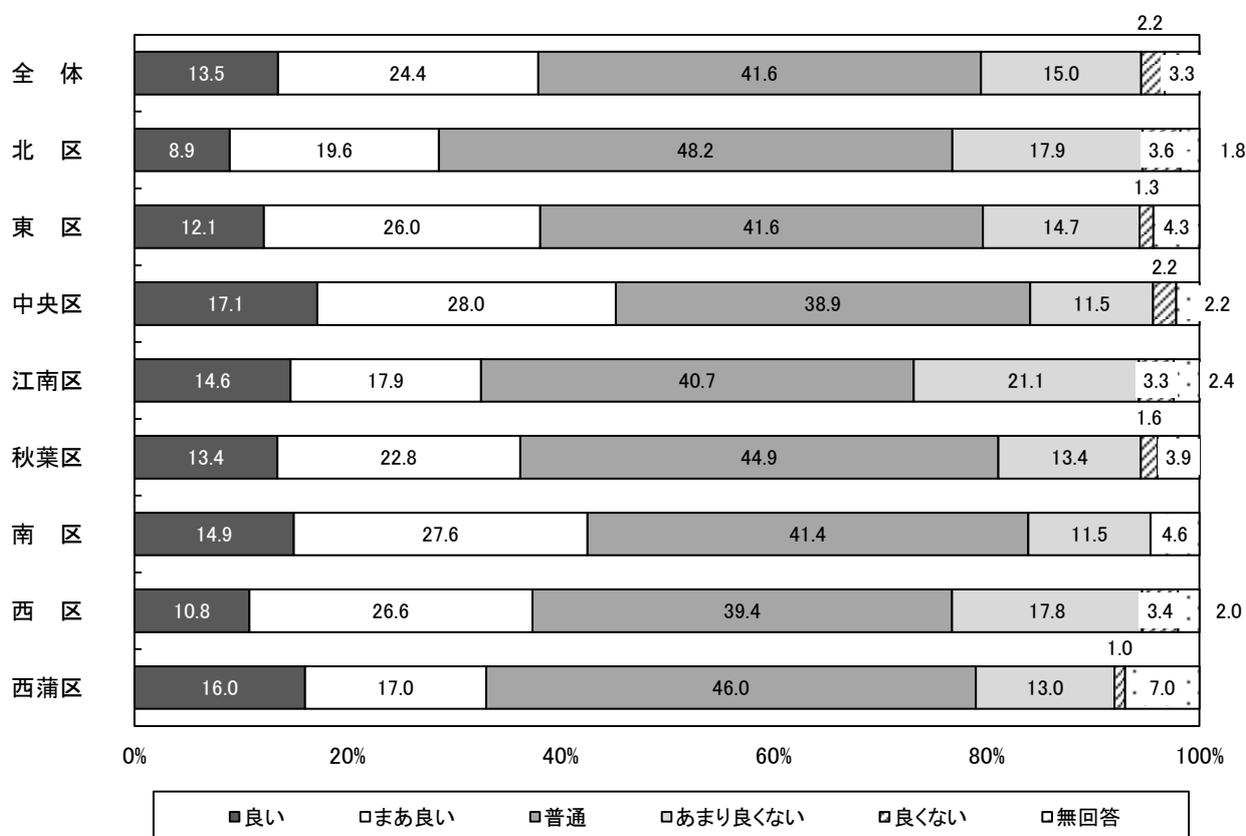
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「良い」「まあ良い」と回答した人を合わせた割合は、中央区（45.2%）で最も高くなっている。一方、「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合では、江南区（24.4%）が最も高くなっている。

図 5.1-4 自身の現在の健康状態（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

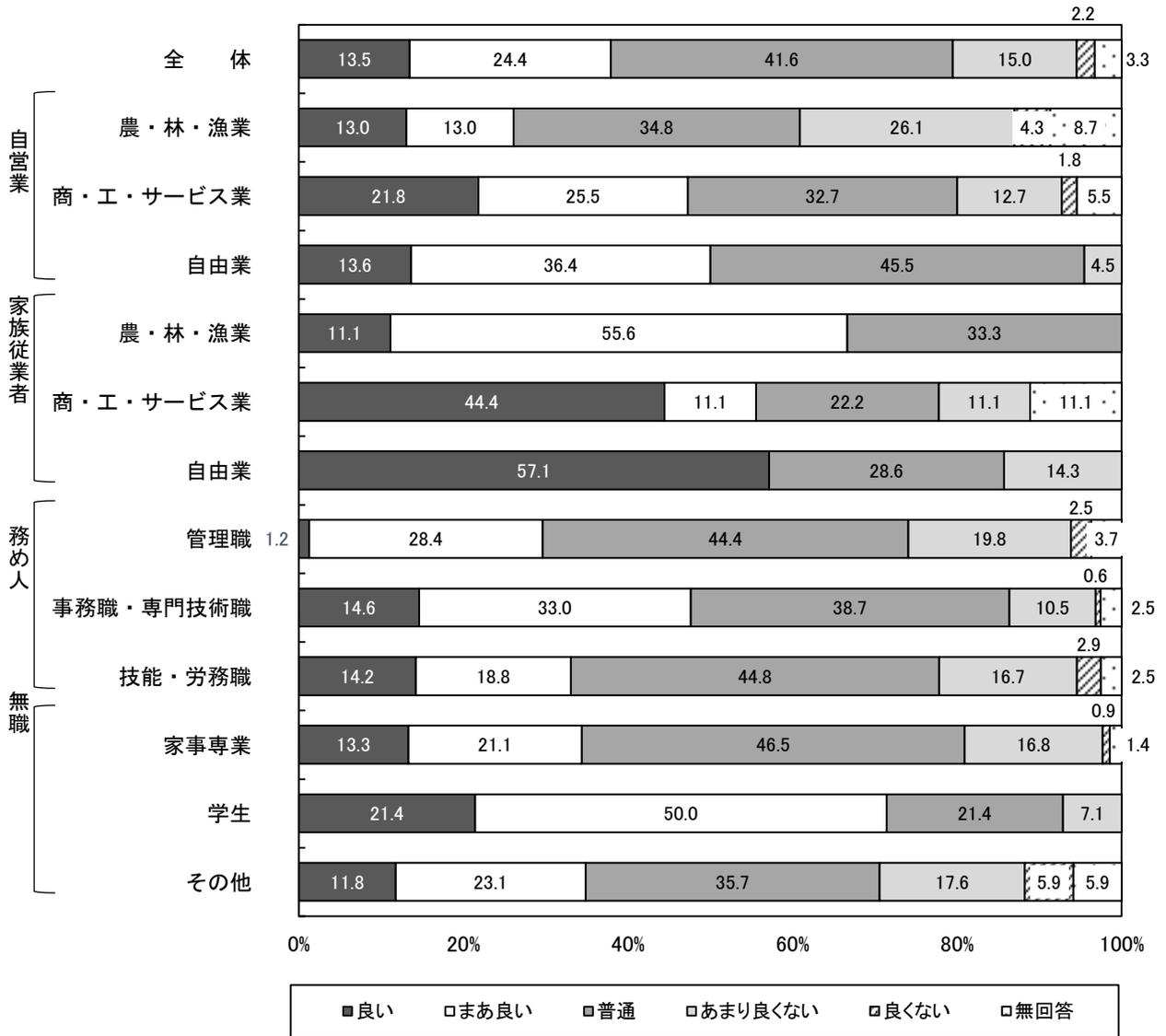
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.1-5 自身の現在の健康状態（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

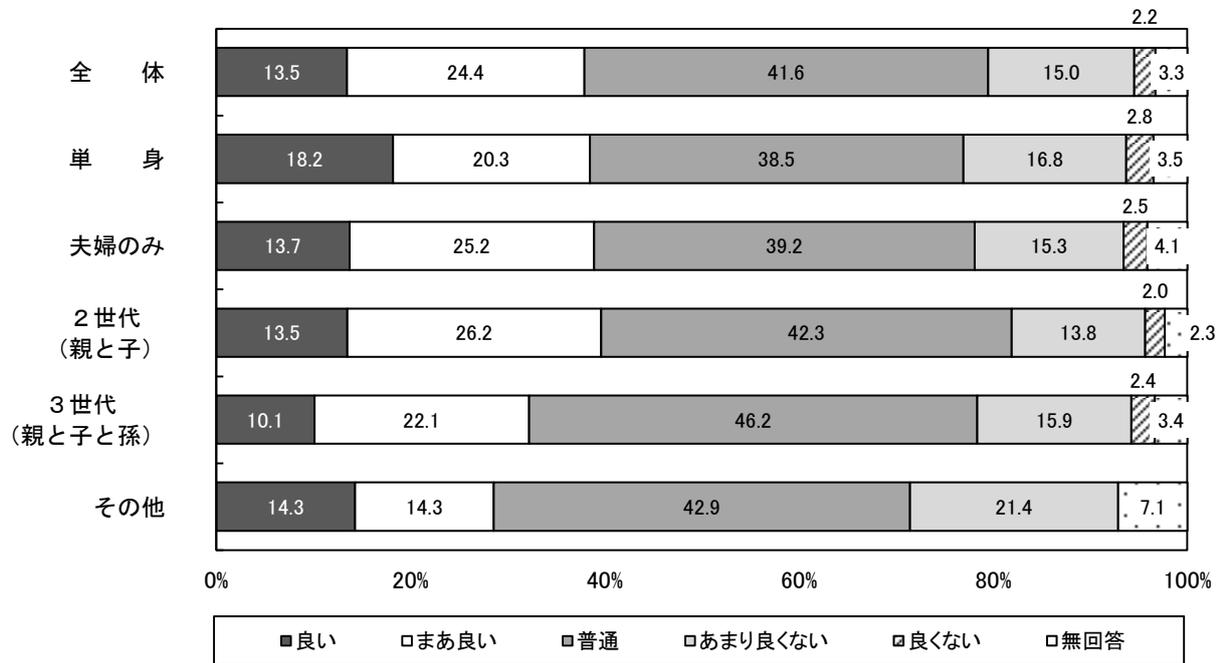
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「良い」「まあ良い」を合わせた割合は、2世代（39.6%）で最も高く、一方、「あまり良くない」「良くない」を合わせた割合は、その他（21.4%）で最も高くなっている。

図 5.1-6 自身の現在の健康状態（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(2) 睡眠による休養

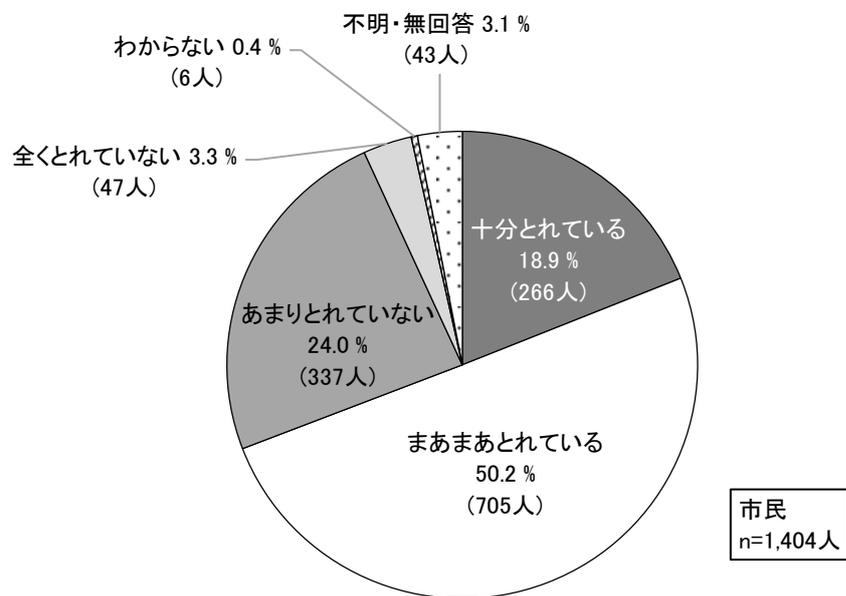
問28 あなたはいつもとっている睡眠で休養が十分とれていると思いますか。(○は1つだけ)

7割弱が睡眠による休養がとれていると回答

睡眠による休養が「十分とれている」(18.9%)、「まあまあとれている」(50.2%)と回答した人を合わせた割合は7割弱(69.2%)となっている。

一方、「あまりとれていない」(24.0%)、「全くとれていない」(3.3%)と回答した人を合わせた割合は3割弱(27.3%)となっている。

図 5.2 睡眠による休養



【性別・年齢別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、70歳以上で高く、8割を超えている。

性別では、20歳～29歳、60歳代以上で、男性の方が「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合が高くなっている。

図 5.2-2 睡眠による休養（年齢別・全体）

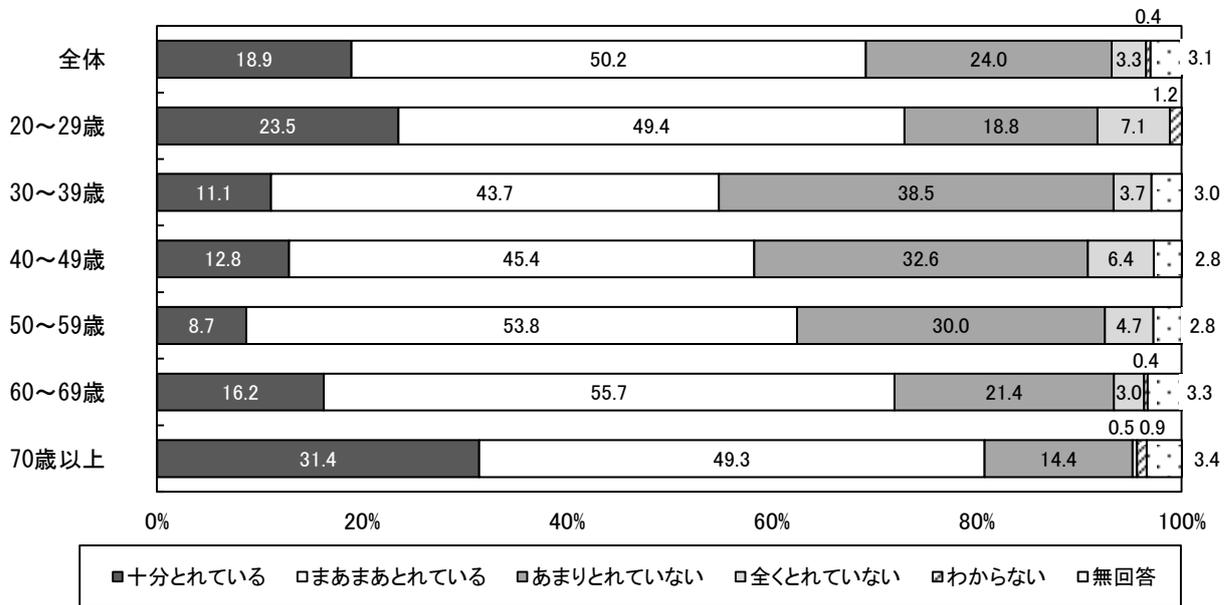
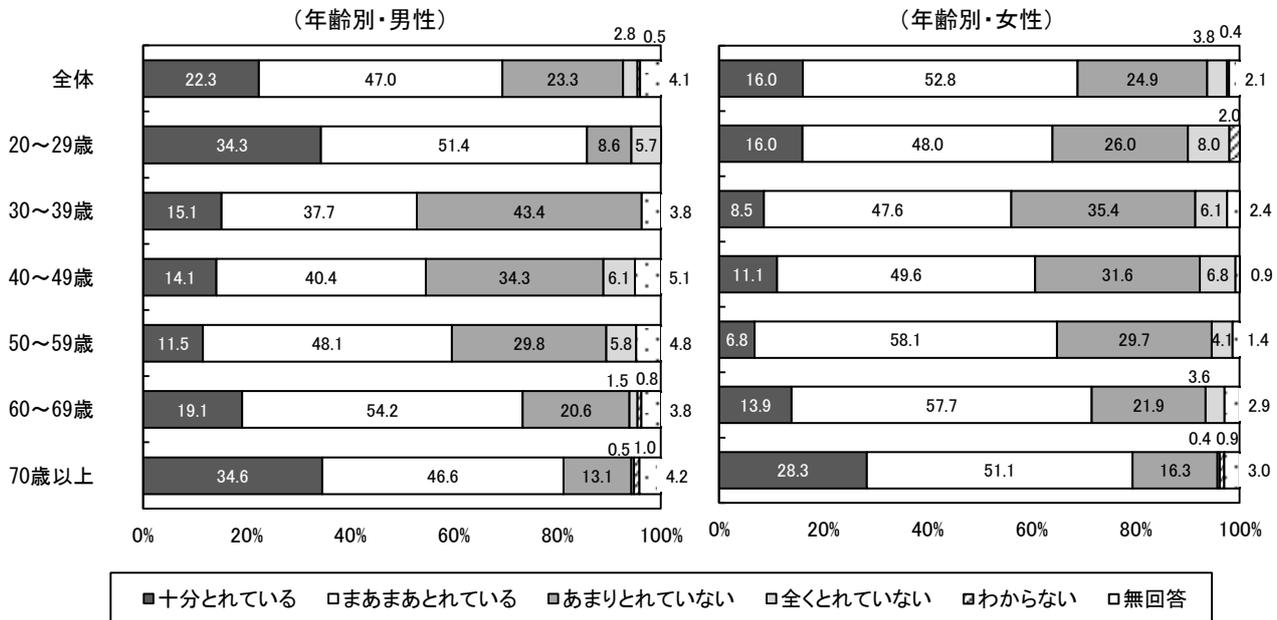


図 5.2-3 睡眠による休養



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
全体	1,404	85	135	218	253	271	436
男性	613	35	53	99	104	131	191
女性	767	50	82	117	148	137	233

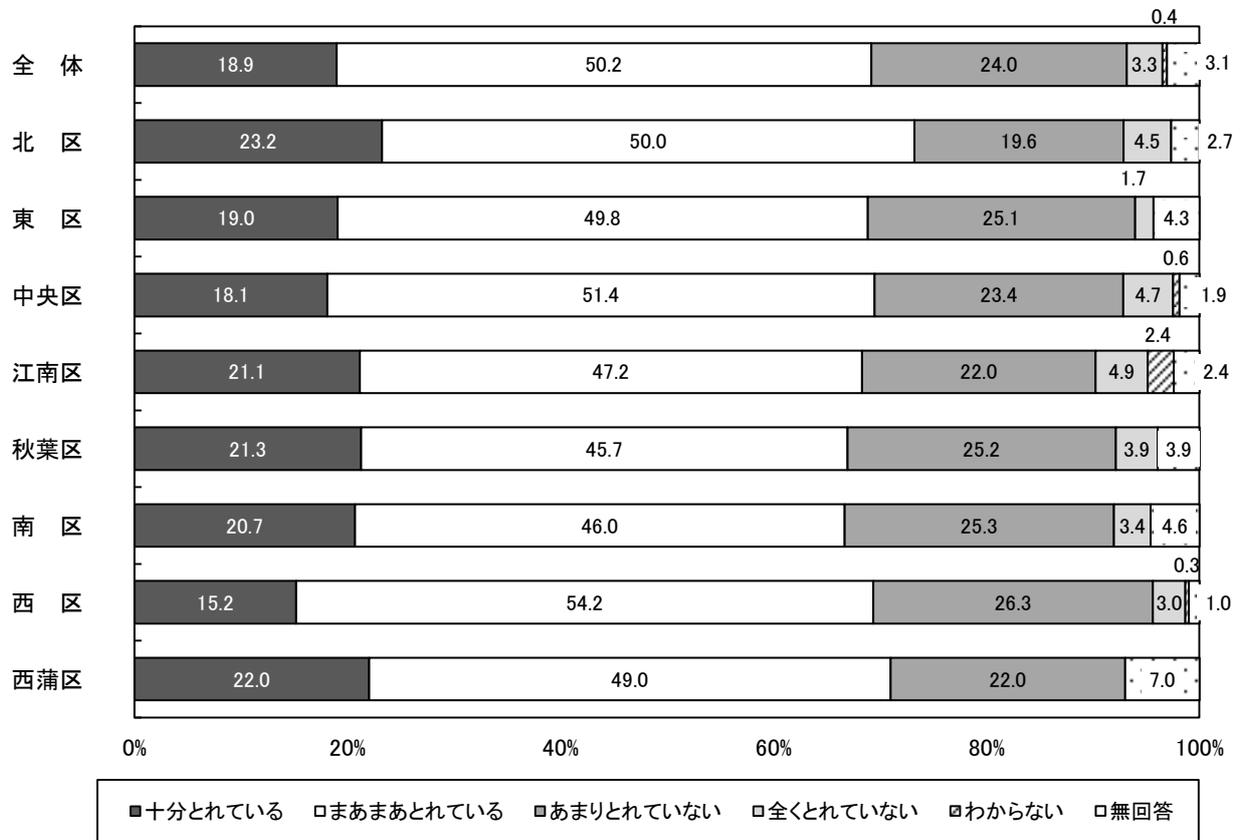
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、北区（73.2%）で最も高くなっている。

図 5.2-4 睡眠による休養（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

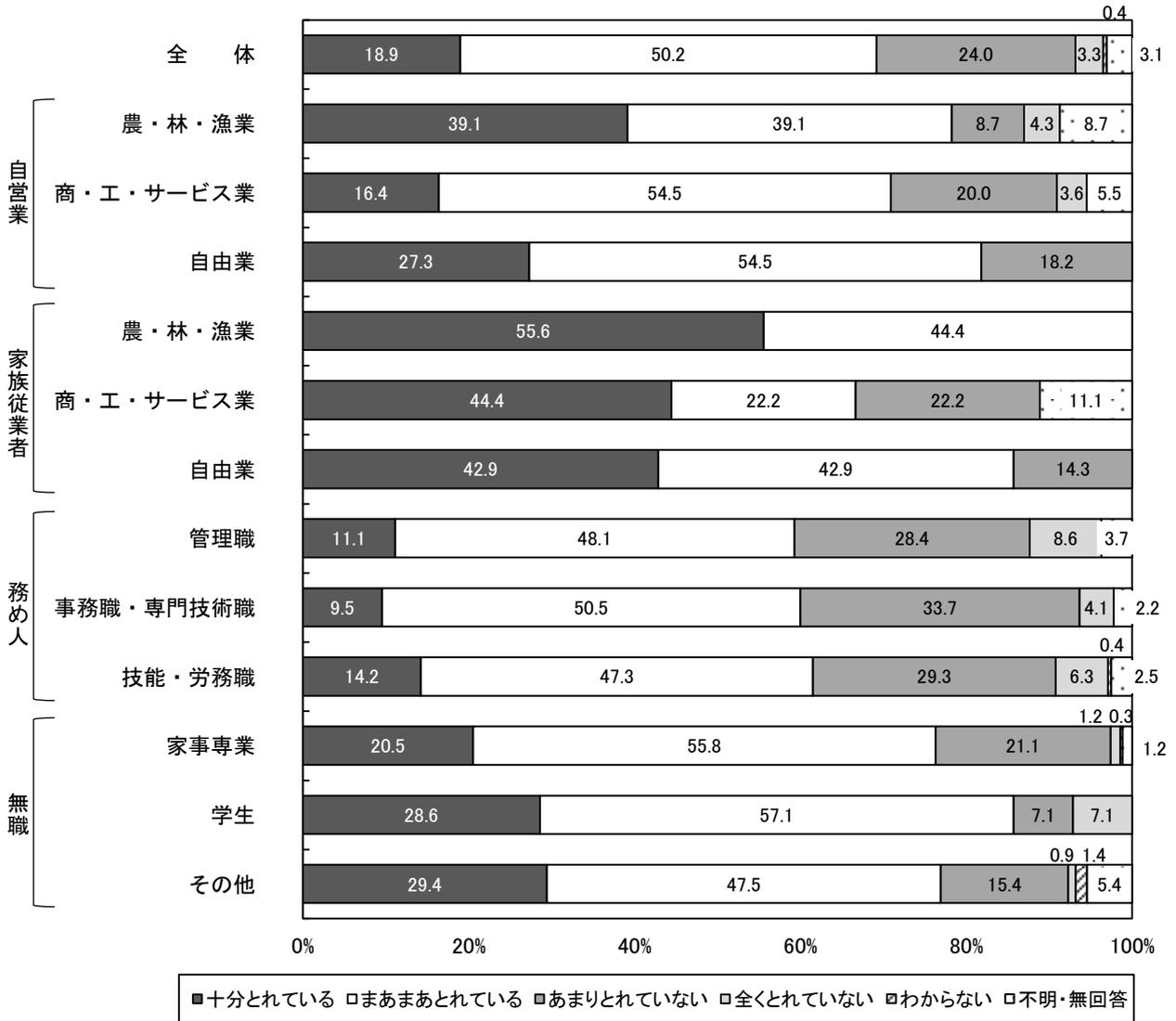
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.2-5 睡眠による休養（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

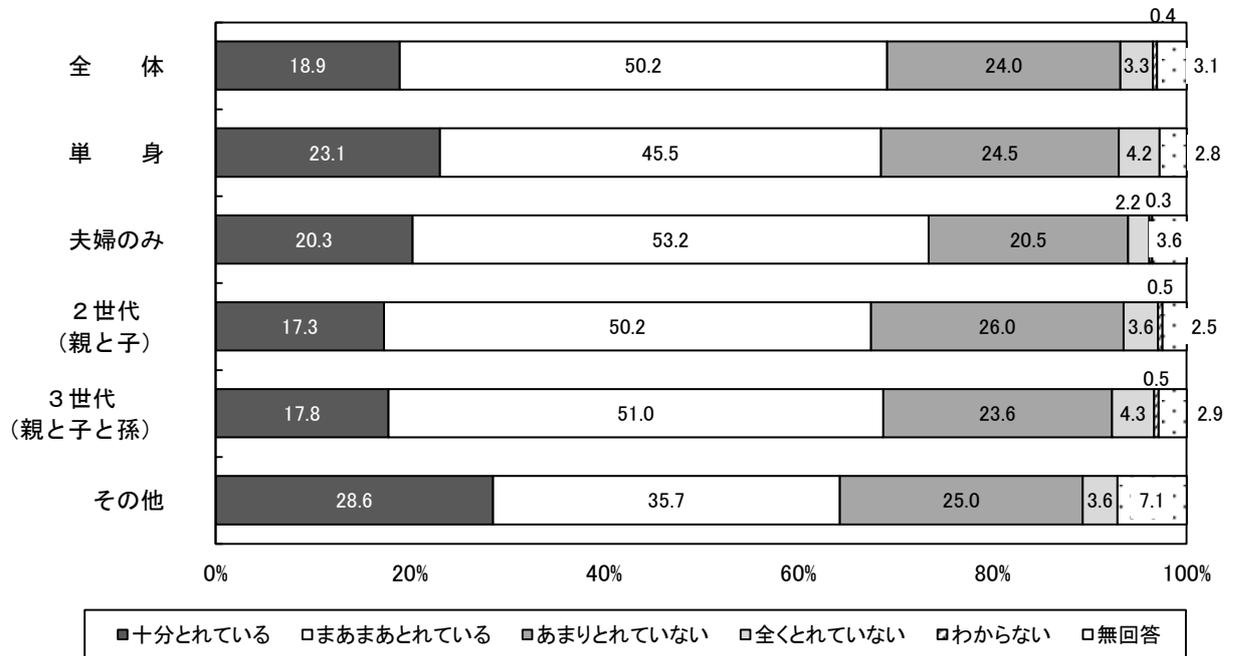
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「十分とれている」「まあまあとれている」を合わせた割合は、夫婦のみ（73.4%）で最も高くなっている。

図 5.2-6 睡眠による休養（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

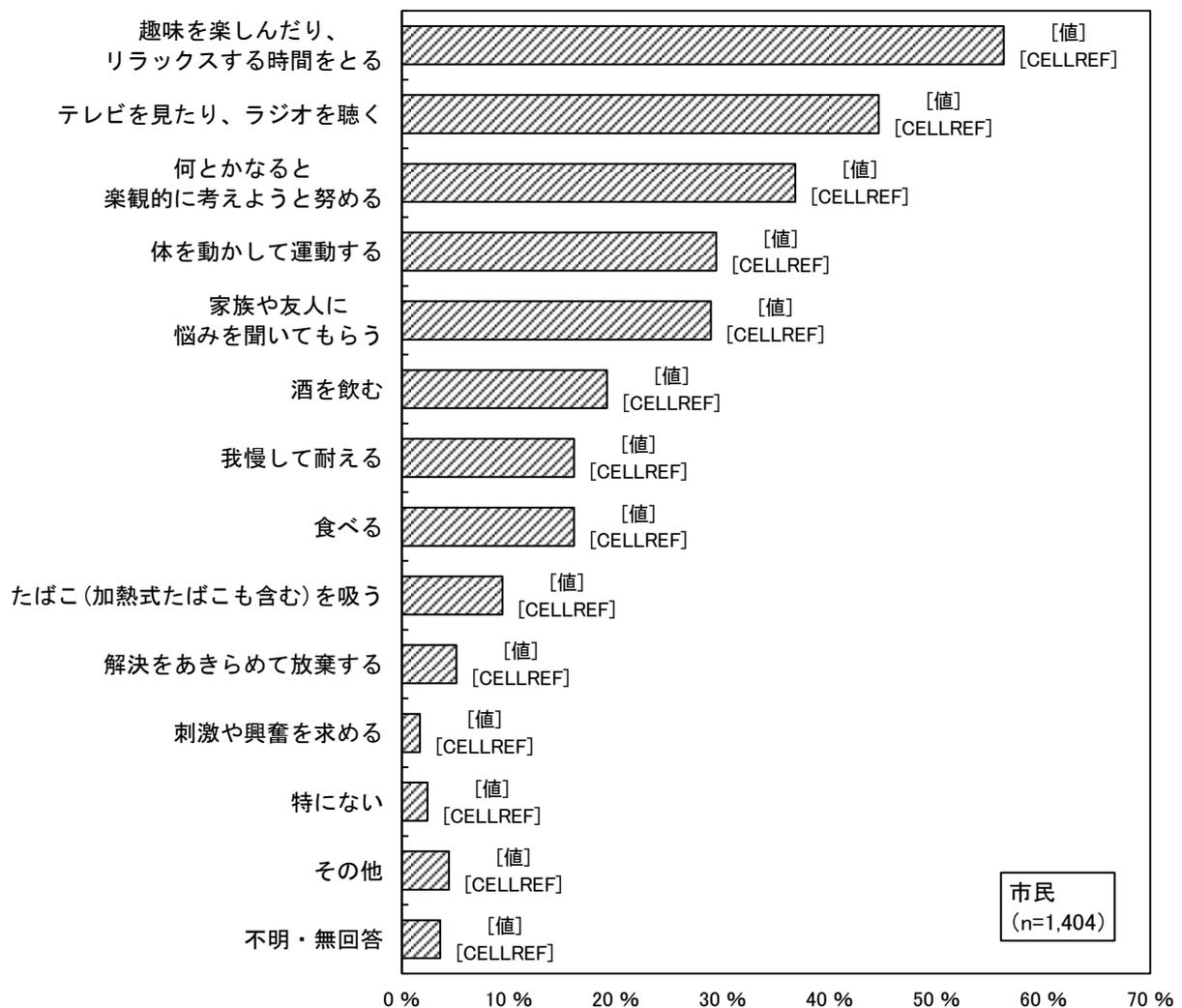
(3) ストレスがある時の対処法

問29 ストレスがある時の対処法は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

6割弱が「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答

ストレスがある時の対処法については、「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答した人が6割弱(56.3%)と最も多く、以下「テレビを見たり、ラジオを聴く」(44.6%)、「何とかできると楽観的に考えようと努める」(36.8%)、「体を動かして運動する」(29.4%)、「家族や友人に悩みを聞いてもらう」(28.9%)と続いている。

図 5.3 ストレスがある時の対処法



【性別・年齢別】

70歳以上では「テレビを見たり、ラジオを聴く」と回答した人の割合が最も高く、60歳代以下では「趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる」と回答した人の割合が最も高くなっている。

性別では「体を動かして運動する」「我慢して耐える」「たばこを吸う」の割合は、男性の方が高く、「家族や友人に悩みを聞いてもらう」「食べる」の割合は、女性の方が高くなっている。

表 7.1 ストレスがある時の対処法（年齢別・全体）

	対象者	趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかなると楽観的に考えようと努める	体を動かして運動する	家族や友人に悩みを聞いてもらう	酒を飲む	我慢して耐える	食べる	たばこ(加熱式たばこも含む)を吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	特にない	その他	無回答
全体	1,404	56.3	44.6	36.8	29.4	28.9	19.2	16.1	16.1	9.4	5.1	1.7	2.4	4.4	3.6
20～29歳	85	77.6	37.6	36.5	36.5	40.0	16.5	15.3	27.1	8.2	10.6	10.6	2.4	5.9	0.0
30～39歳	135	62.2	31.9	28.9	20.7	31.1	21.5	27.4	34.8	14.1	9.6	2.2	1.5	8.9	2.2
40～49歳	218	58.7	42.7	34.9	22.9	33.9	33.5	19.3	23.9	17.4	6.0	1.4	2.3	4.1	3.7
50～59歳	253	64.0	48.6	39.9	28.1	38.3	26.1	16.2	22.1	9.5	6.3	1.6	0.8	2.8	2.8
60～69歳	271	56.5	45.0	37.3	32.8	28.8	17.0	14.8	9.6	9.6	2.2	0.4	1.1	3.0	4.1
70歳以上	436	45.0	48.6	38.3	32.6	18.3	9.6	12.2	5.0	4.1	3.4	0.7	4.4	4.8	4.6
年齢不明	6	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	33.3

対象者：人/回答：%

表 7.2 ストレスがある時の対処法（年齢別・男性）

	対象者	趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかなると楽観的に考えようと努める	体を動かして運動する	家族や友人に悩みを聞いてもらう	酒を飲む	我慢して耐える	食べる	たばこ(加熱式たばこも含む)を吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	特にない	その他	無回答
計	613	55.6	43.2	30.5	36.2	12.9	28.7	18.8	12.2	15.7	4.7	2.4	3.8	3.3	4.9
20～29歳	35	77.1	34.3	28.6	57.1	37.1	8.6	17.1	20.0	8.6	5.7	8.6	2.9	5.7	0.0
30～39歳	53	60.4	32.1	34.0	32.1	15.1	34.0	34.0	26.4	22.6	9.4	3.8	3.8	5.7	3.8
40～49歳	99	56.6	42.4	31.3	31.3	13.1	39.4	24.2	23.2	24.2	7.1	3.0	4.0	2.0	5.1
50～59歳	104	65.4	48.1	28.8	29.8	20.2	42.3	18.3	15.4	18.3	4.8	3.8	1.9	1.0	4.8
60～69歳	131	52.7	43.5	27.5	38.9	9.2	31.3	19.1	3.8	18.3	3.1	0.0	2.3	2.3	5.3
70歳以上	191	46.6	45.5	32.5	37.7	6.3	16.2	12.0	5.2	7.3	3.1	1.6	5.8	4.7	5.8
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 7.3 ストレスがある時の対処法（年齢別・女性）

	対象者	趣味を楽しんだり、リラックスする時間をとる	テレビを見たり、ラジオを聴く	何とかなると楽観的に考えようと努める	体を動かして運動する	家族や友人に悩みを聞いてもらう	酒を飲む	我慢して耐える	食べる	たばこ(加熱式たばこも含む)を吸う	解決をあきらめて放棄する	刺激や興奮を求める	特にない	その他	無回答
計	767	57.2	45.8	41.9	24.0	42.0	11.9	14.1	19.4	4.4	5.5	1.0	1.3	5.5	2.5
20～29歳	50	78.0	40.0	42.0	22.0	42.0	22.0	14.0	32.0	8.0	14.0	12.0	2.0	6.0	0.0
30～39歳	82	63.4	31.7	25.6	13.4	41.5	13.4	23.2	40.2	8.5	9.8	1.2	0.0	11.0	1.2
40～49歳	117	61.5	43.6	38.5	16.2	51.3	29.1	15.4	24.8	11.1	5.1	0.0	0.9	6.0	2.6
50～59歳	148	62.8	48.6	48.0	27.0	51.4	14.9	14.9	27.0	3.4	7.4	0.0	0.0	4.1	1.4
60～69歳	137	59.9	46.0	46.7	26.3	48.2	2.9	10.9	14.6	0.7	1.5	0.7	0.0	3.6	2.9
70歳以上	233	43.3	51.1	42.5	28.8	27.9	3.9	11.6	4.7	1.7	3.4	0.0	3.4	5.2	3.9
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

(4) 定期的に継続している運動の実施状況

問30 あなたは、定期的に継続して運動や散歩等を行っていますか。(○は1つだけ)

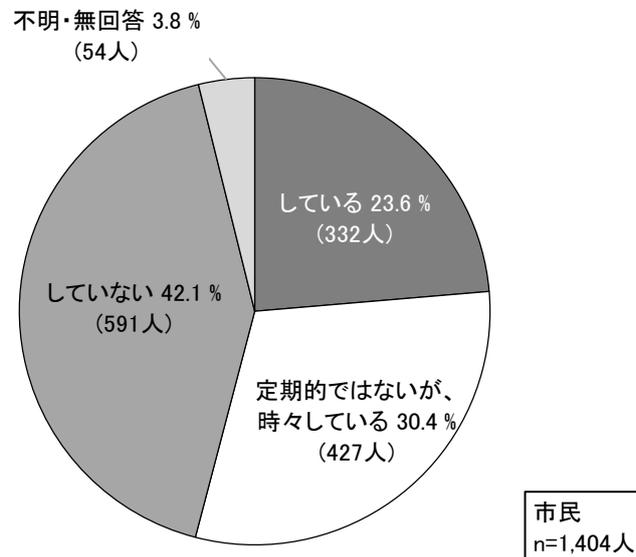
※「定期的に継続して」とは、1回30分以上、かつ週2日以上、かつ1年以上続けていることをいいます。

5割強が運動を実施していると回答

【全体結果】

定期的に継続している運動の実施状況については、「している」(23.6%)、「定期的ではないが、時々している」(30.4%)と回答した人を合わせた割合は5割強(54.1%)となっている。一方、「していない」と回答した人が4割強(42.1%)となっている。

図 5.4 定期的に継続している運動の実施状況



【性別・年齢別】

「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合は、70歳以上（60.3%）で最も高く、30歳代（43.7%）で最も低くなっている。30歳代と40歳代では、「していない」と回答した人が半数を超えた。

性別では、「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合は、50歳代を除き、女性より男性で高くなっている。

図 5.4-2 定期的に継続した運動の有無（年齢別・全体）

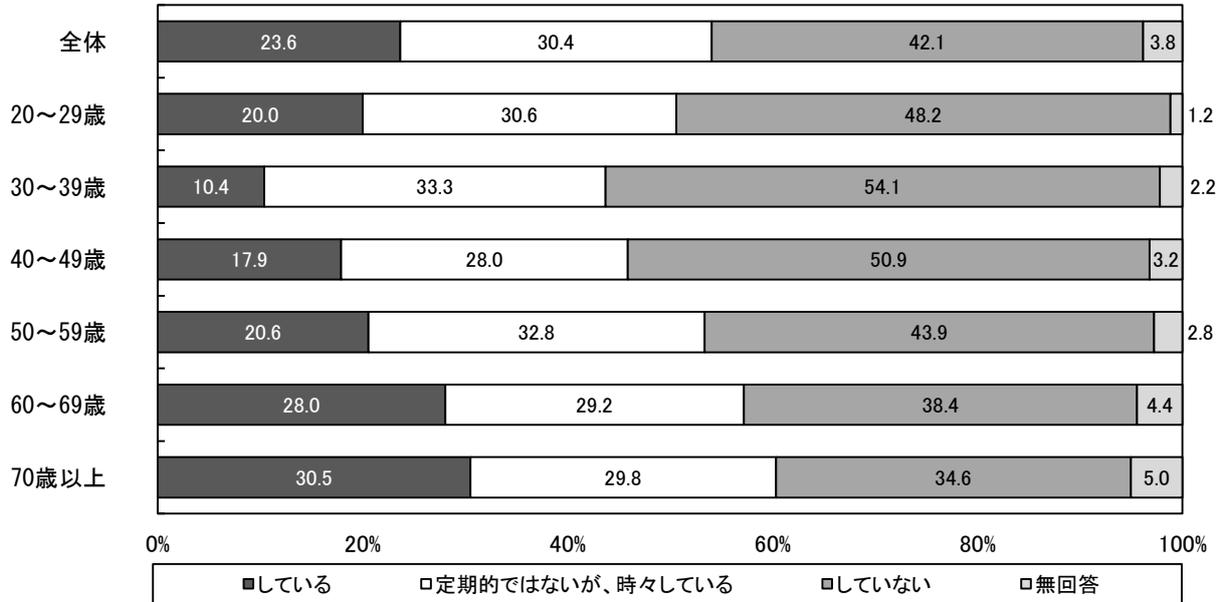
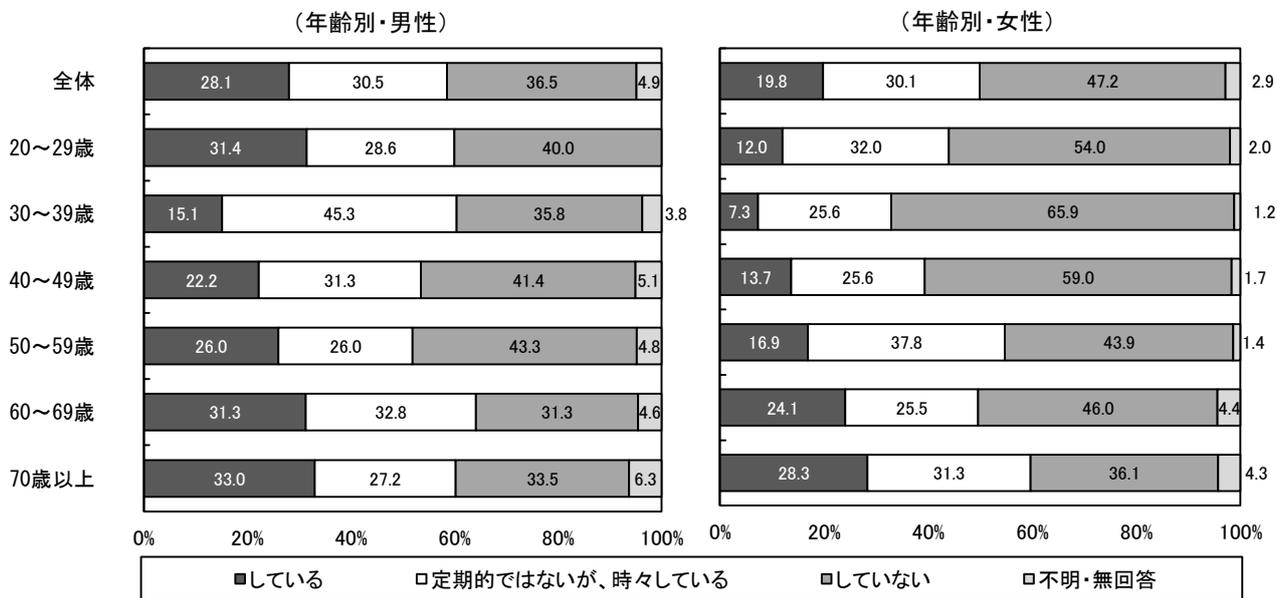


図 5.4-3 定期的に継続した運動の有無



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	46
男性	613	35	53	99	104	131	191	27
女性	767	50	82	117	148	137	233	17

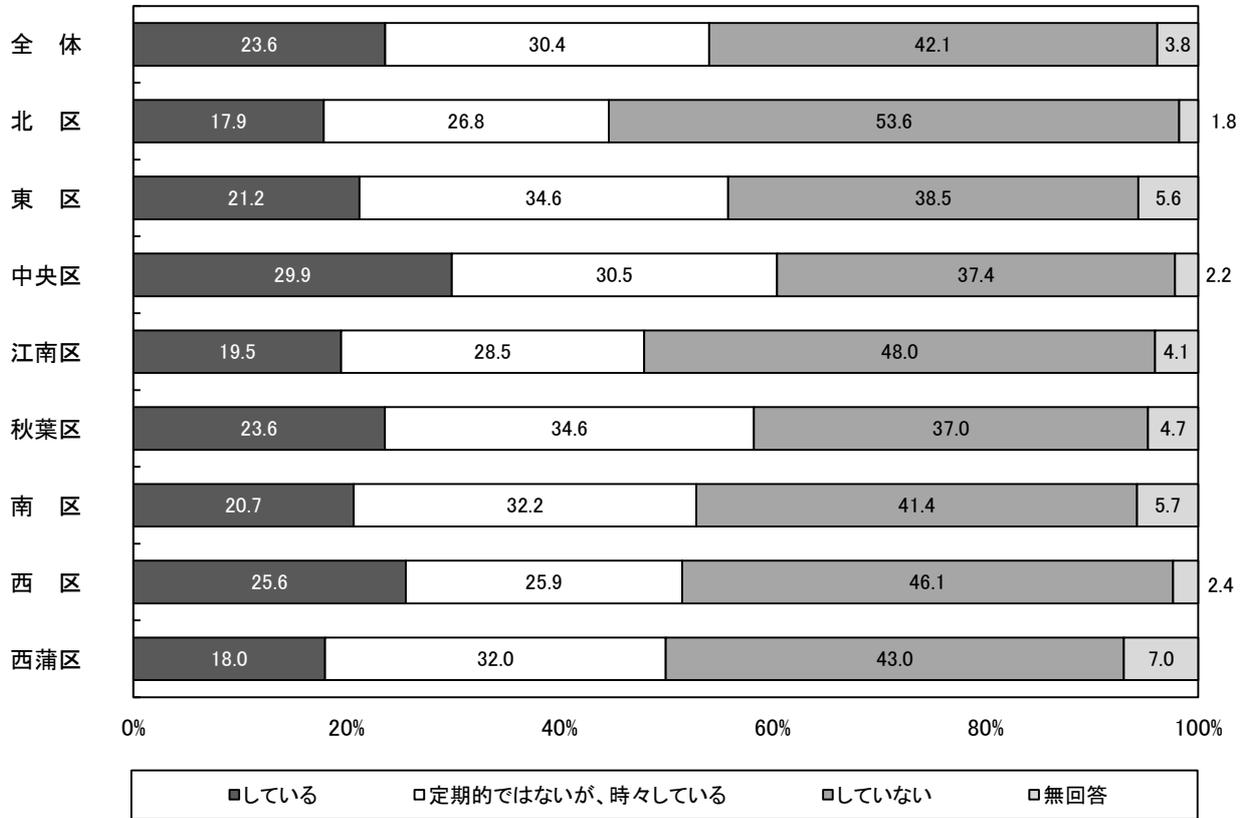
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合は、中央区（60.4%）で最も高くなっている。北区、江南区を除き、「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合が、「していない」と答えた割合を上回っている。

図 5.4-4 定期的に継続した運動の有無（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

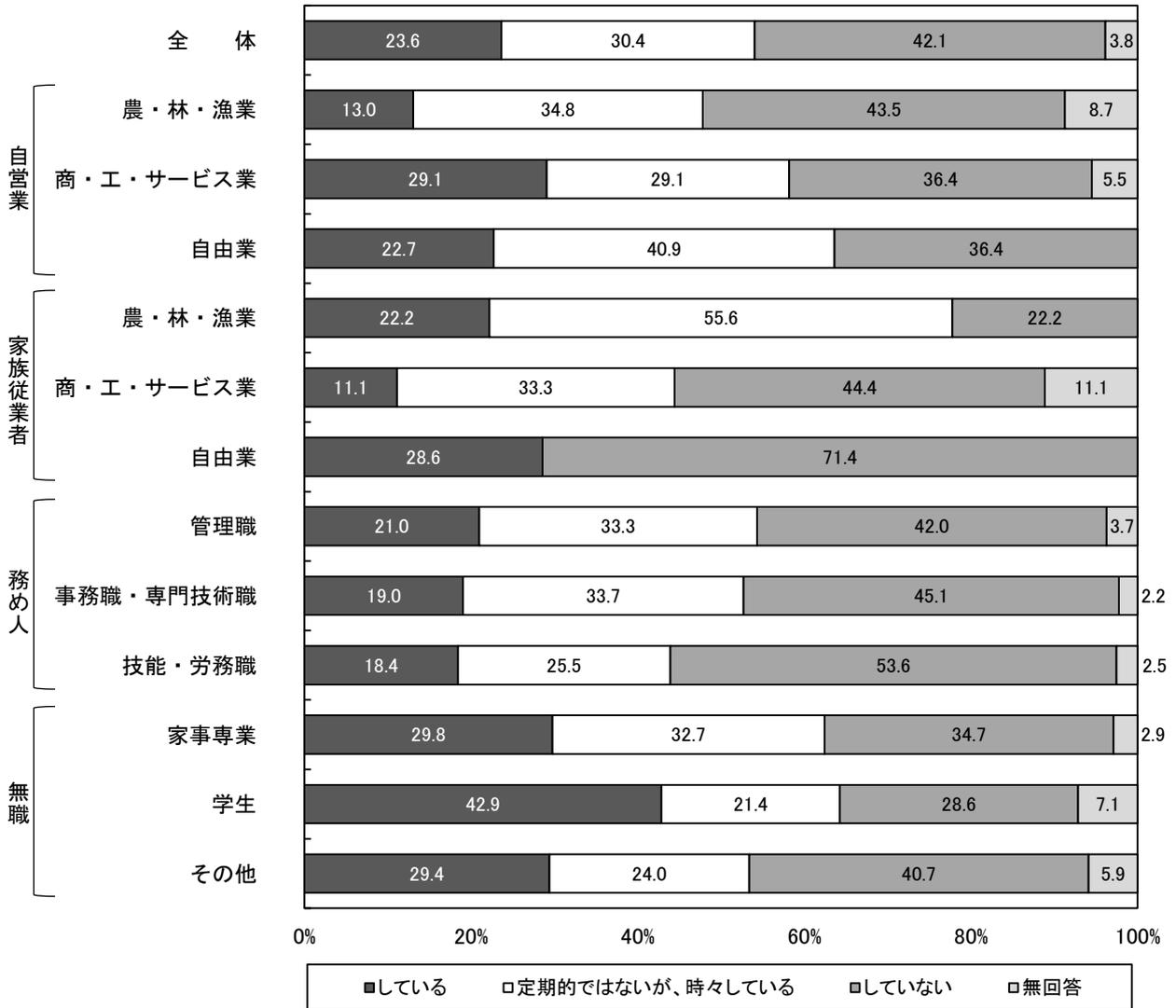
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.4-5 定期的に継続した運動の有無（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

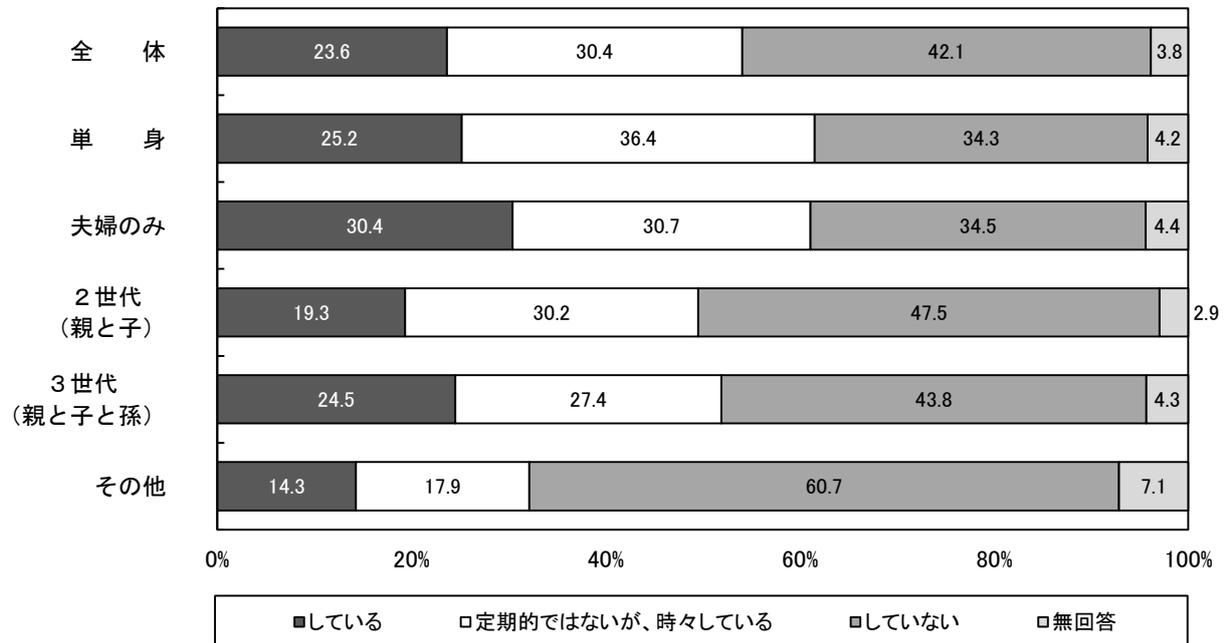
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「している」「定期的ではないが、時々している」を合わせた割合は、単身(61.5%)と夫婦のみ(61.1%)で高く、6割を超えている。

図 5.4-6 定期的に継続した運動の有無（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

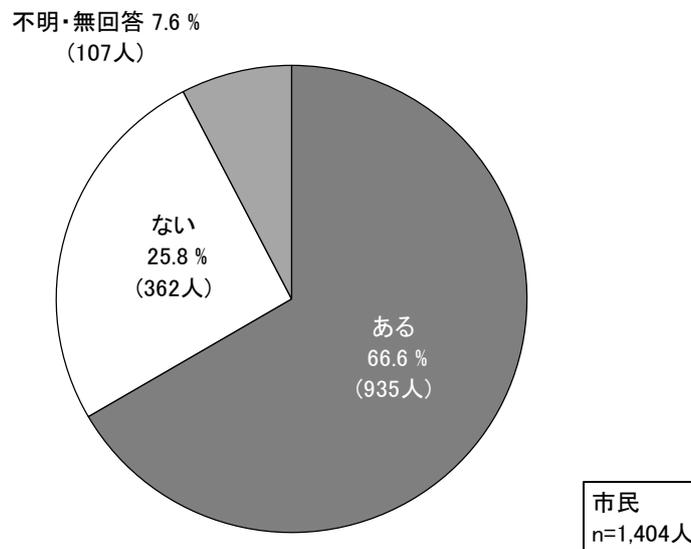
(5) 1週間に10分以上続けて歩くことの有無

問31 あなたは、平均的な1週間で、10分以上続けて歩くことは何日ありますか。
※ここで歩くとは、仕事や日常生活で歩くこと、ある場所からある場所へ移動すること、あるいは趣味や運動としてのウォーキング、散歩など全てを含みます。(〇は1つだけ)

7割弱が1週間に10分以上続けて歩くことが「ある」と回答

1週間に10分以上続けて歩くことが「ある」と回答した人の割合が7割弱(66.6%)となっている。一方、「ない」と回答した人の割合は3割弱(25.8%)となっている。

図 5.5 1週間に10分以上続けて歩くことの有無



【性別・年齢別】

「ある」と回答した人の割合は、20歳代（72.9%）で最も高く、30歳代（59.3%）で最も低くなっている。

性別では、「ある」の割合は、40歳代と50歳代を除き、女性より男性で高くなっている。

図 5.5-2 1週間に10分以上続けて歩くことの有無（年齢別・全体）

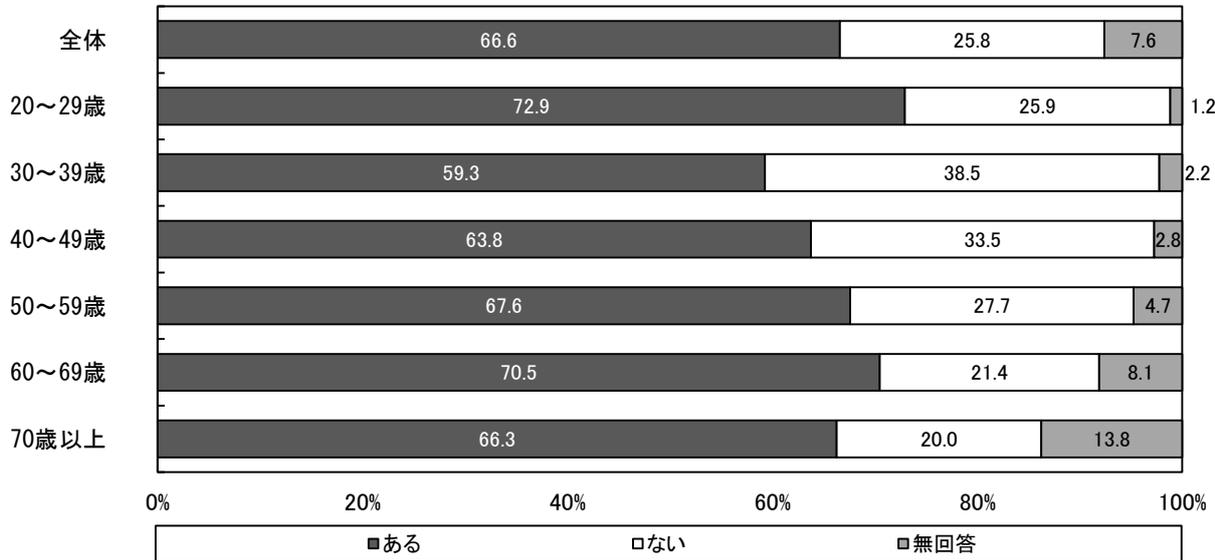
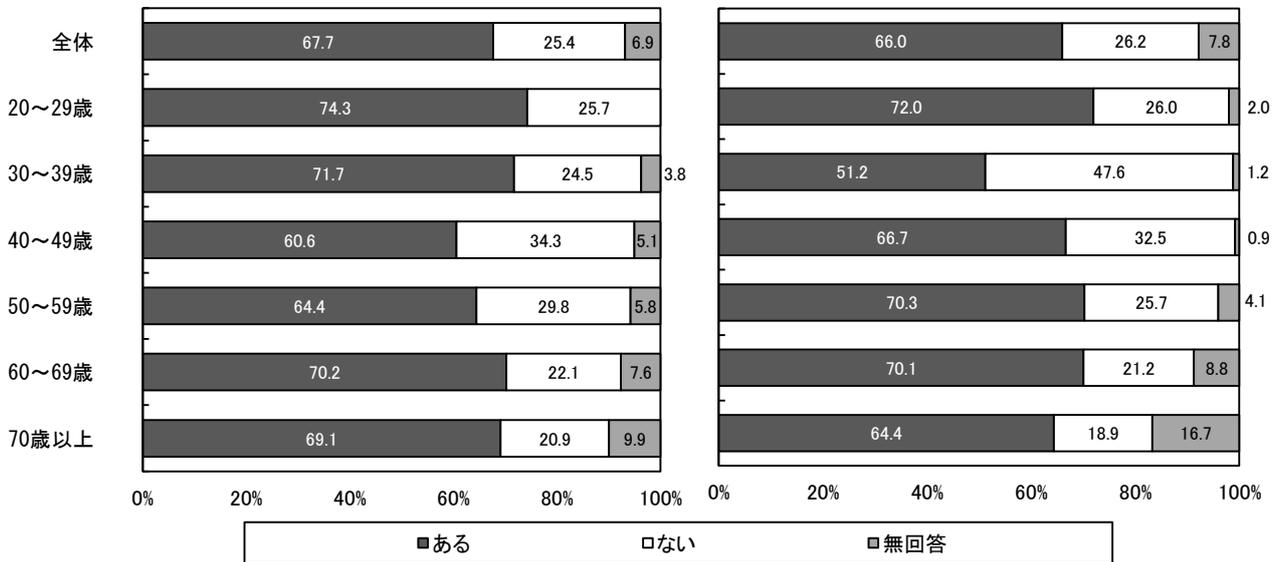


図 5.5-3 1週間に10分以上続けて歩くことの有無
（年齢別・男性）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	46
男性	613	35	53	99	104	131	191	27
女性	767	50	82	117	148	137	233	17

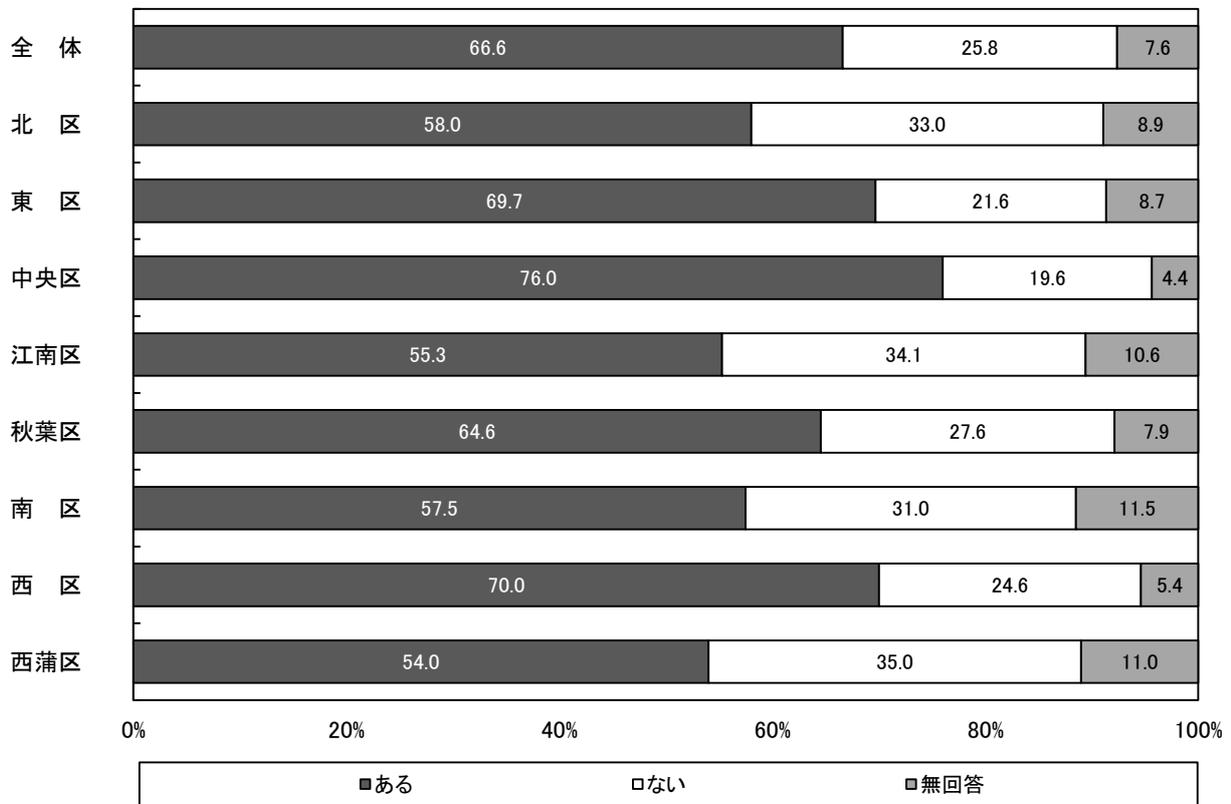
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「ある」の割合は、中央区（76.0%）が最も高く、西蒲区（54.0%）が最も低くなっている。

図 5.5-4 1週間に10分以上続けて歩くことの有無（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

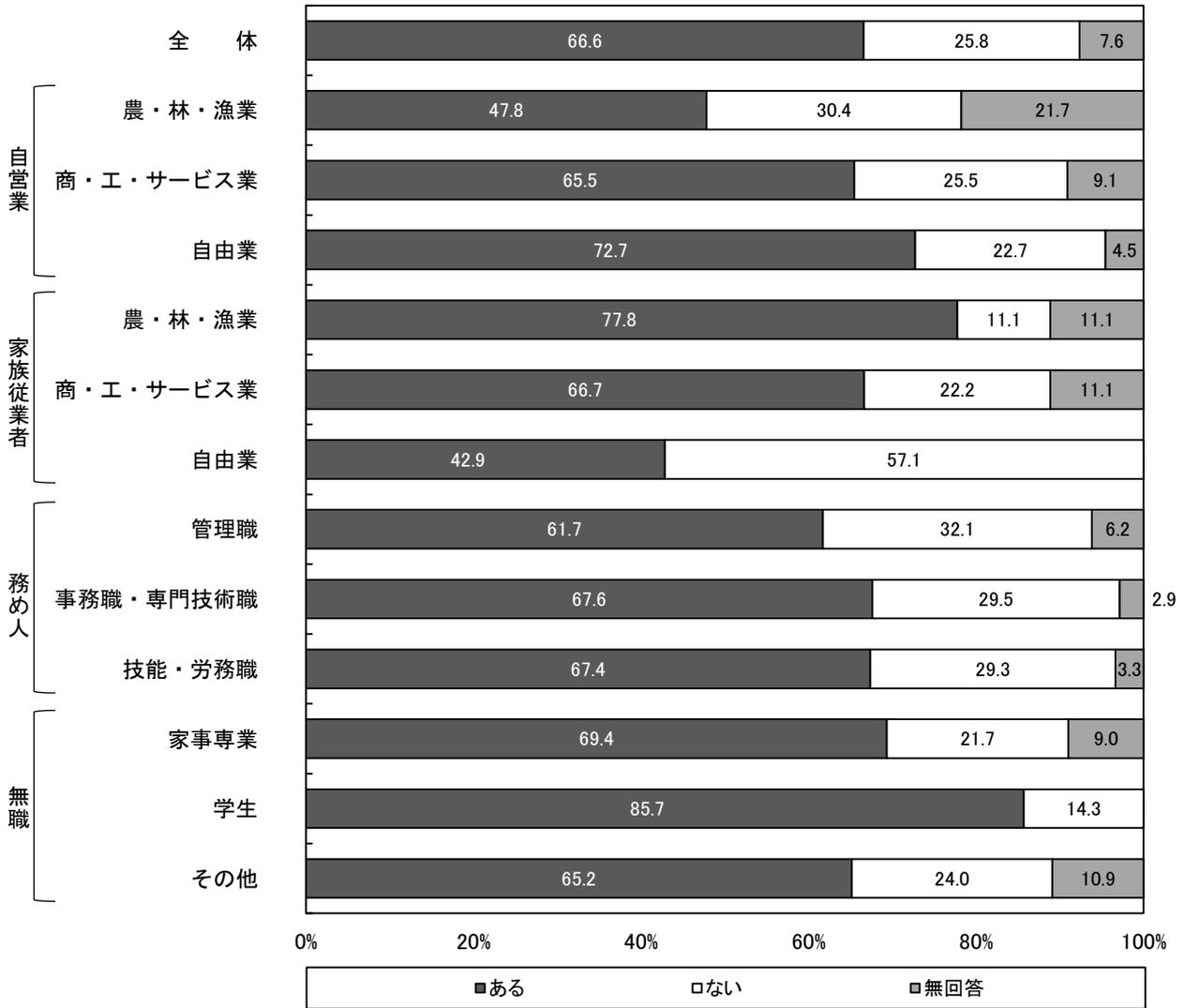
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.5-5 1週間に10分以上続けて歩くことの有無（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

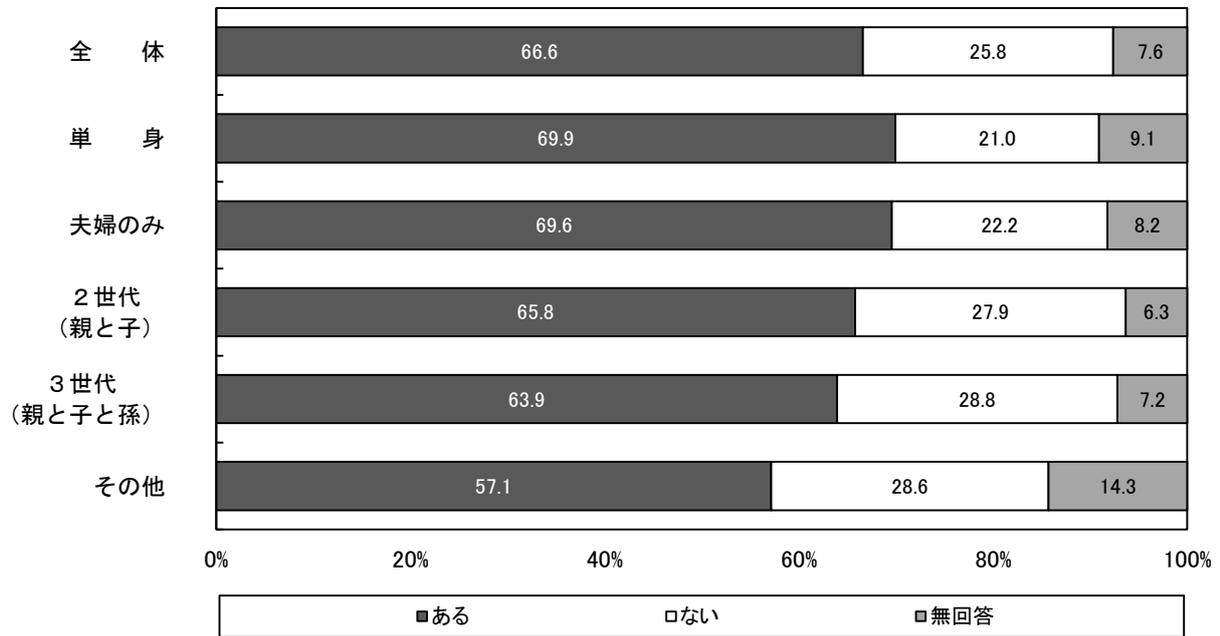
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「ある」の割合は、単身（69.9%）、夫婦のみ（69.6%）で高く、約7割を占めた。

図 5.5-6 1週間に10分以上続けて歩くことの有無（家族構成別）



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

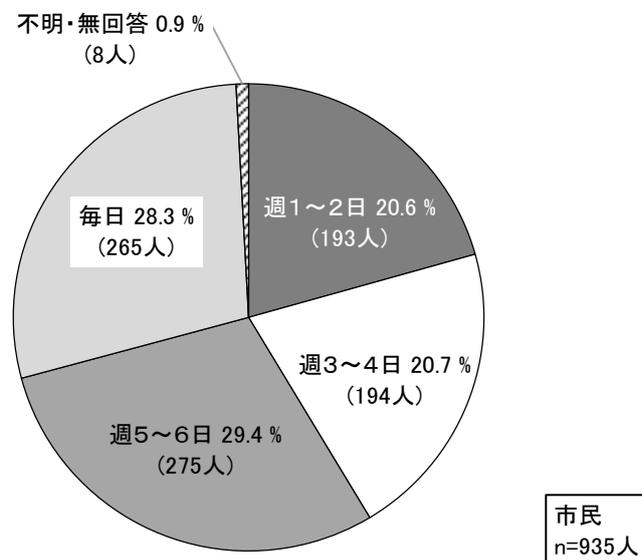
(6) 1週間に10分以上続けて歩く日数

問31 あなたは、平均的な1週間で、10分以上続けて歩くことは何日ありますか。
※ここで歩くとは、仕事や日常生活で歩くこと、ある場所からある場所へ移動すること、あるいは趣味や運動としてのウォーキング、散歩など全てを含みます。(○は1つだけ)

3割弱が「週5～6日」1週間に10分以上続けて歩くことがあると回答

1週間に10分以上続けて歩く日数は、「週5～6日」と回答した人の割合が3割弱(29.4%)で最も多くなっている。以下、「毎日」(28.3%)、「週3～4日」(20.7%)、「週1～2日」(20.6%)となっている。

図 5.6 1週間に10分以上続けて歩く日数



【性別・年齢別】

「毎日」と回答した人の割合は、60歳代（33.0%）で最も高く、40歳代（21.6%）で最も低くなっている。

性別では、「週1～2日」の割合は、20歳代と70歳以上を除き、女性より男性で高くなっている。

図 5.6-2 1週間に10分以上続けて歩く日数（年齢別・全体）

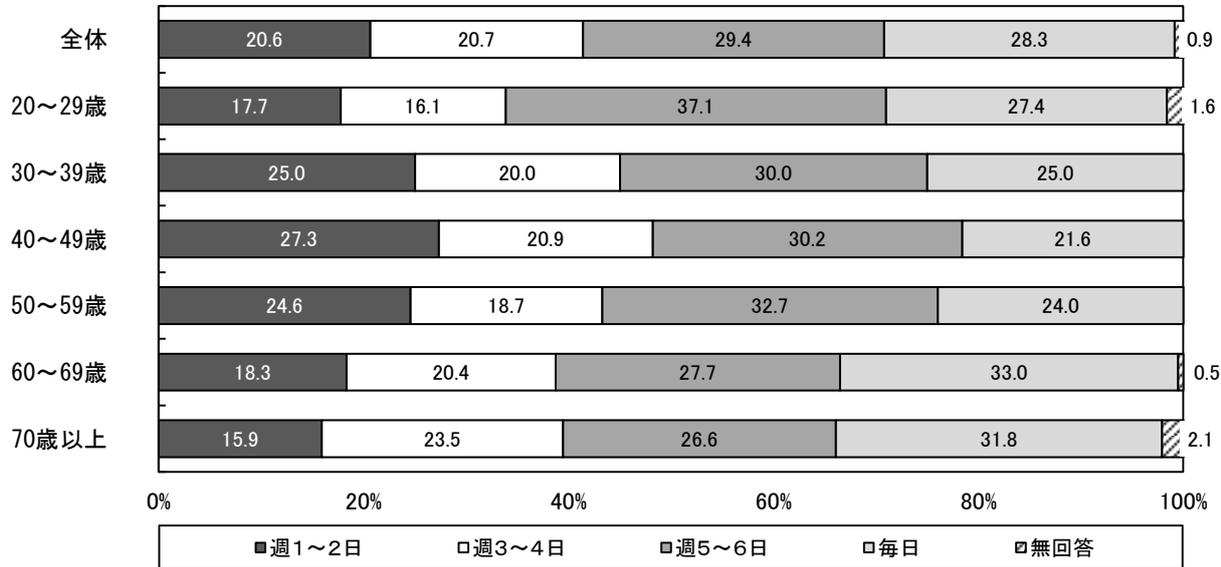
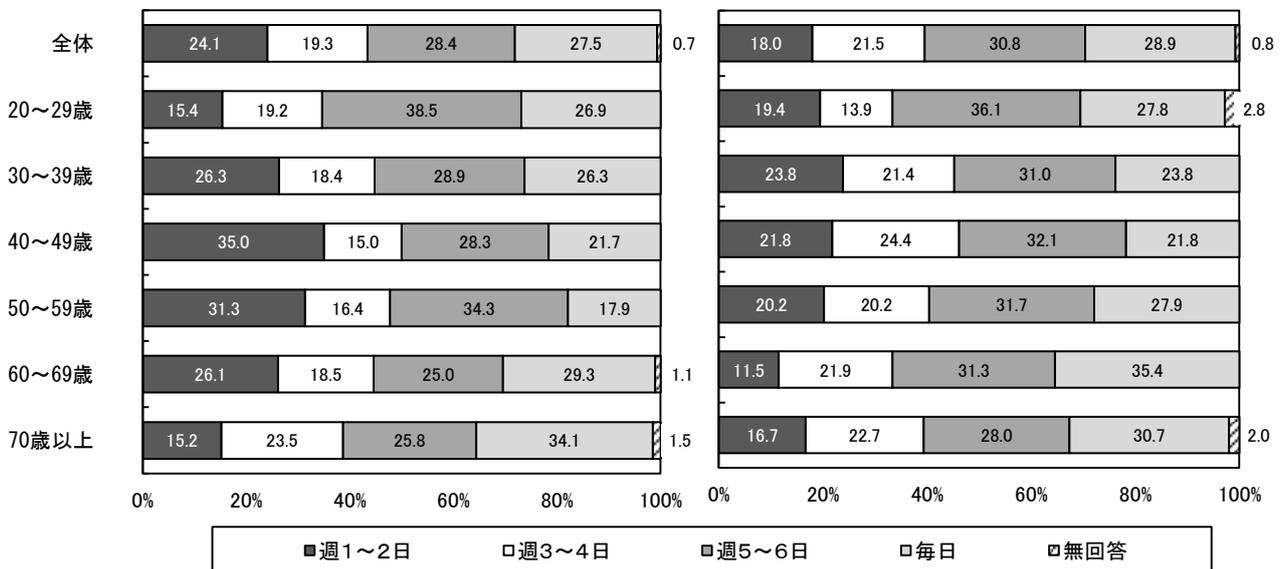


図 5.6-3 1週間に10分以上続けて歩く日数

（年齢別・男性）

（年齢別・女性）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	935	62	80	139	171	191	289	3
男性	415	26	38	60	67	92	132	0
女性	506	36	42	78	104	96	150	0

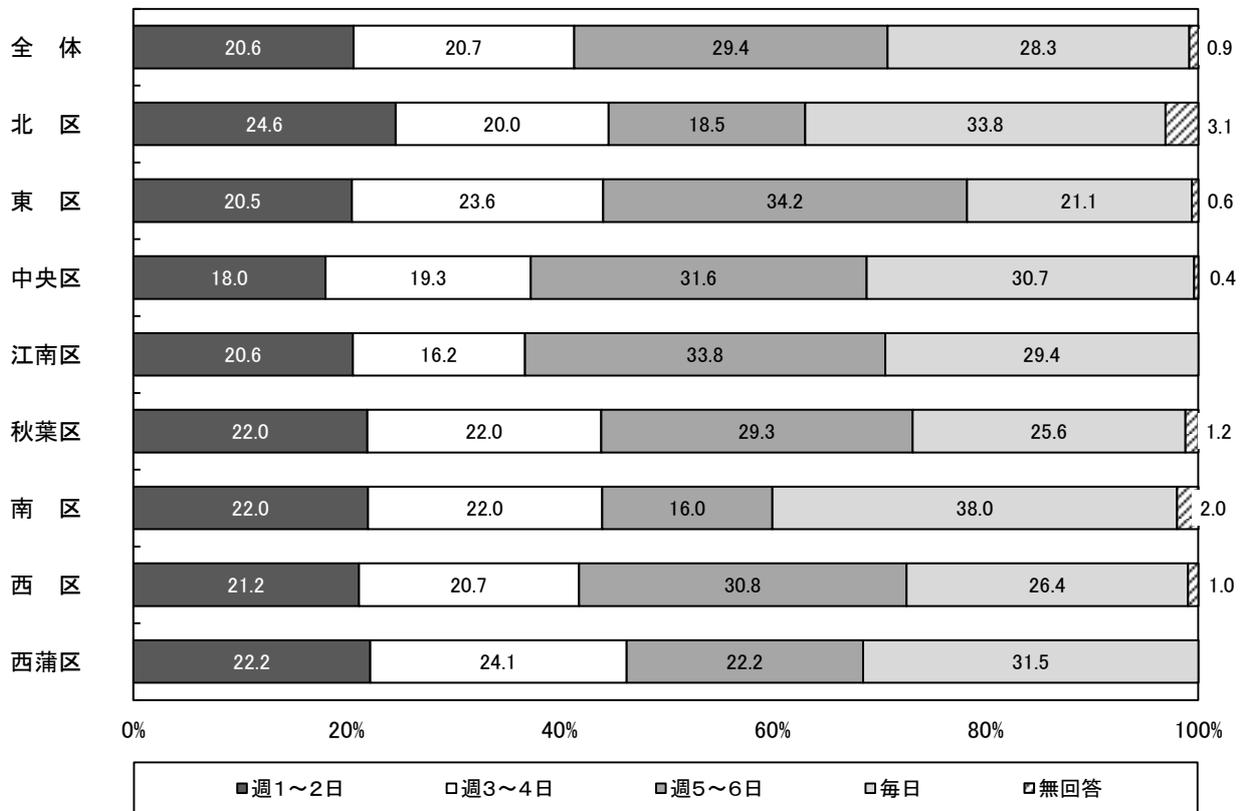
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「毎日」の割合は、南区（38.0%）が最も高くなっている。

図 5.6-4 1週間に10分以上続けて歩く日数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
935	65	161	244	68	82	50	208	54

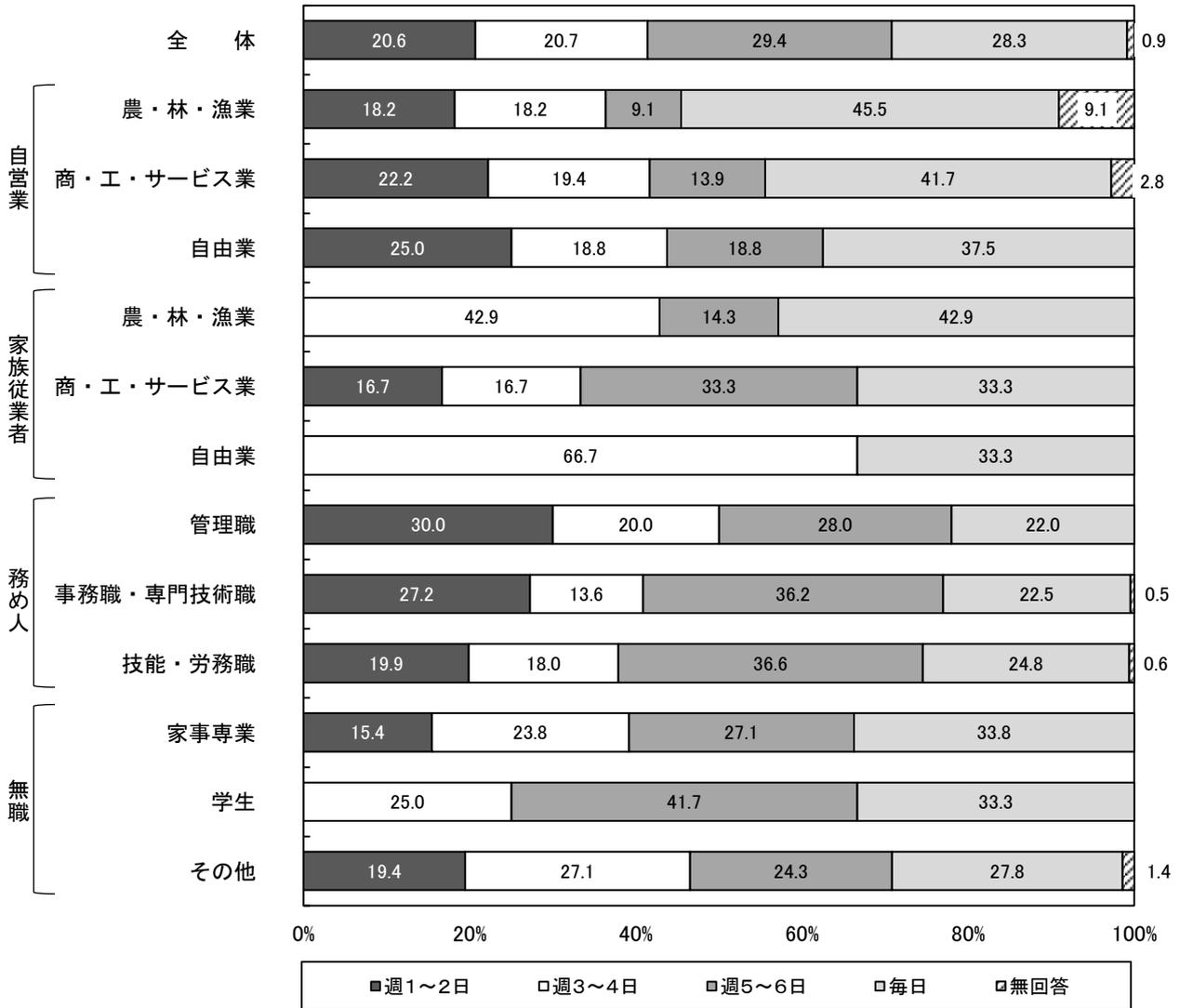
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.6-5 1週間に10分以上続けて歩く日数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
935	11	36	16	7	6	3

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
50	213	161	240	12	144	36

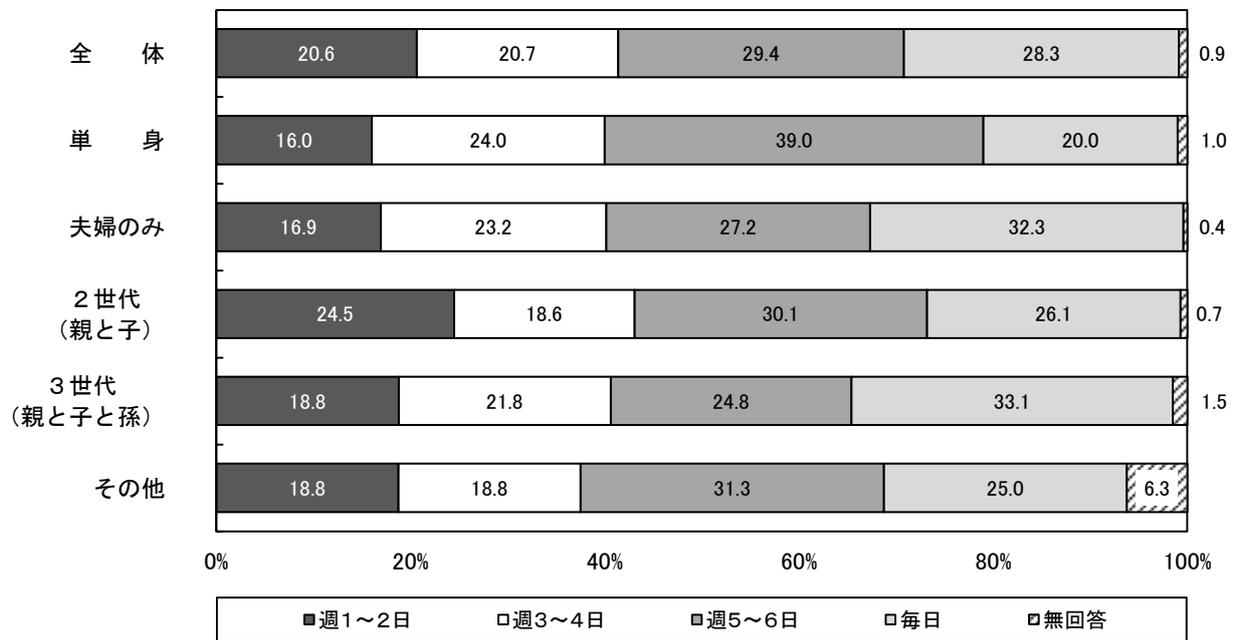
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「毎日」の割合は、3世代（33.1%）で最も高く、3割を超えている。

図 5.6-6 1週間に10分以上続けて歩く日数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
935	100	254	425	133	16	7

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

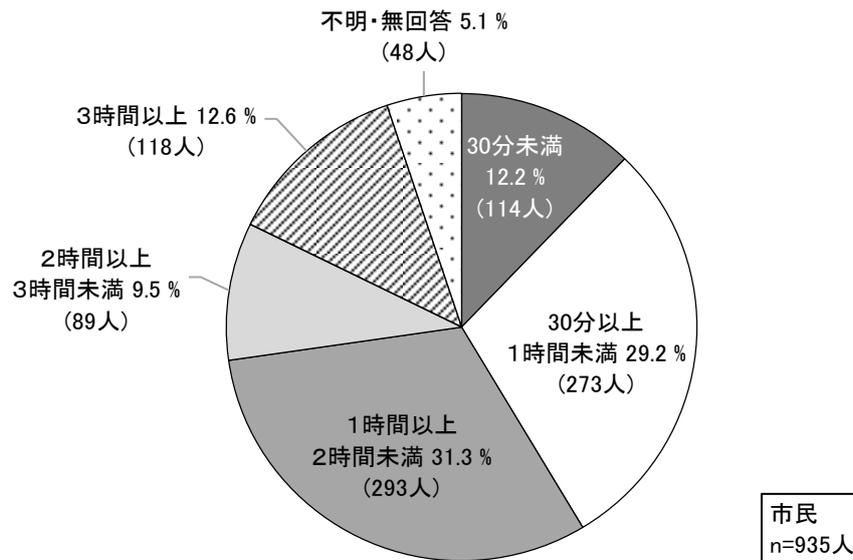
(7) 1日の合計歩行時間

問31-1 そのような日には、通常、1日合計してどのくらいの時間歩きますか。

「1時間以上2時間未満」が3割強で最も多い

1日の合計歩行時間は、「1時間以上2時間未満」が3割強（31.3%）で最も多く、以下「30分以上1時間未満」（29.2%）、「3時間以上」（12.6%）、「30分未満」（12.2%）となっている。

図 5.7 1日の合計歩行時間



【性別・年齢別】

30歳代では、「30分未満」と回答した割合が2割を超えているが、「3時間以上」が2割弱で、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

性別では、「1時間以上2時間未満」の割合が、すべての年代で男性が女性を上回っている。

図 5.7-2 1週間に10分以上続けて歩く日数（年齢別・全体）

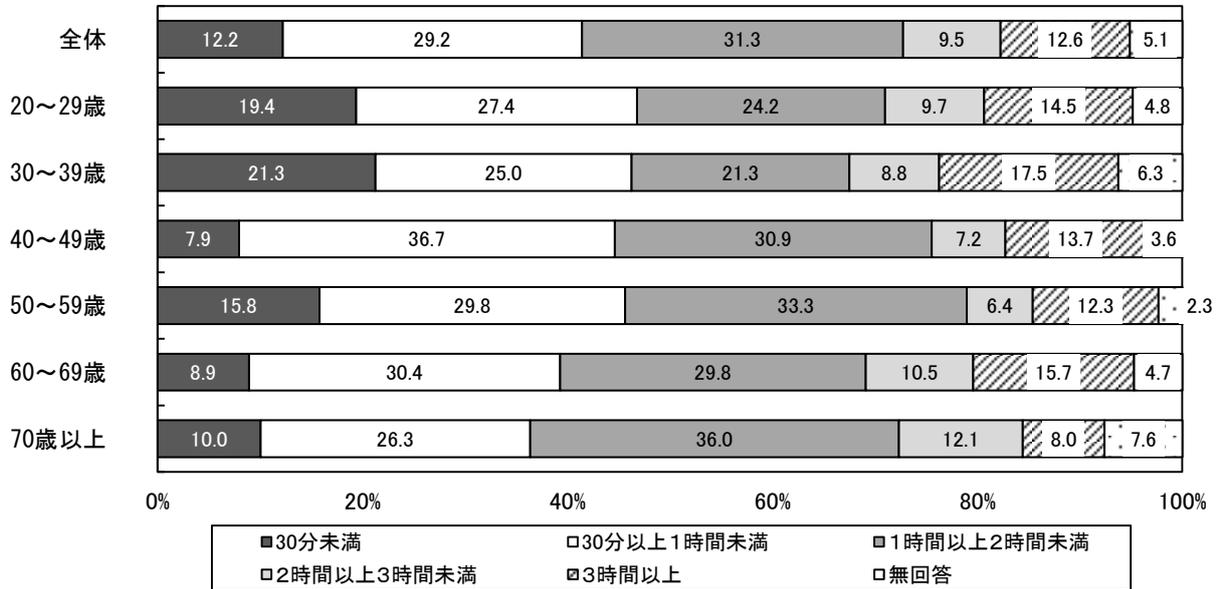
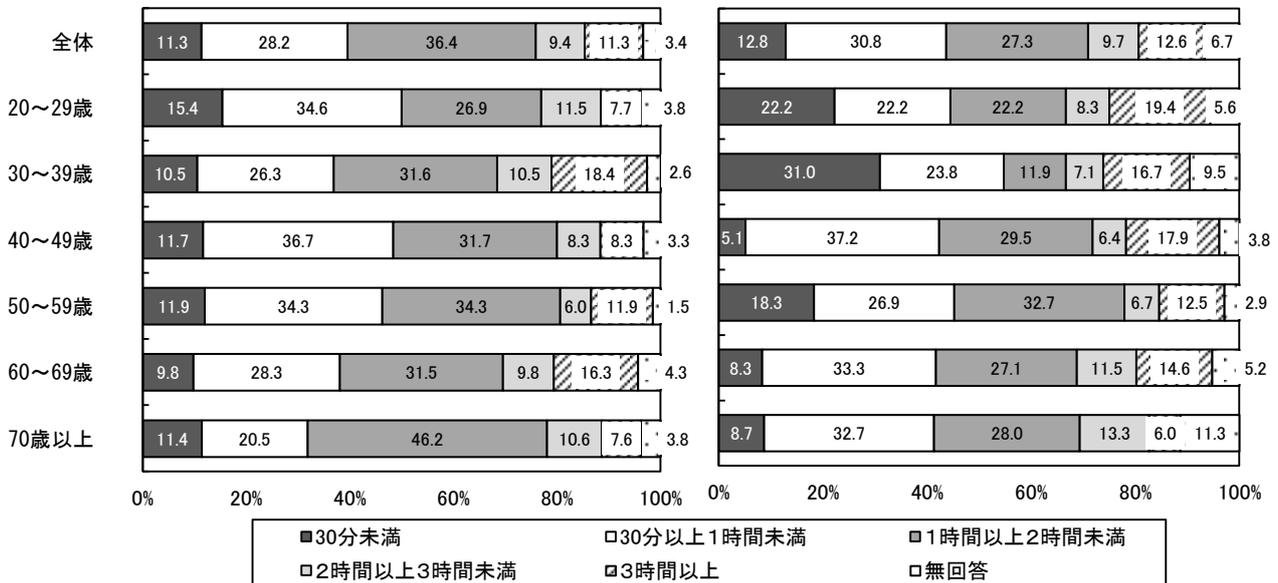


図 5.7-3 1週間に10分以上続けて歩く日数

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	935	62	80	139	171	191	289	3
男性	415	26	38	60	67	92	132	0
女性	506	36	42	78	104	96	150	0

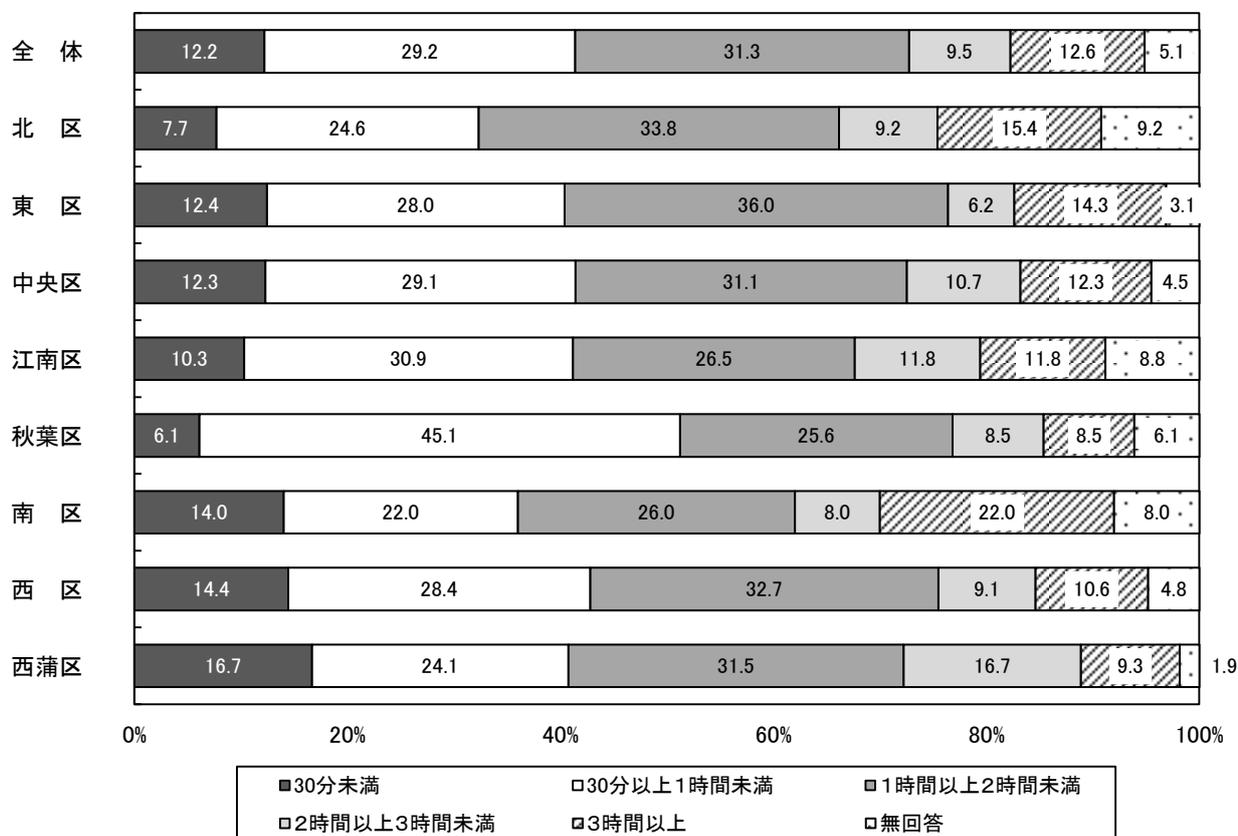
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「3時間以上」の割合が南区(22.0%)で最も高く、「2時間以上3時間未満」の割合が西蒲区(16.7%)で最も高くなっている。秋葉区では、「30分未満」「30分以上1時間未満」を合わせた割合が、5割を超えている。

図 5.7-4 1週間に10分以上続けて歩く日数(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
935	65	161	244	68	82	50	208	54	3

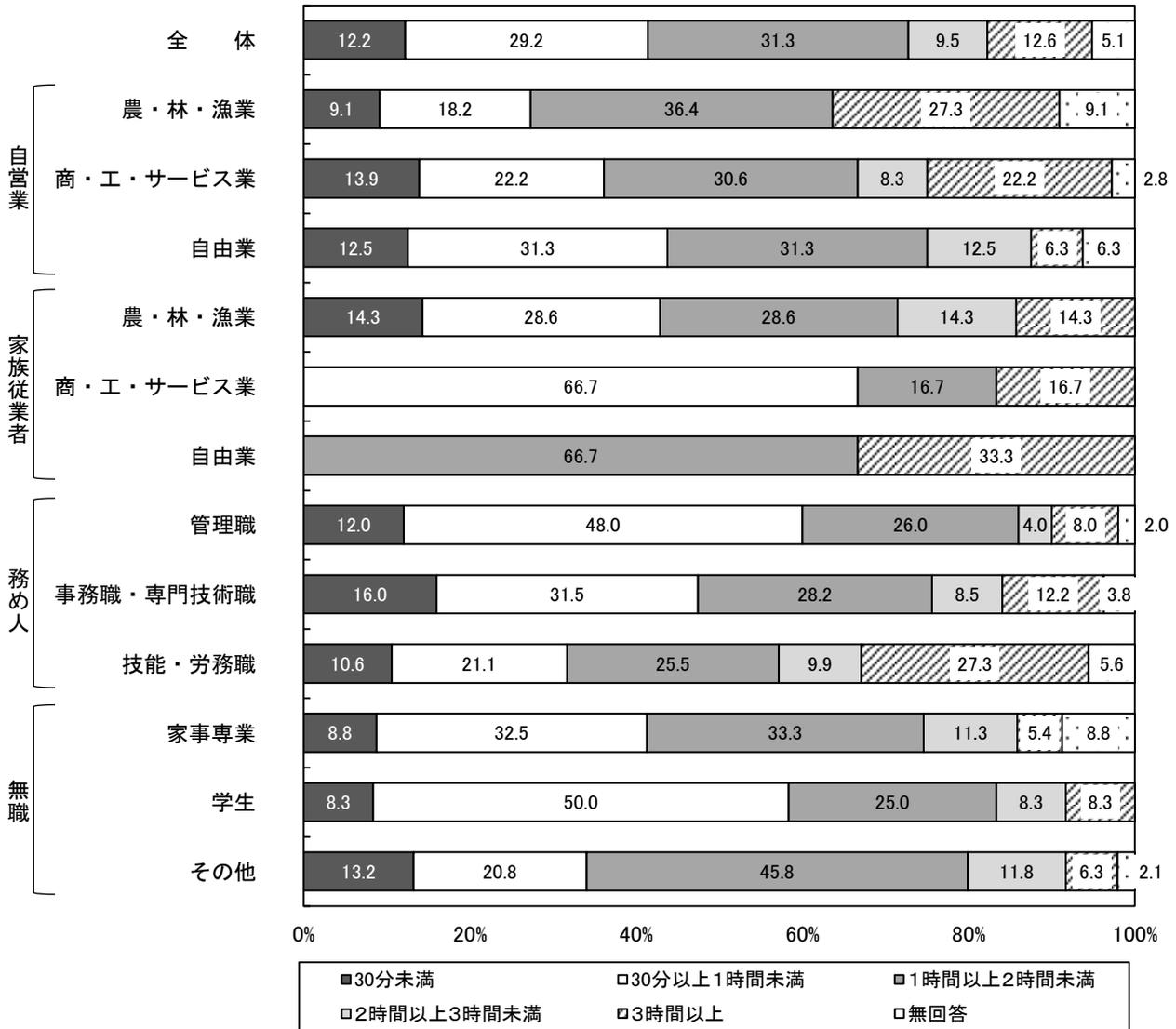
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.7-5 1週間に10分以上続けて歩く日数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
935	11	36	16	7	6	3

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
50	213	161	240	12	144	36

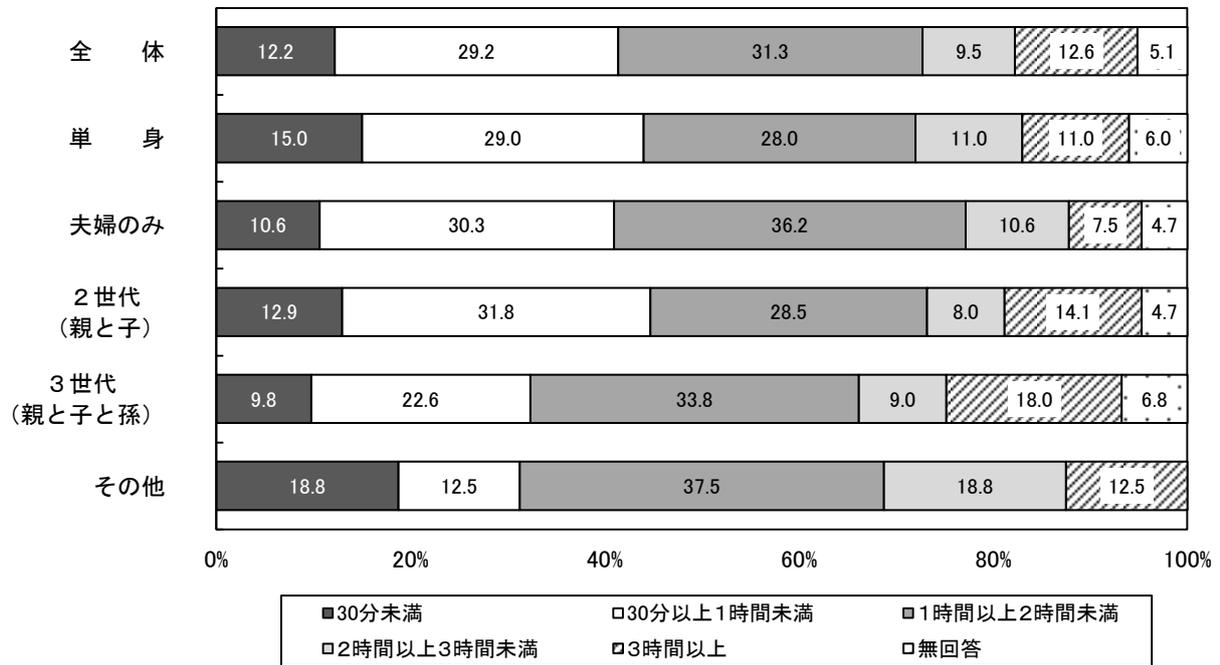
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「3時間以上」の割合は、3世代（18.0%）で最も高くなっている。

図 5.7-6 1週間に10分以上続けて歩く日数（家族構成別）



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
935	100	254	425	133	16	7

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(8) 1日60分くらいの運動習慣

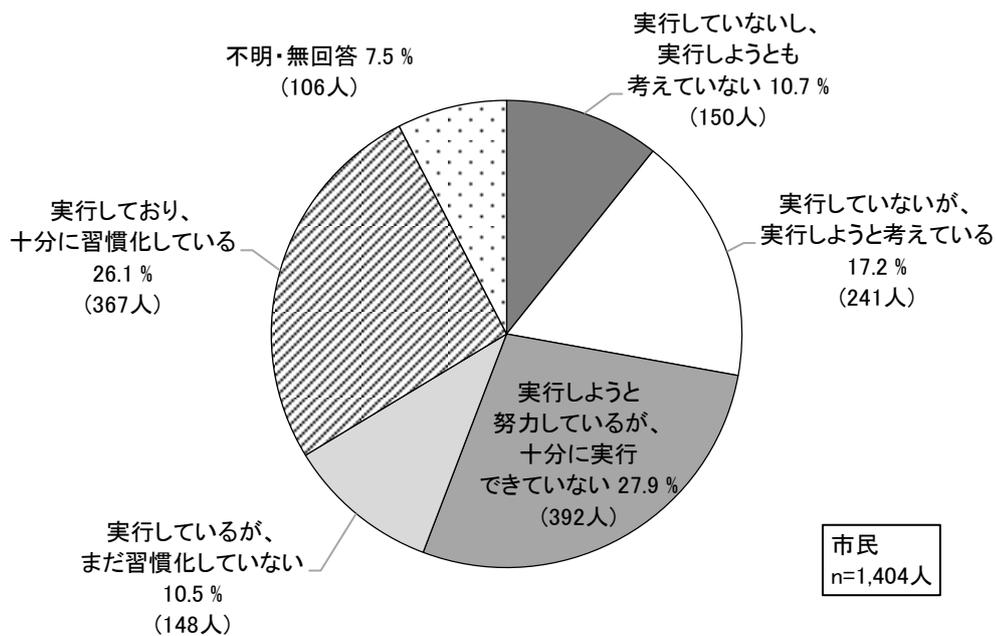
問32 「健康維持のためには1日に60分くらい体を動かすような生活をする事」が推奨されています。あなたはこれを実行していますか。(〇は1つだけ)
 ※「体を動かす」とは、日常生活における労働、家事、通勤・通学などを含みます。

4割弱が1日60分くらいの運動を実行していると回答

1日60分くらいの運動習慣については、「実行しており、十分に習慣化している」(26.1%)と「実行しているが、まだ習慣化していない」(10.5%)と回答した人を合わせた実行している割合は4割弱(36.7%)となっている。

一方、「実行していないし、実行しようとも考えていない」(10.7%)、「実行していないが、実行しようと考えている」(17.2%)、「実行しようとしているが、十分に実行できていない」(27.9%)を合わせた実行していない割合は6割弱(55.8%)となっている。

図5.8 1日60分くらいの運動習慣



【性別・年齢別】

「実行しているが、まだ習慣化していない」と「実行しており、十分に習慣化している」を合わせた割合は20歳代で最も高くなっている。

性別では、「実行しており、十分に習慣化している」の割合が20歳代男性(45.7%)で突出している。

図 5.8-2 1日60分くらいの運動習慣 (年齢別・全体)

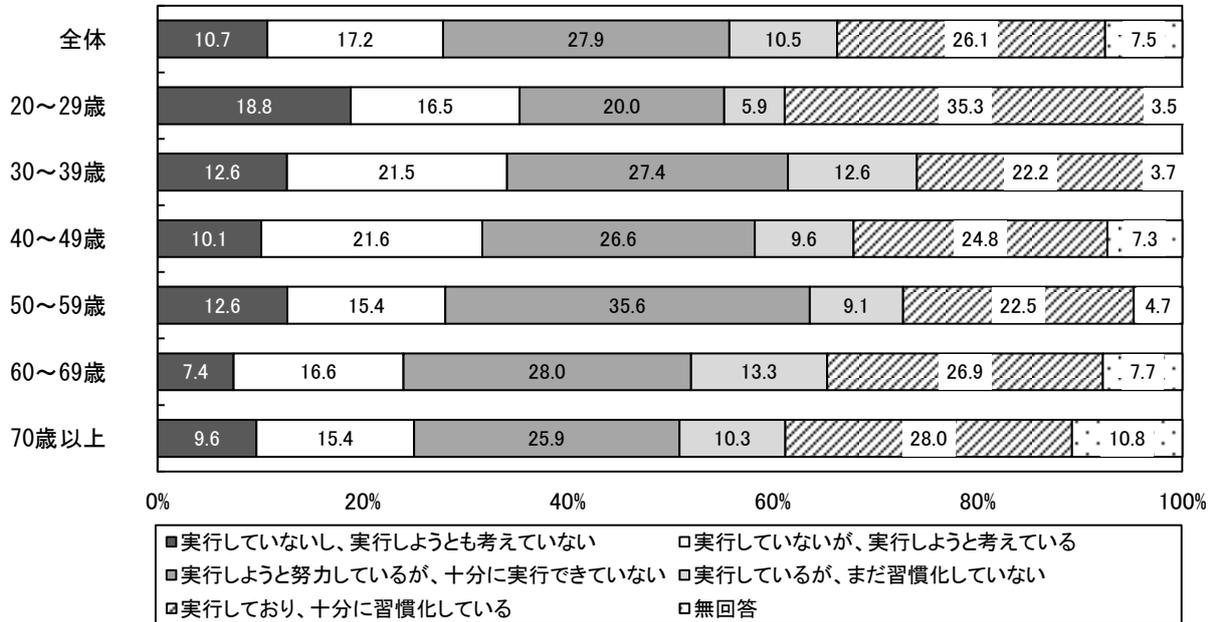
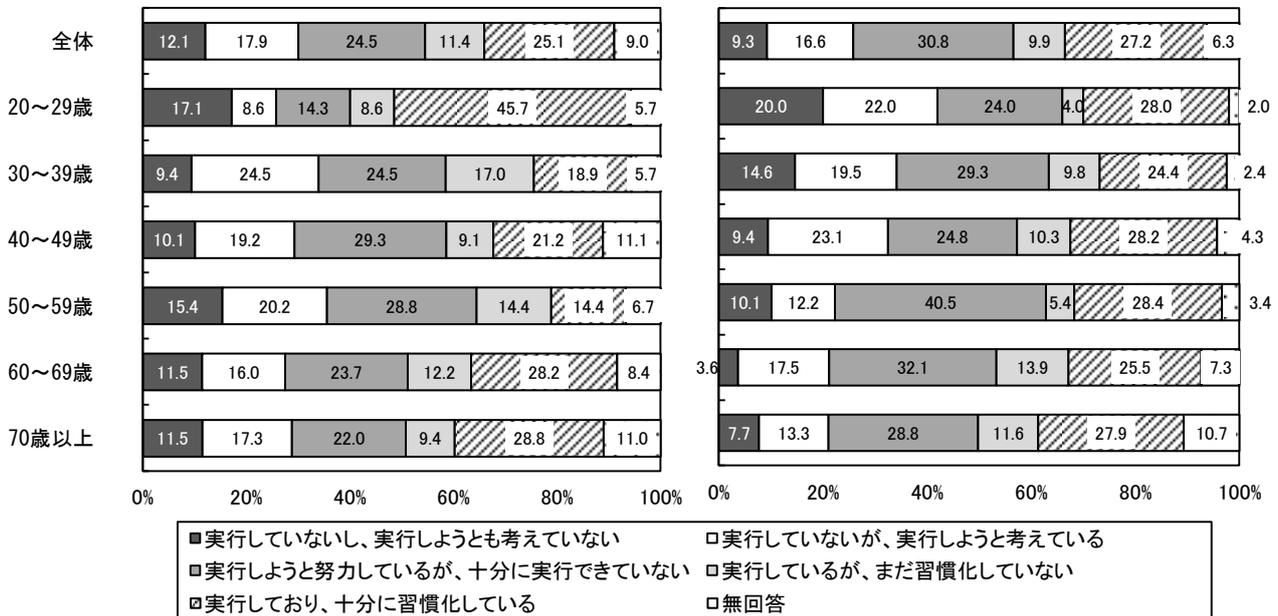


図 5.8-3 1日60分くらいの運動習慣

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

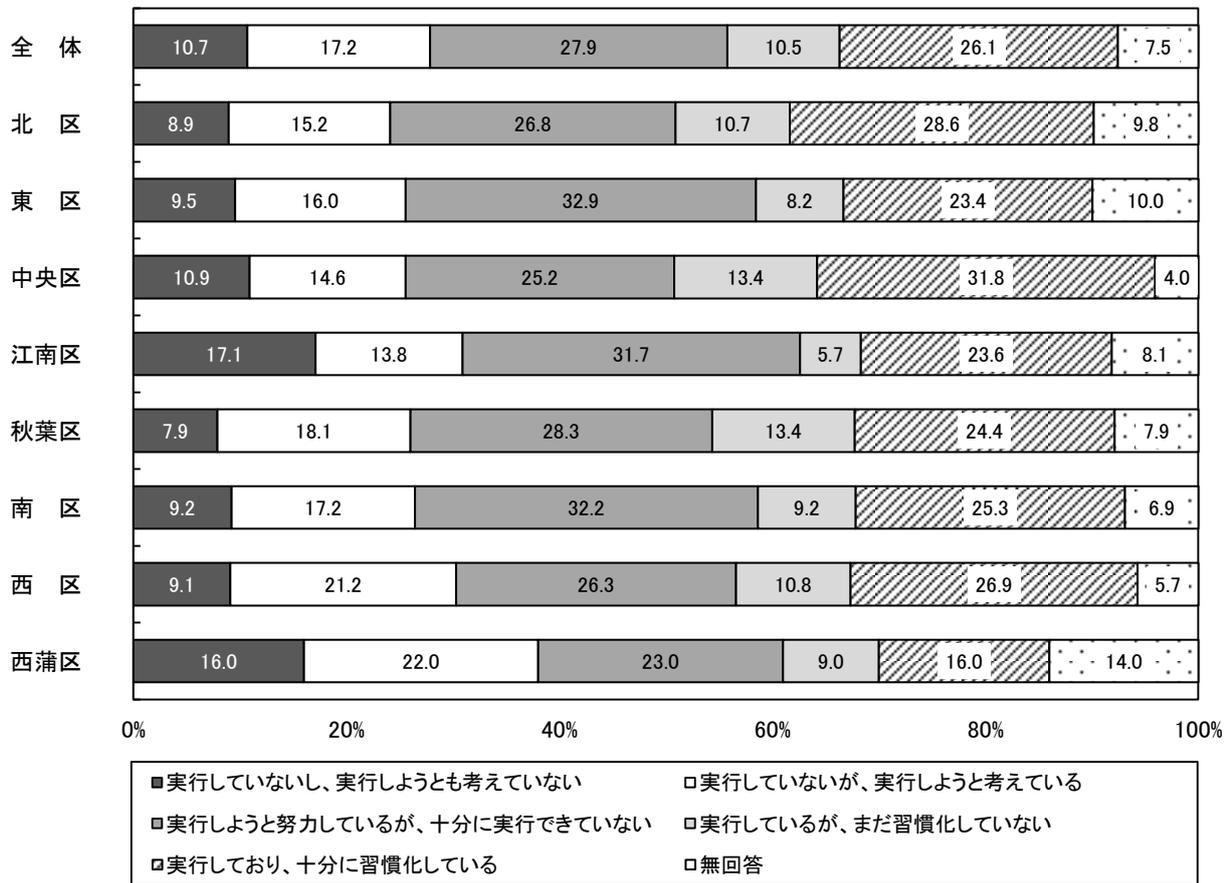
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「実行しており、十分に習慣化している」と回答した人の割合は、中央区で最も高く、3割を超えている。北区、中央区、西区では、「実行しており、十分に習慣化している」と回答した割合が最も高く、その他の地区では、「実行しようと努力しているが、十分に実行できていない」と回答した割合が最も高くなっている。

図 5.8-4 1日60分くらいの運動習慣（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

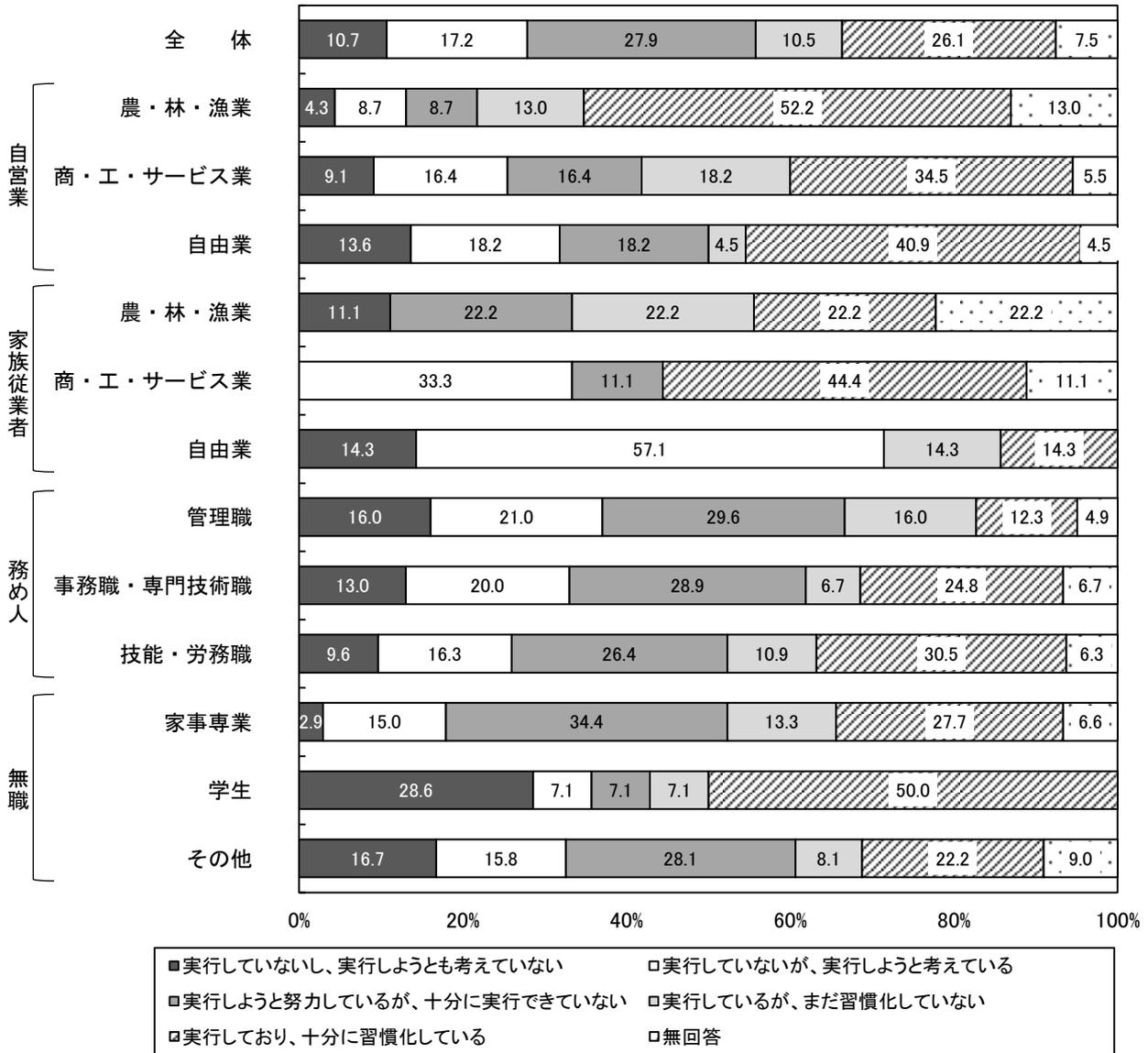
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.8-5 1日60分くらいの運動習慣（職業別）



全体	自営業			家族従業者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

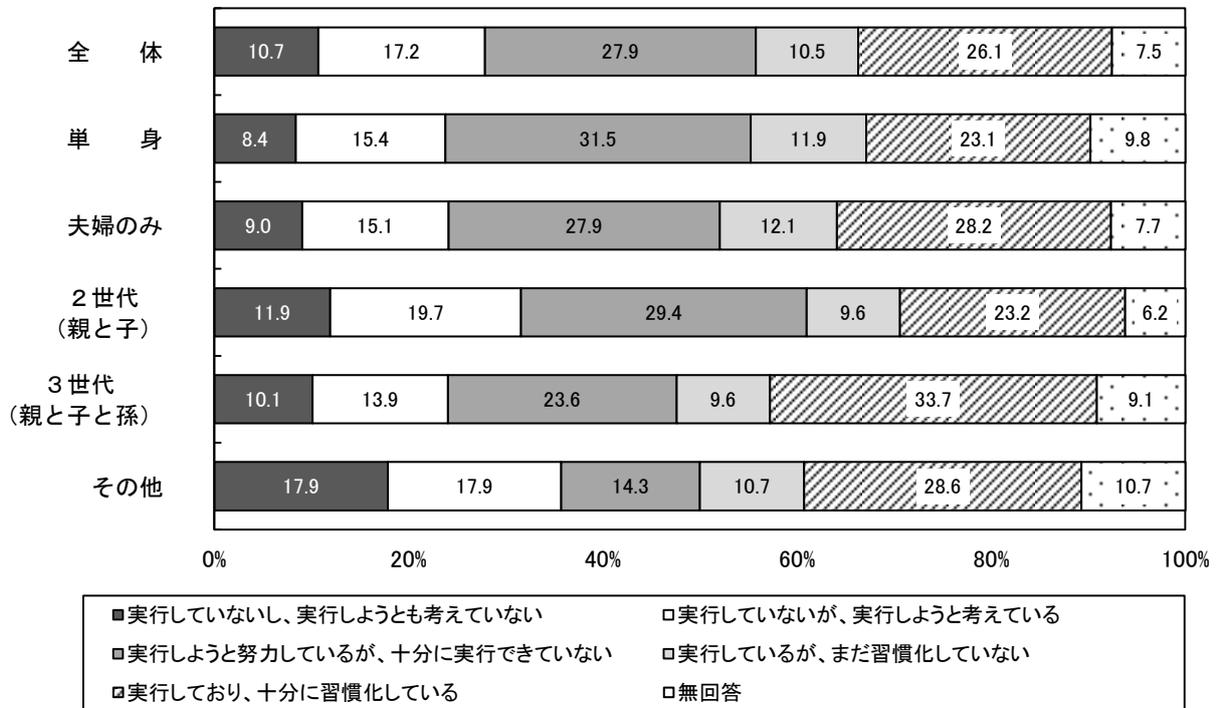
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

夫婦のみ、3世代、その他では、「実行しており、十分に習慣化している」と回答した割合が最も高く、単身、2世代では、「実行しようとしているが、十分に実行できていない」と回答した割合が最も高くなっている。

図 5.8-6 1日60分くらいの運動習慣（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

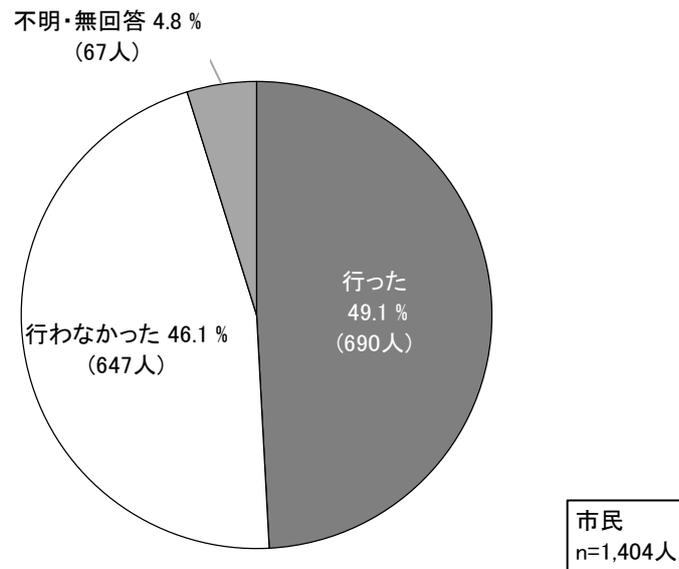
(9) この1年間での運動の有無

問33 この1年間に運動やスポーツを行いましたか。

5割弱が「行った」と回答

この1年間に運動やスポーツを「行った」と回答した人の割合は5割弱（49.1%）となっている。一方、「ない」と回答した人の割合も5割弱（46.1%）となっている。

図 5.9 この1年間での運動の有無



【性別・年齢別】

「行った」と回答した人の割合は、20歳代（72.9%）で最も高く、突出している。

性別では、「行った」と回答した人の割合は、70歳以上を除き、女性より男性で高くなっている。女性では、20歳代、70歳以上を除き、「行った」より「行わなかった」と回答した割合の方が高い。

図 5.9-2 1年間の運動の有無（年齢別・全体）

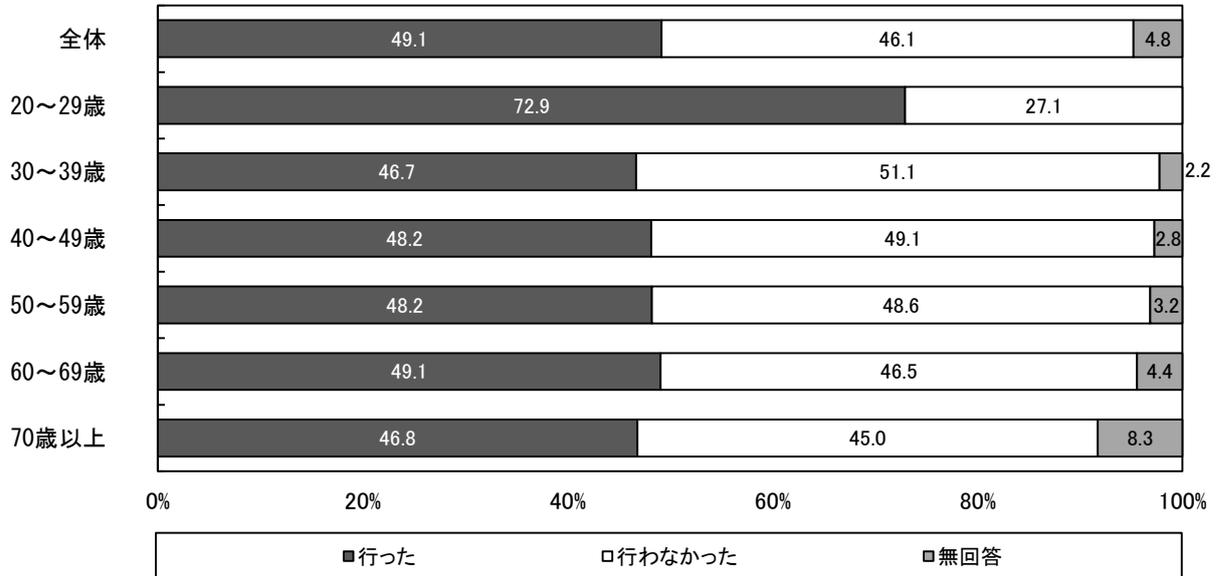
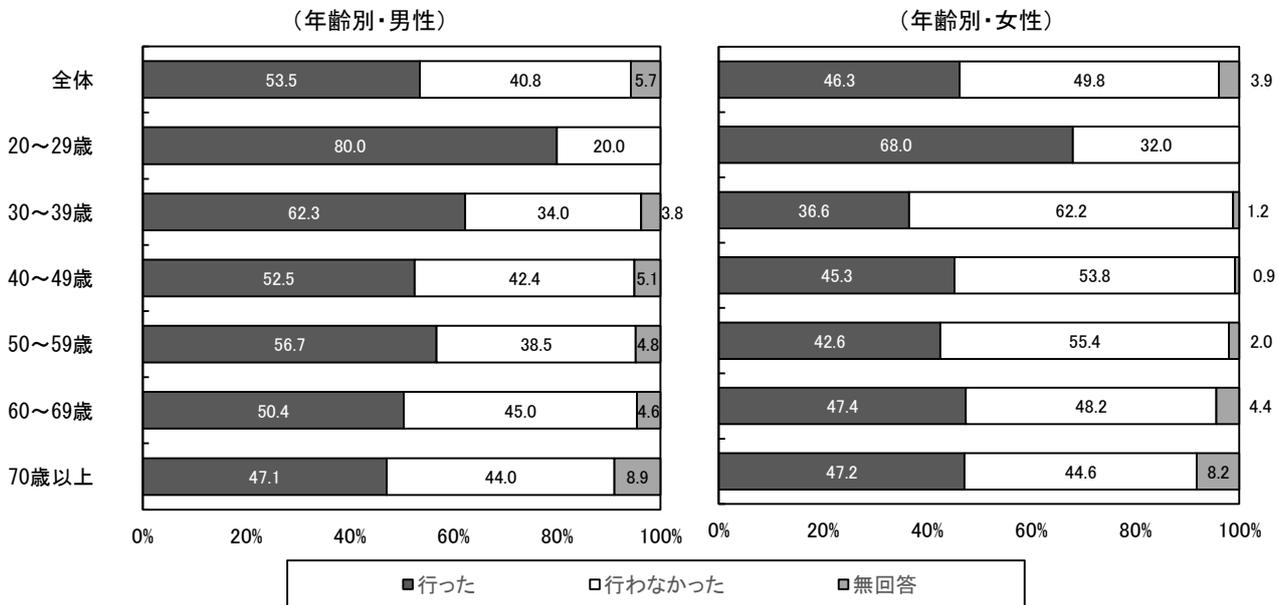


図 5.9-3 1年間の運動の有無



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

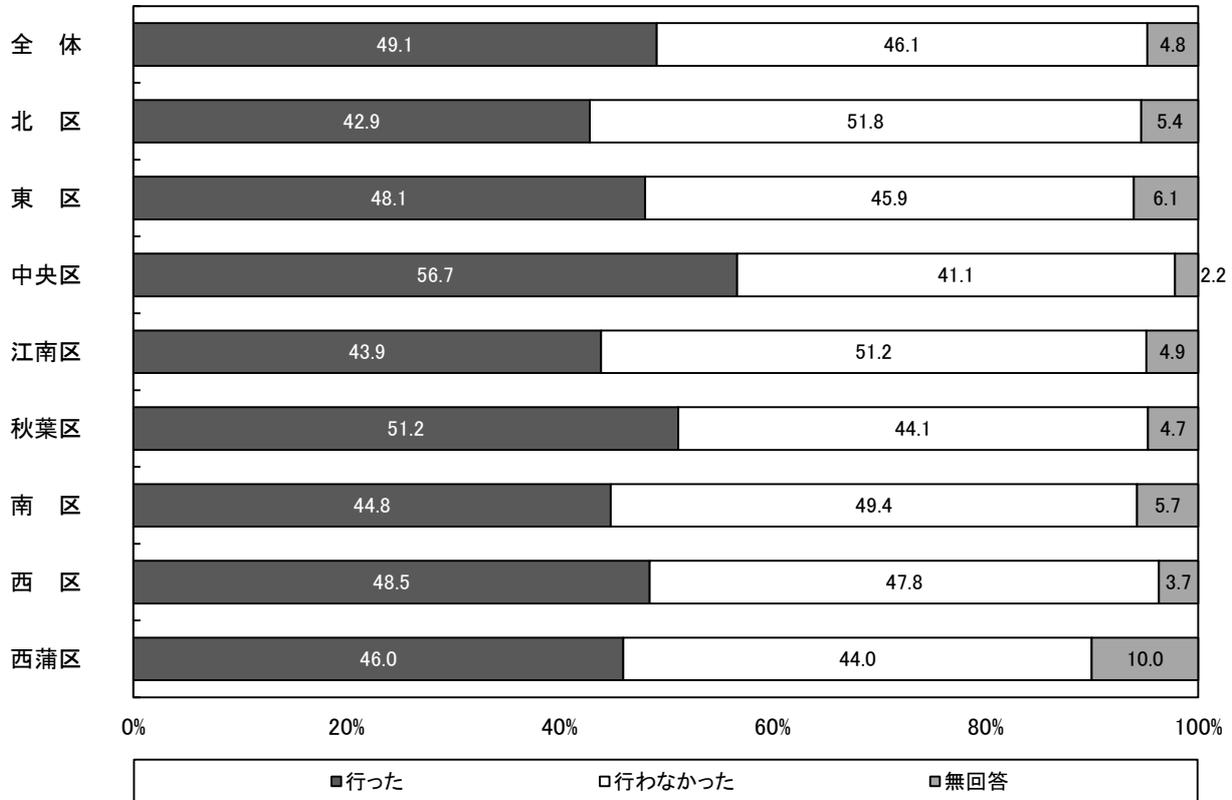
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「行った」と回答した人の割合は、中央区（56.7%）で最も高く、秋葉区（51.2%）と共に半数を超えている。北区、江南区、南区では、「行った」より「行わなかった」と答えた割合の方が高い。

図 5.9-4 1年間の運動の有無（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

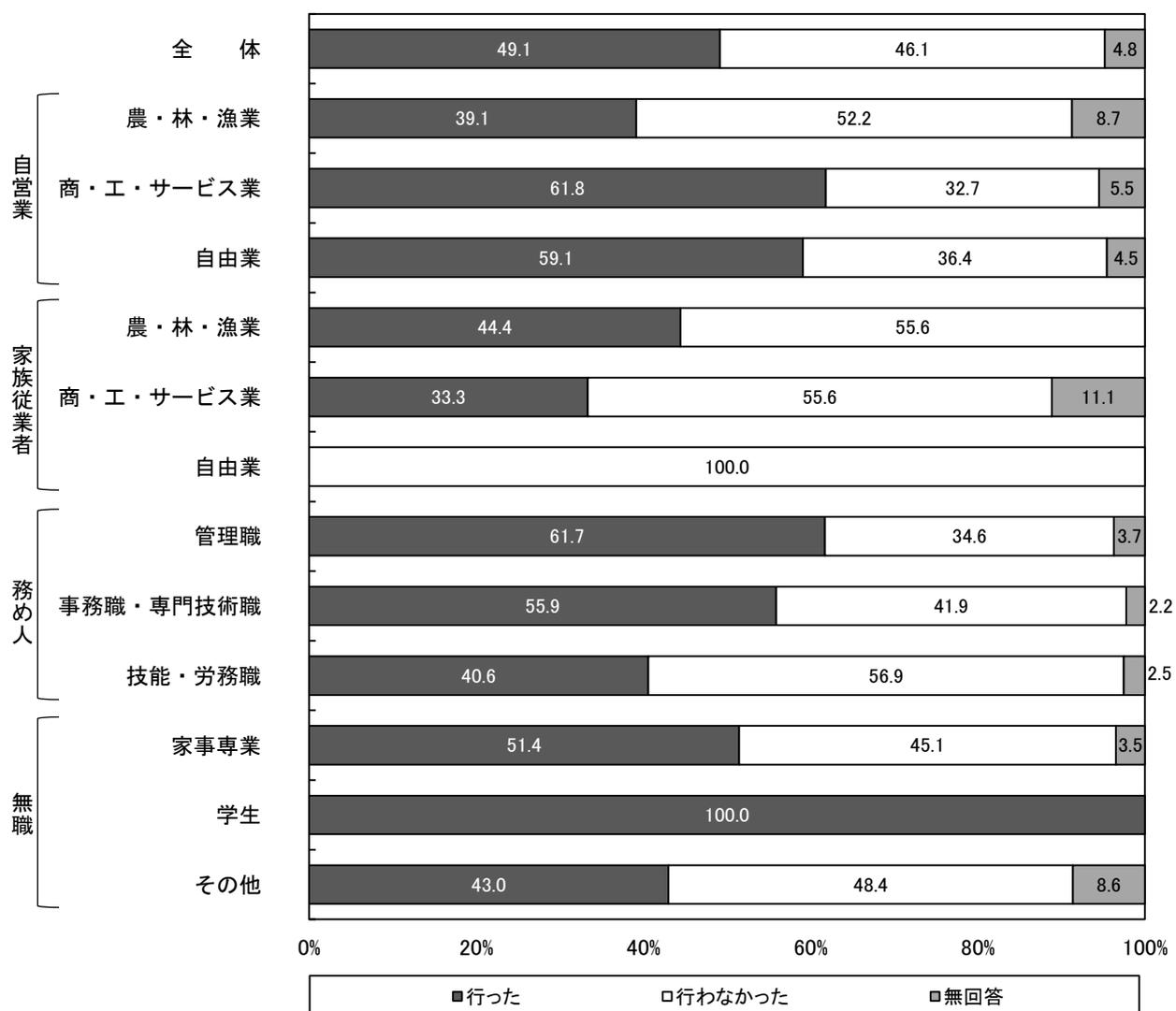
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.9-5 1年間の運動の有無（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

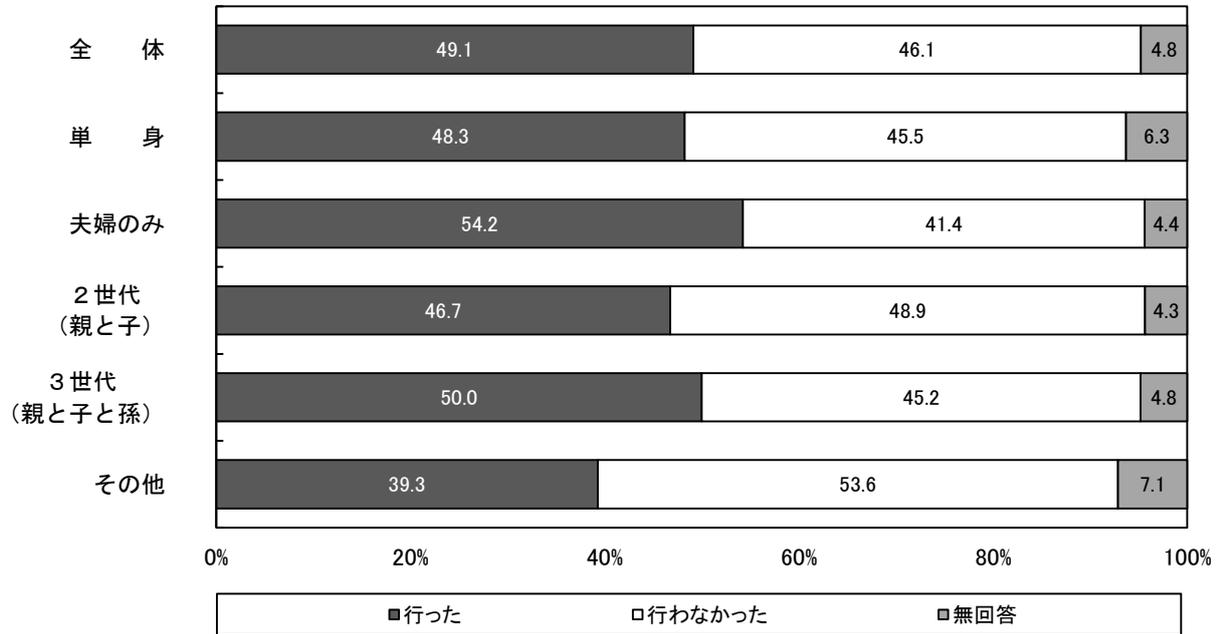
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「行った」と回答した人の割合は、夫婦のみ（54.2%）で最も高くなっている。2世代、その他では、「行った」より「行かなかった」と答えた割合の方が高くなっている。

図 5.9-6 1年間の運動の有無（家族構成別）



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

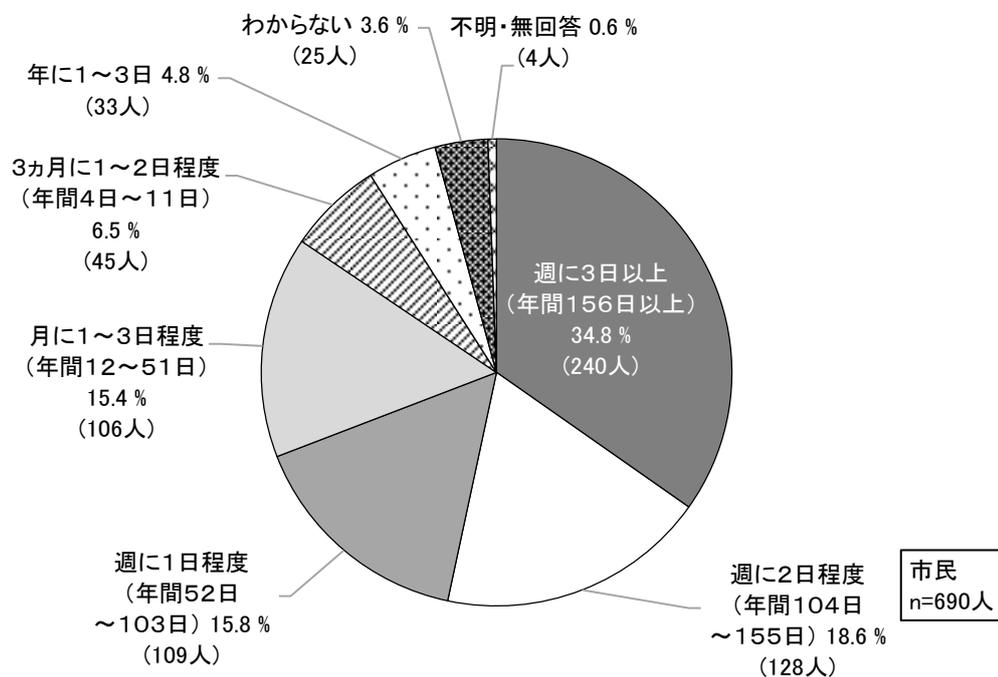
(10) この1年間での運動日数

問33-1 その運動やスポーツ、散歩等を行った日数を全部合わせると、1年間に何日くらいになりますか。

7割弱が週に1日以上運動を行ったと回答

「週に3日以上(年間156日以上)」(34.8%)、「週に2日程度(年間104日～155日)」(18.6%)、「週に1日程度(年間52日～103日)」(15.8%)と回答した人を合わせた、週に1日以上運動を行った人の割合は7割弱(69.1%)となっている。

図 5.10 この1年間での運動日数



【性別・年齢別】

「週に3日以上」と回答した人の割合は、70歳以上で最も高く5割を超えている。30歳代（15.9%）では最も低い。

性別では、20歳代、70歳以上の年代で「週3日以上」の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

図 5.10-2 1年間の運動日数（年齢別・全体）

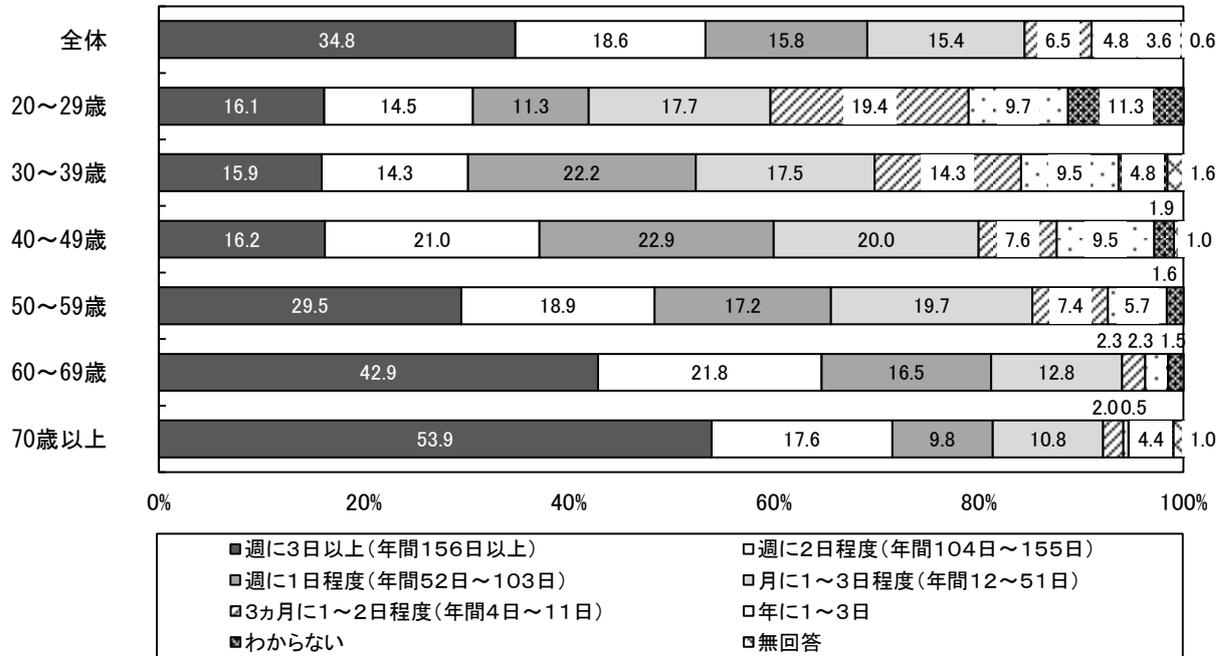
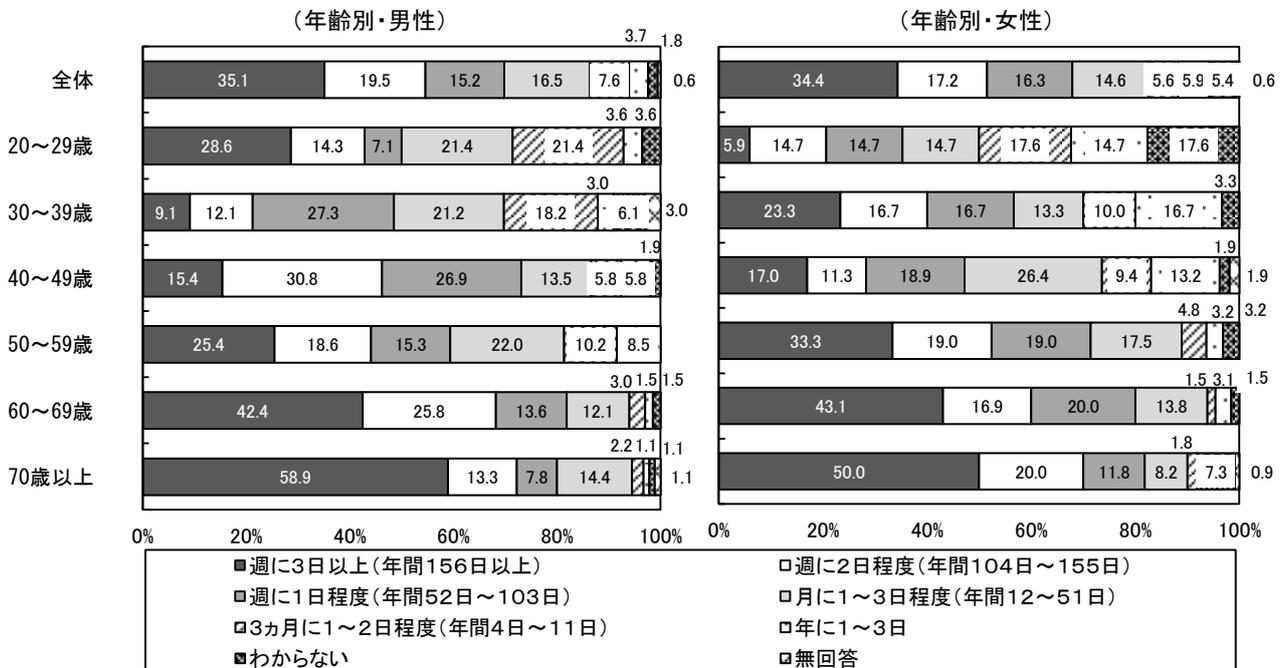


図 5.10-3 1年間の運動日数



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	690	62	63	105	122	133	204	1
男性	328	28	33	52	59	66	90	0
女性	355	34	30	53	63	65	110	0

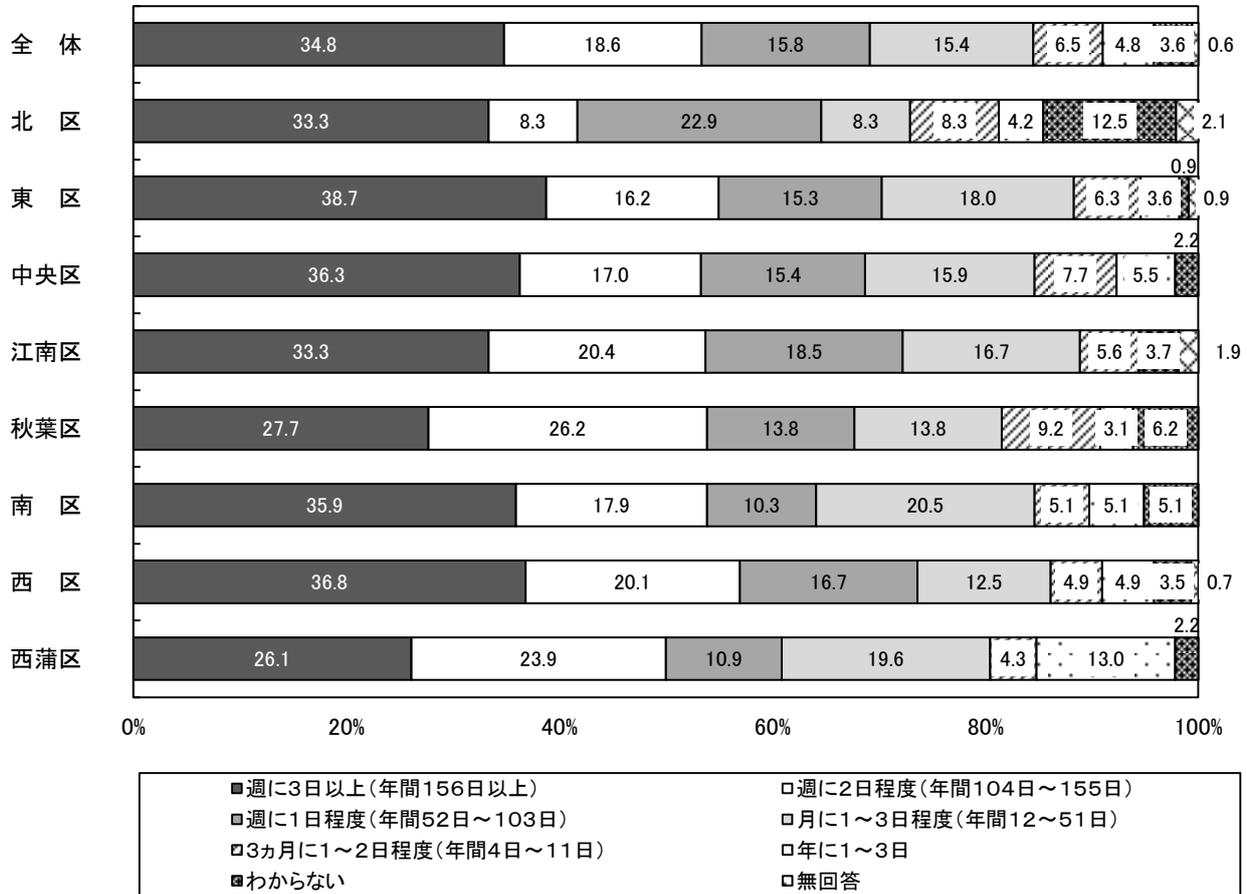
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「週に3日以上」「週に2日程度」「週に1日程度」を合わせた、週に1日以上運動を行った人の割合は、西区（73.6%）で最も高くなっている。

図 5.10-4 1年間の運動日数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
690	48	111	182	54	65	39	144	46	1

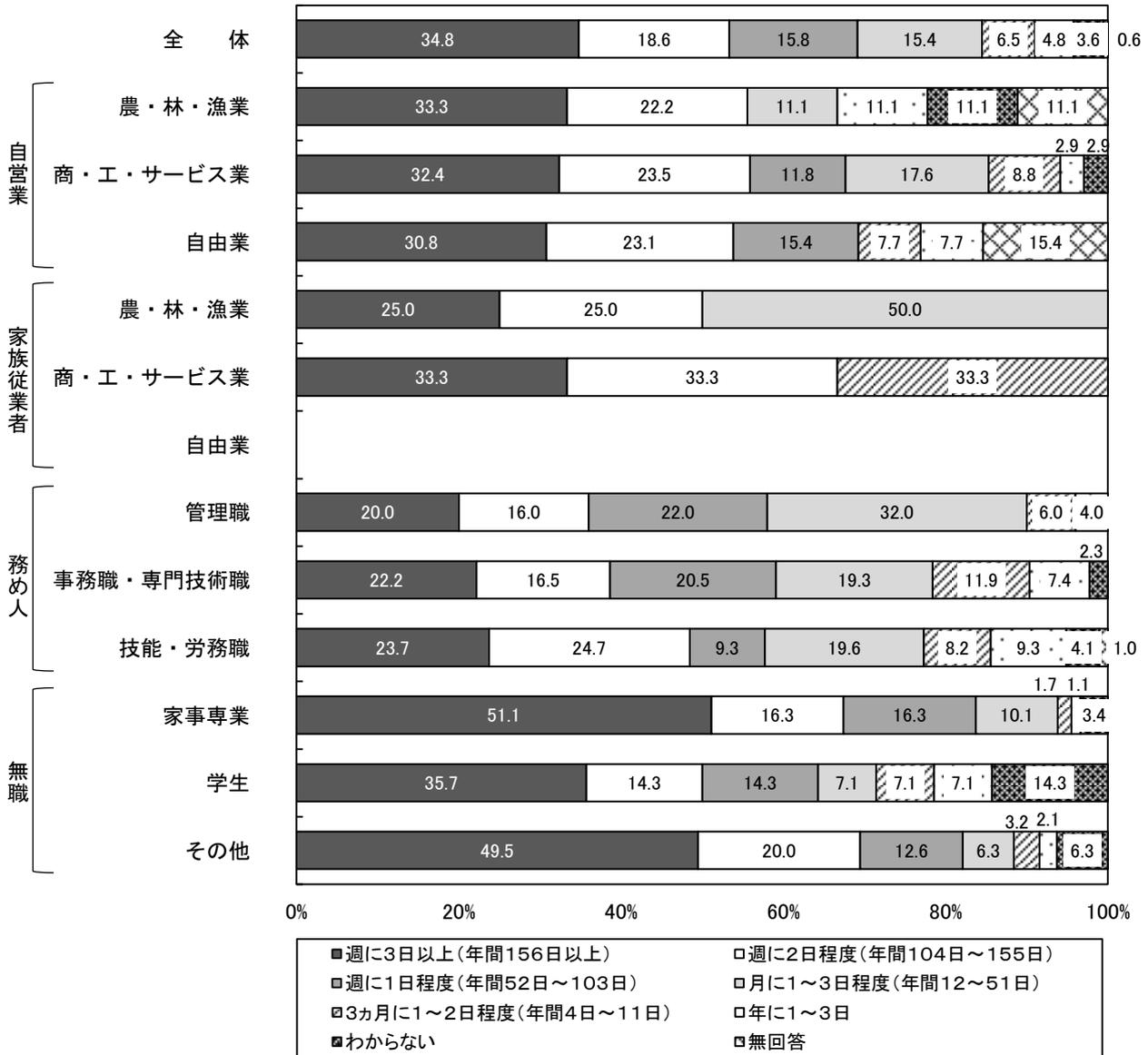
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.10-5 1年間の運動日数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
690	9	34	13	4	3	0

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
50	176	97	178	14	95	17

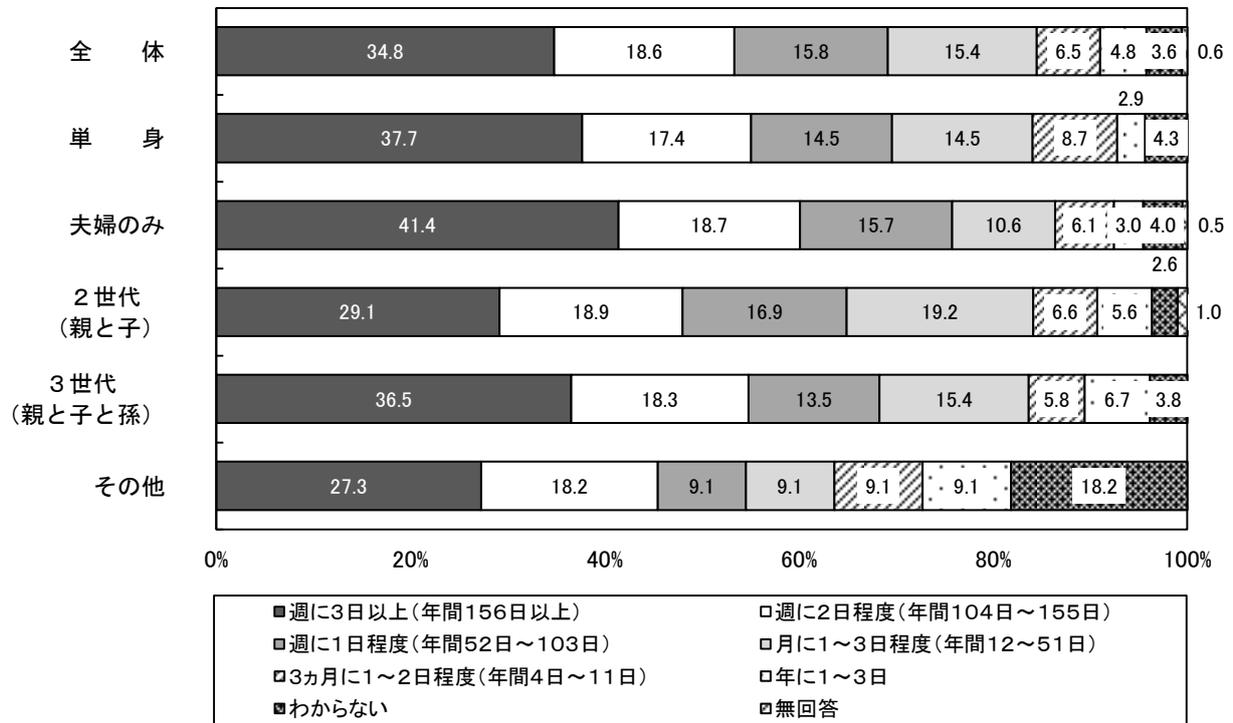
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「週に3日以上」と回答した人の割合は、夫婦のみ（41.4%）で最も高くなっている。

図 5.10-6 1年間の運動日数（家族構成別）



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
690	69	198	302	104	11	6

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

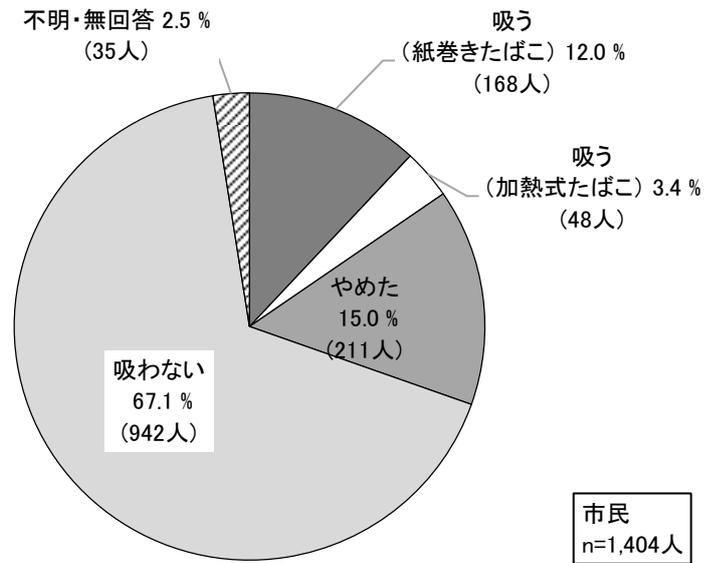
(11) 喫煙習慣

問34 あなたはたばこ（加熱式たばこも含む）を吸いますか。（○は1つだけ）

8割強が喫煙をしていないと回答

「やめた」(15.0%)、「吸わない」(67.1%)と回答した人を合わせた、喫煙をしていない人の割合は8割強(82.1%)となっている。

図 5.11 喫煙習慣



【性別・年齢別】

「やめた」「吸わない」と回答した人の割合は、各年代で7割を超えている。一方、「吸う」と回答した人の割合は40歳代で高く、2割弱となっている。

性別では、各年代とも「吸う」の割合は、女性より男性の方が高くなっている。

図 5.11-2 喫煙習慣（年齢別・全体）

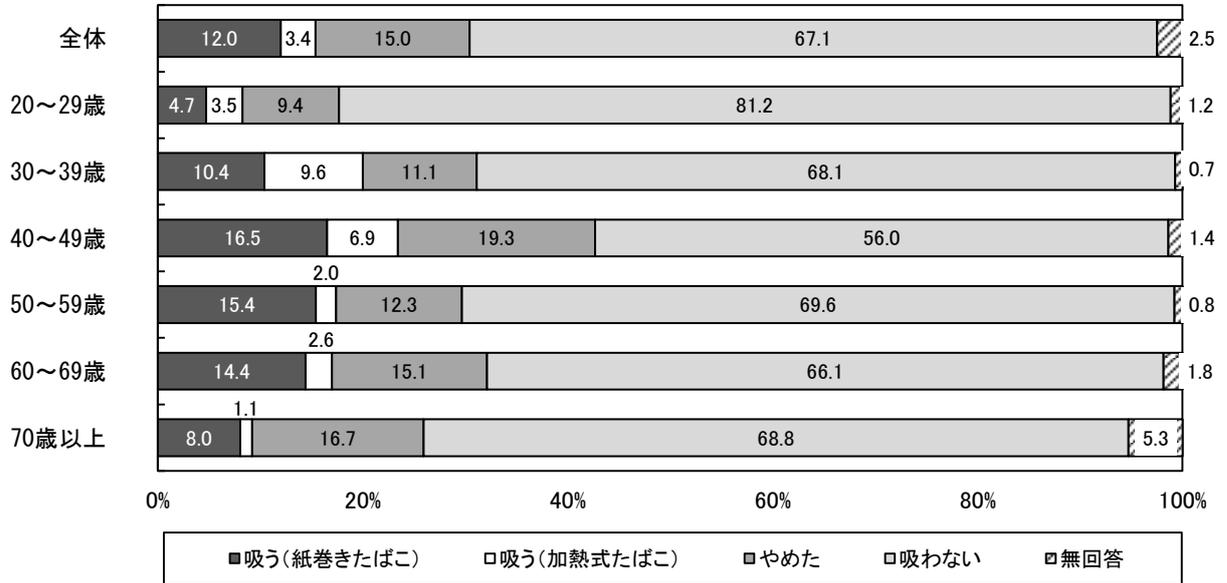
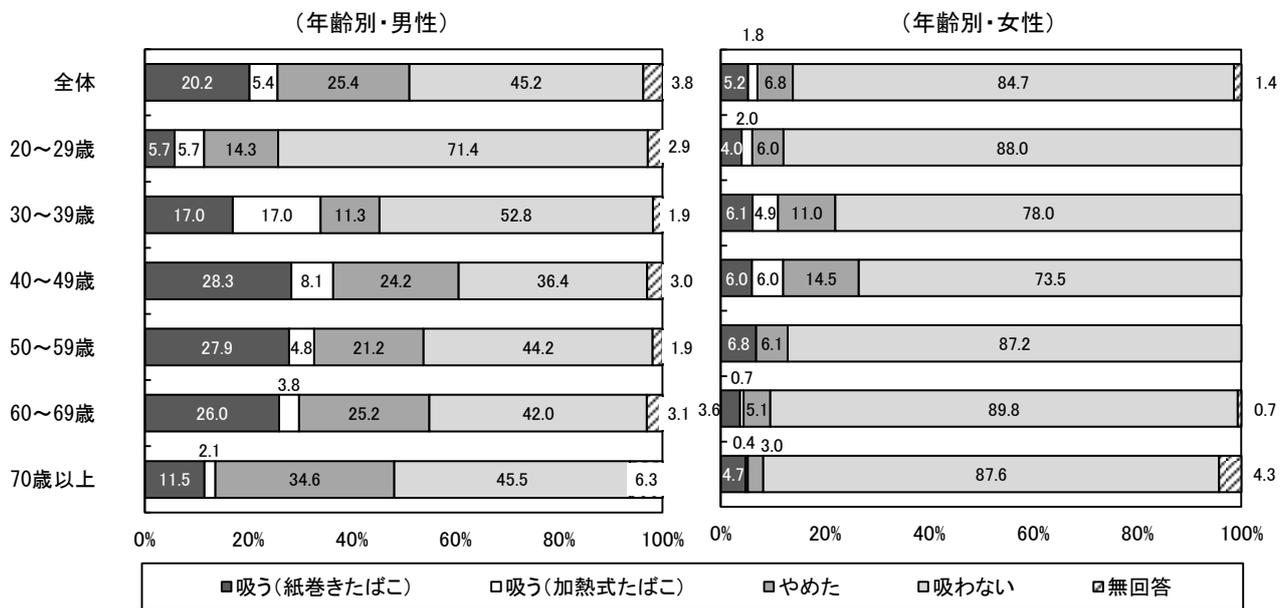


図 5.11-3 喫煙習慣



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

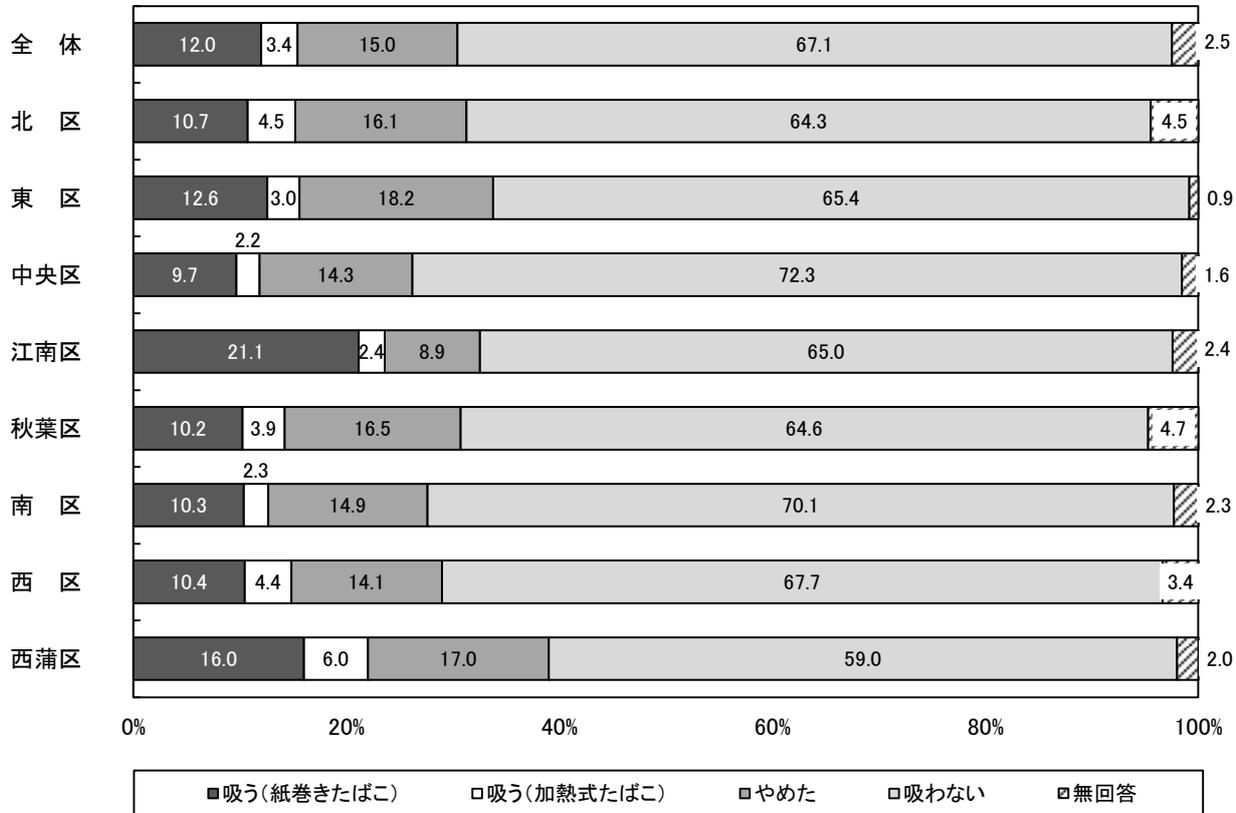
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「やめた」「吸わない」を合わせた、喫煙をしていない人の割合は、中央区（86.6%）で最も高くなっている。

図 5.11-4 喫煙習慣（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

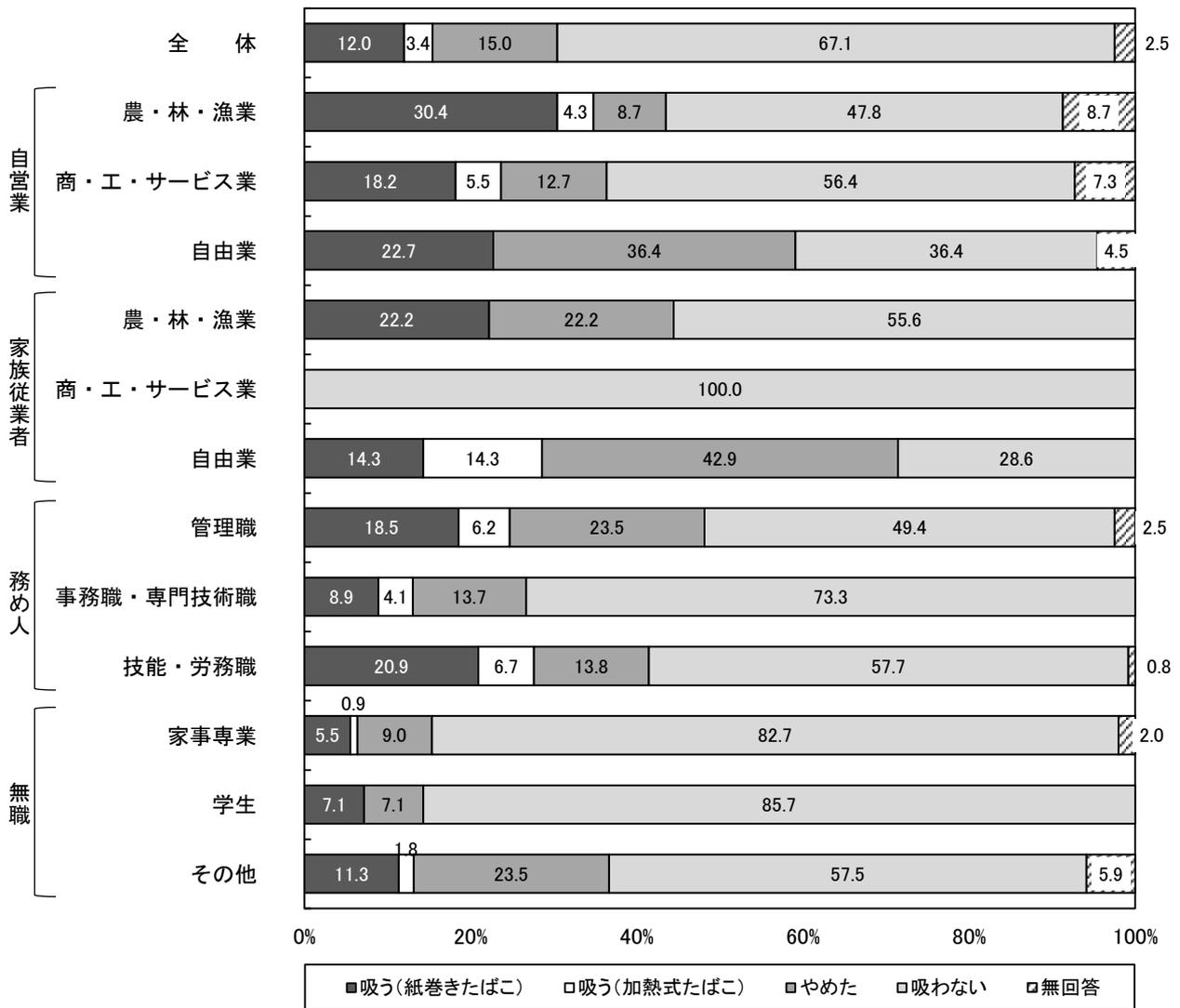
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.11-5 喫煙習慣（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

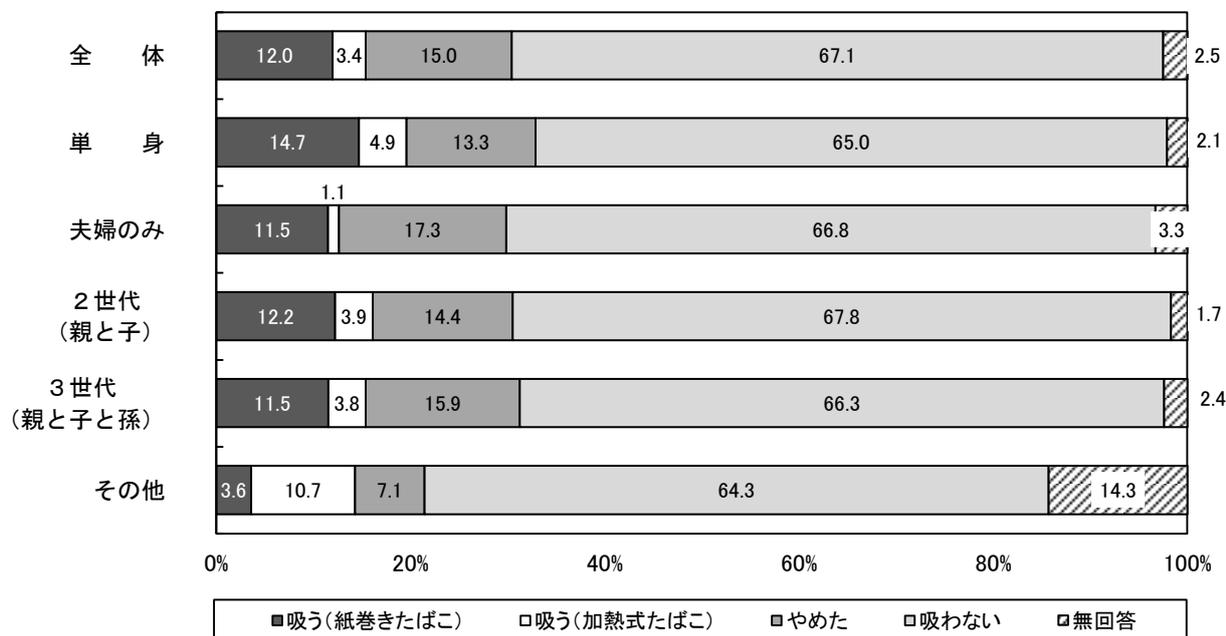
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「やめた」「吸わない」を合わせた、喫煙をしていない人の割合は、夫婦のみ（84.1%）で最も高くなっている。一方、「吸う」は単身（14.7%）が最も高くなっている。

図 5.11-6 喫煙習慣（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(12) 最近1か月の受動喫煙の状況

問35 あなたはこの1か月に自分以外の人が吸っているたばこ（加熱式のたばこも含む）の煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか。（項目ごとに〇は1つだけ）

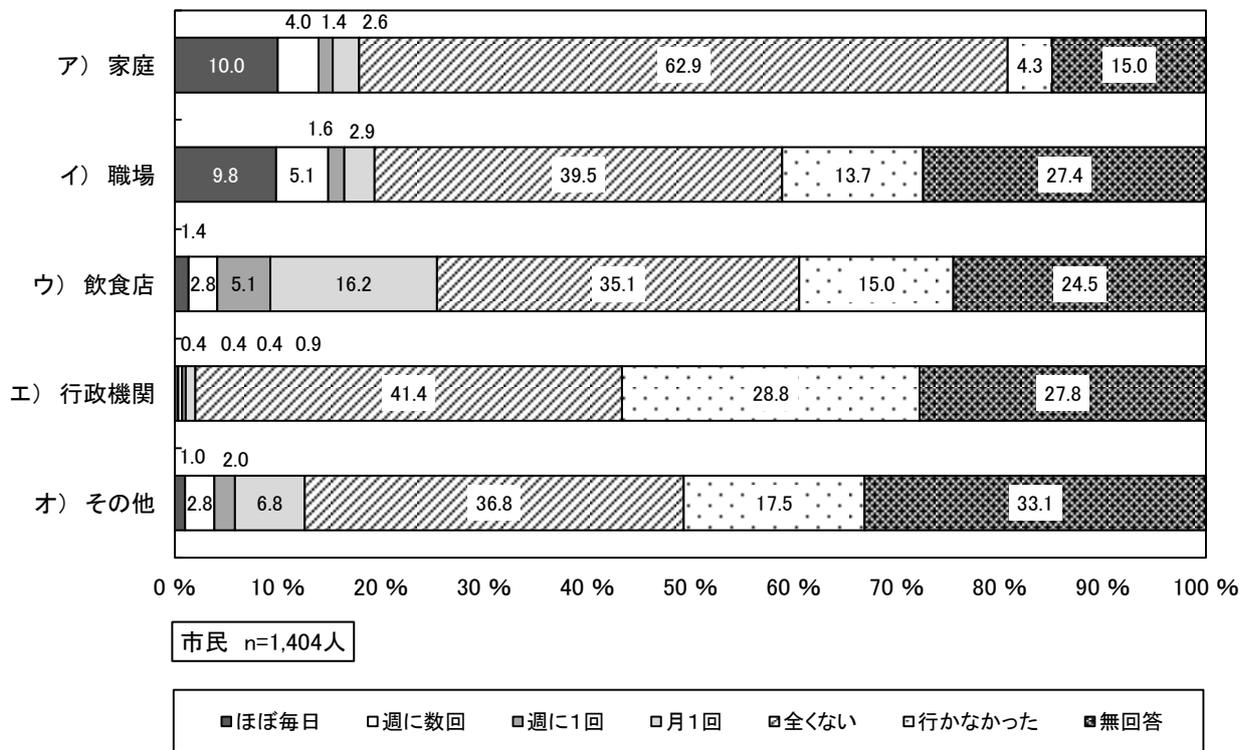
6割強が『家庭』での受動喫煙は「全くない」と回答

【全体結果】

いずれの項目も「全くない」の割合が最も高く、『ア) 家庭』の項目では6割強（62.9%）となっている。

一方、「ほぼ毎日」と回答した人の割合は、『ア) 家庭』（10.0%）と『イ) 職場』（9.8%）の項目で約1割となっている。また、『ウ) 飲食店』の項目では「月に1回」（16.2%）の割合が高くなっている。

図 5.12 最近1か月の受動喫煙の状況



	全体	ほぼ毎日	週に数回	週に1回	月1回	全くない	行かなかった	無回答
ア) 家庭	1,404	140	56	19	36	883	60	210
イ) 職場	1,404	138	71	22	41	555	192	385
ウ) 飲食店	1,404	19	39	72	227	493	210	344
エ) 行政機関	1,404	5	5	5	13	581	405	390
オ) その他	1,404	14	40	28	95	516	246	465

(人)

(13) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）という言葉や意味の認知度

問36 あなたは「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉やその意味を知っていましたか。
（〇は1つだけ）

「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」とは

主として喫煙などにより、有害物質を長期に吸い込むことによって肺に炎症がおき、肺の中の組織が破壊されて、酸素の取り込みや二酸化炭素を排出する機能が低下する疾患です。

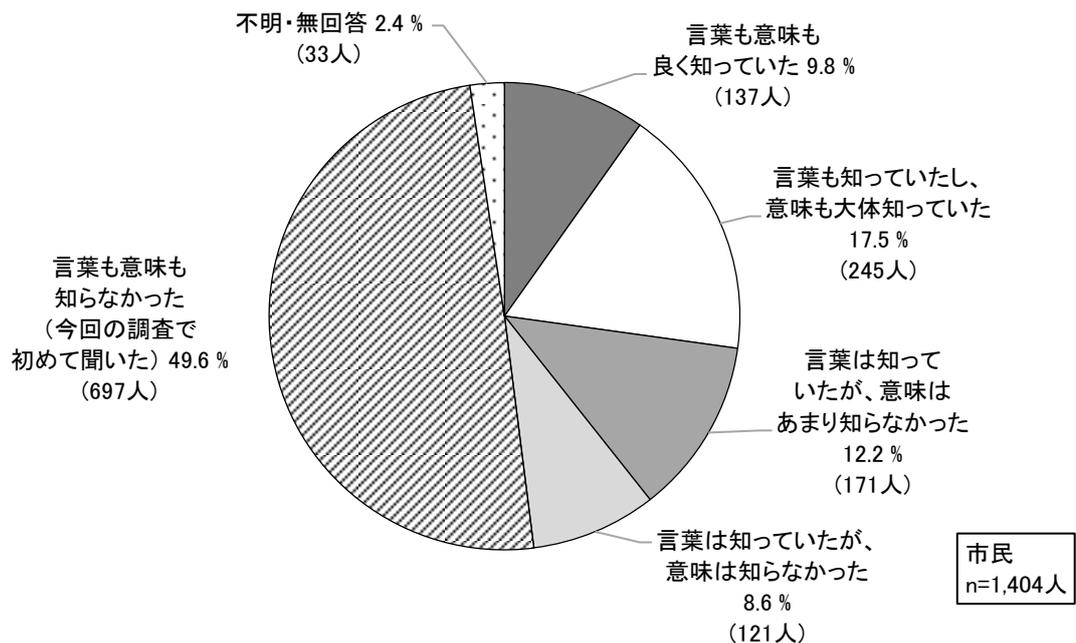
せき・たん・息切れを主な症状とし、徐々に呼吸障がい progresses します。

3割弱が言葉や意味を認知していると回答

「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」（9.8%）、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」（17.5%）と回答した人を合わせた割合は3割弱（27.2%）となっている。

一方、「言葉も意味も知らなかった（今回の調査で初めて聞いた）」と回答した人の割合は約5割（49.6%）となっている。

図 5.13 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、20歳代で高く、全体の3分の1以上を占めている。

性別では、60歳以上の年代で「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、男性の方が高くなっている。

図 5.13-2 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度（年齢別・全体）

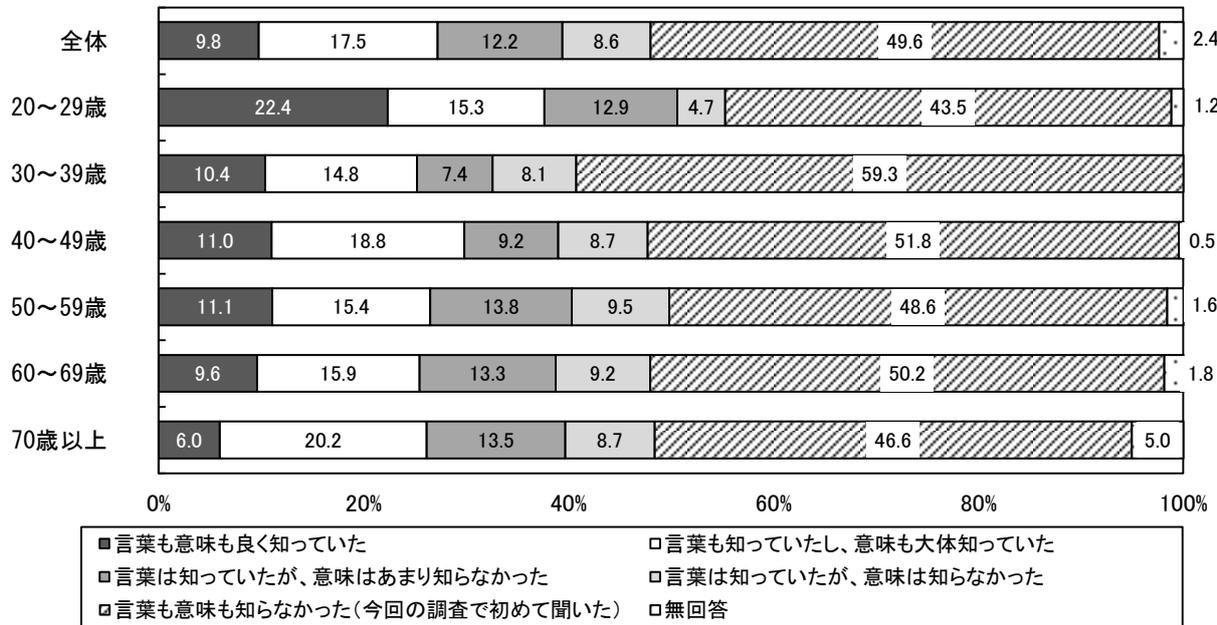
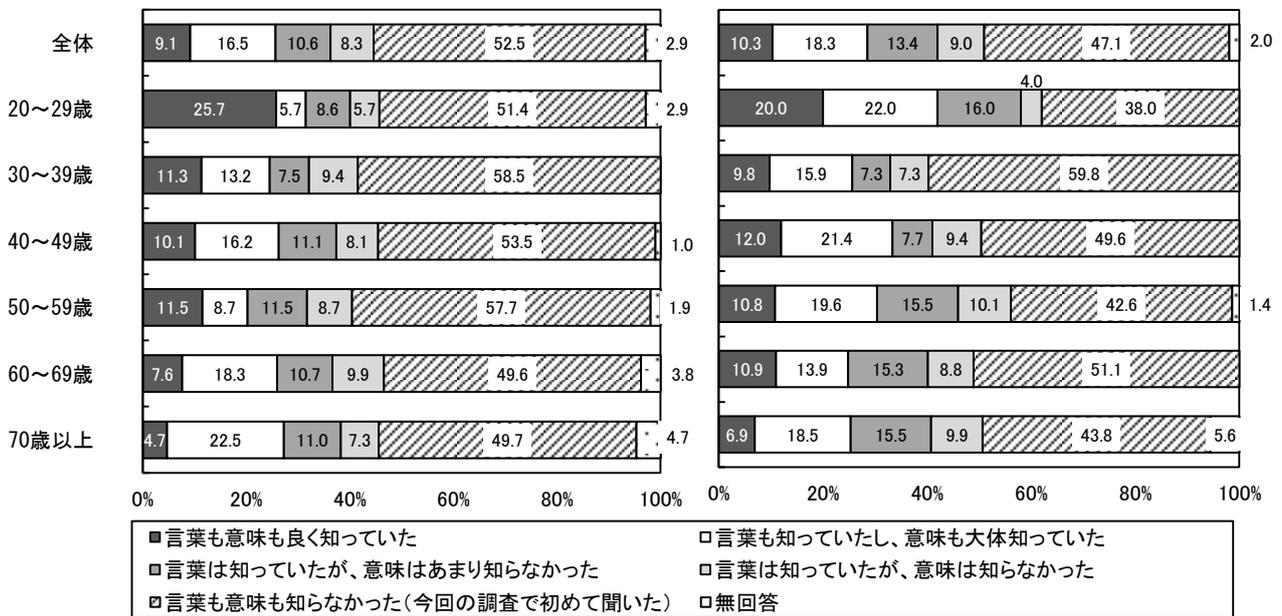


図 5.13-3 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度
(年齢別・男性) (年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

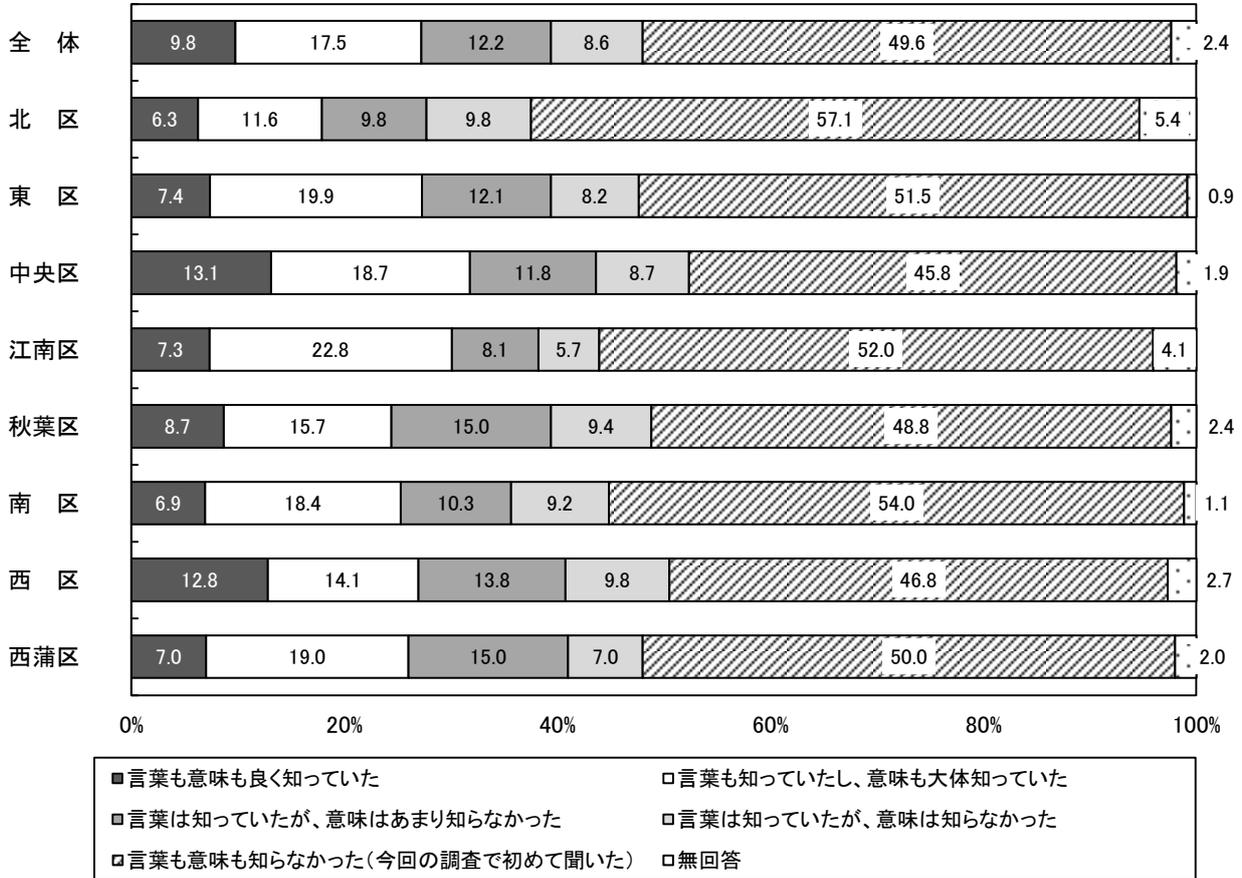
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、中央区（31.8%）で最も高くなっている。

図 5.13-4 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

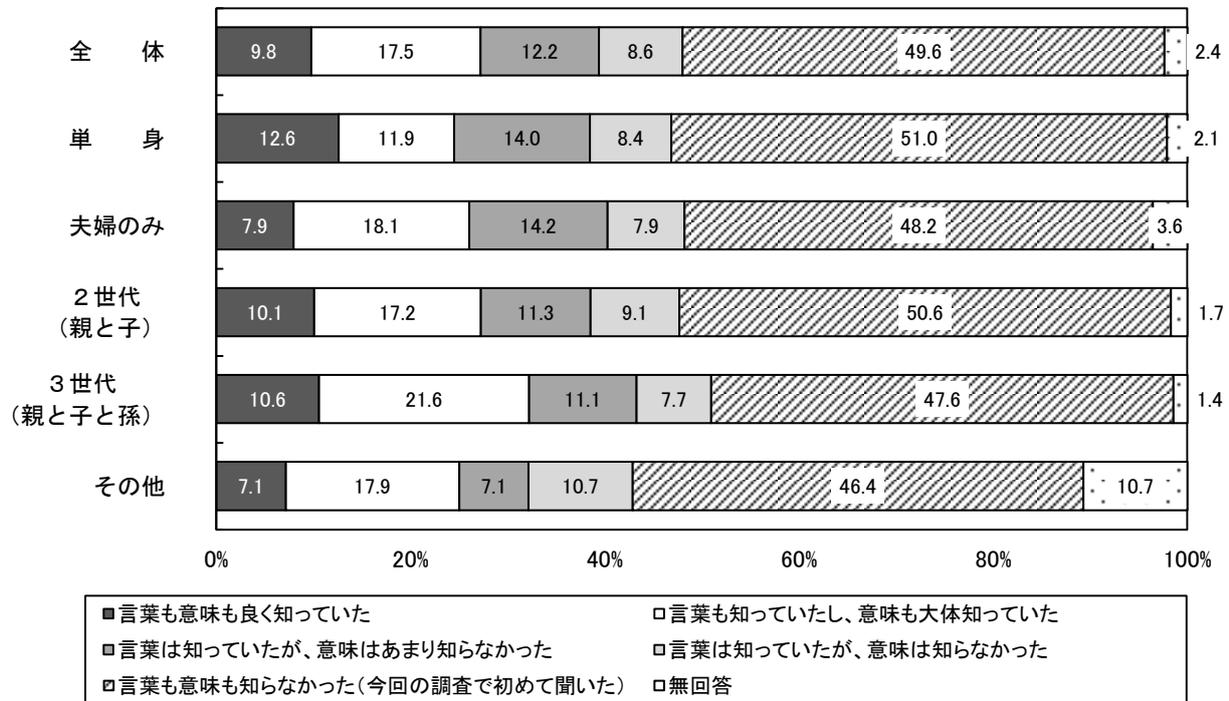
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、3世代（32.2%）で最も高くなっている。

図 5.13-6 「慢性閉塞性肺疾患（COPD）」という言葉や意味の認知度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

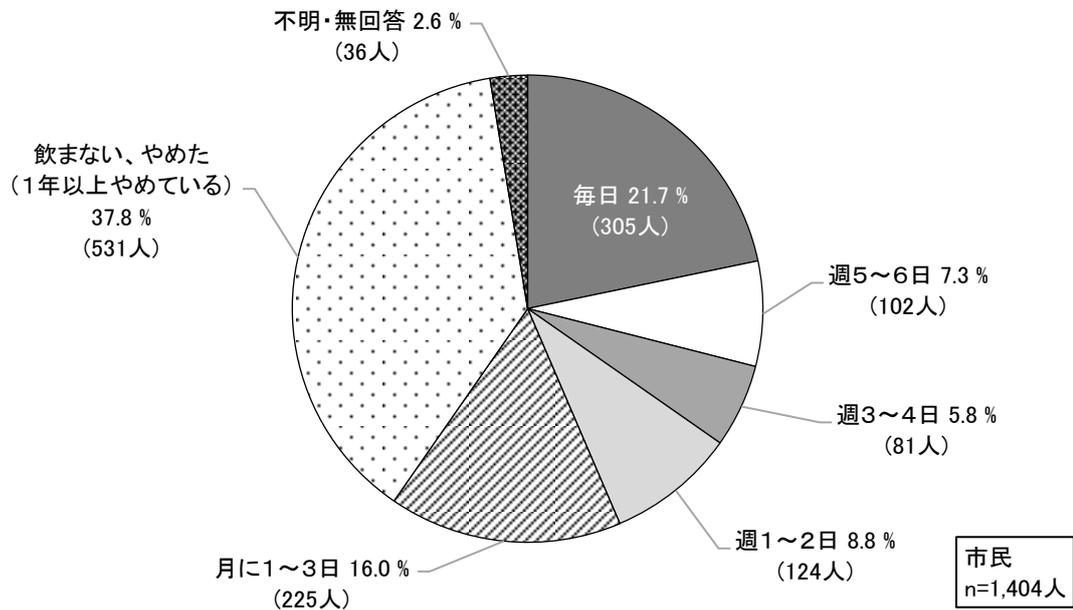
(14) 飲酒の頻度

問37 あなたは週に何日くらいビール、日本酒、ウイスキーなどのアルコール類を飲みますか。
(○は1つだけ)

4割弱が「飲まない、やめた」と回答

「飲まない、やめた（1年以上やめている）」と回答した人の割合が4割弱（37.8%）となっている。一方、飲酒の回数では「毎日」が2割強（21.7%）で、最も多くなっている。

図 5.14 飲酒の頻度



【性別・年齢別】

20歳代を除く年代で「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合が最も高くなっている。20歳代では「月に1～3日」の割合が最も高くなっている。

性別では、すべての年代で「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合は男性より女性の方が高くなっている。「毎日」「週5～6日」を合わせた割合は、すべての年代で、女性より男性の方が高くなっている。また「毎日」の割合は、50歳代と60歳代の男性で高く4割を超えている。

図 5.14-2 飲酒の頻度（年齢別・全体）

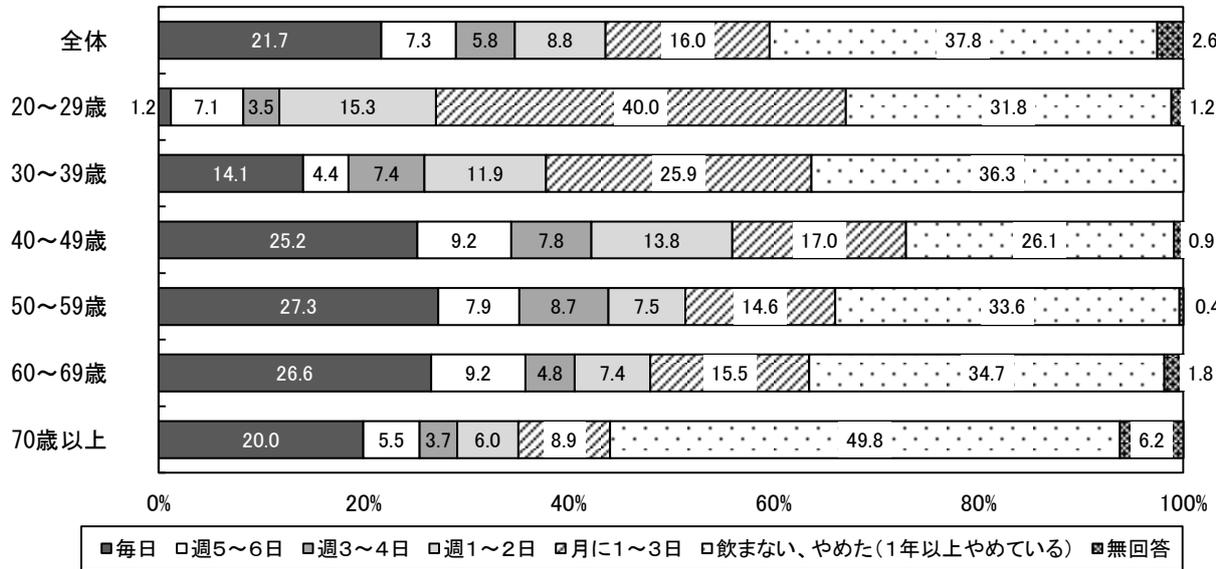
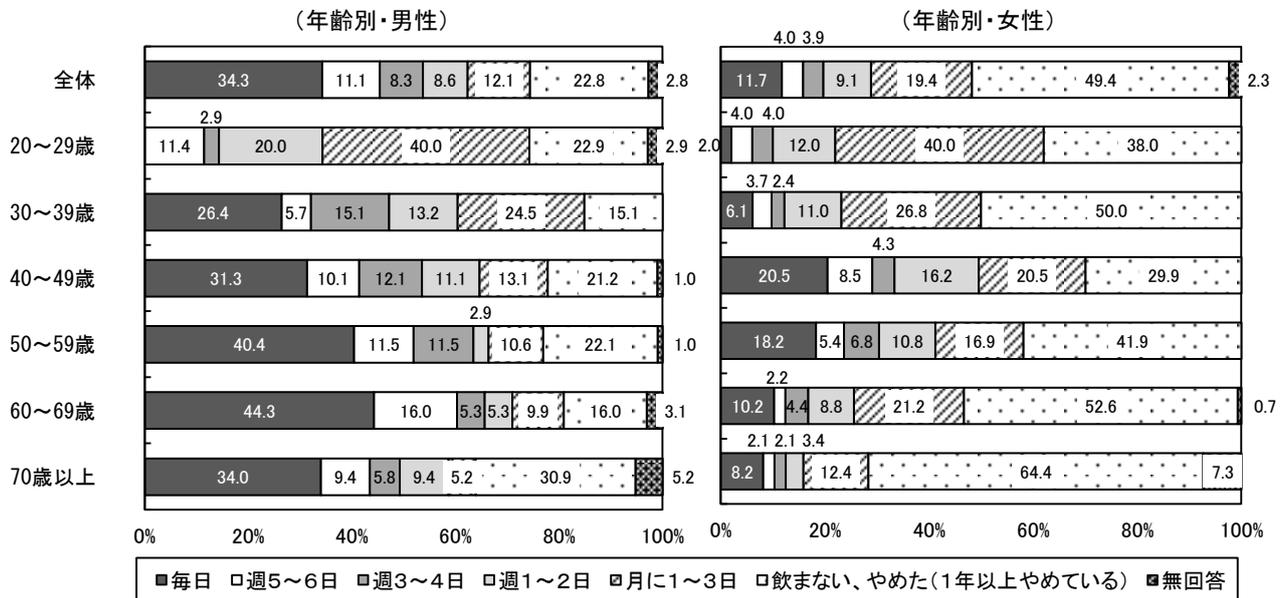


図 5.14-3 飲酒の頻度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

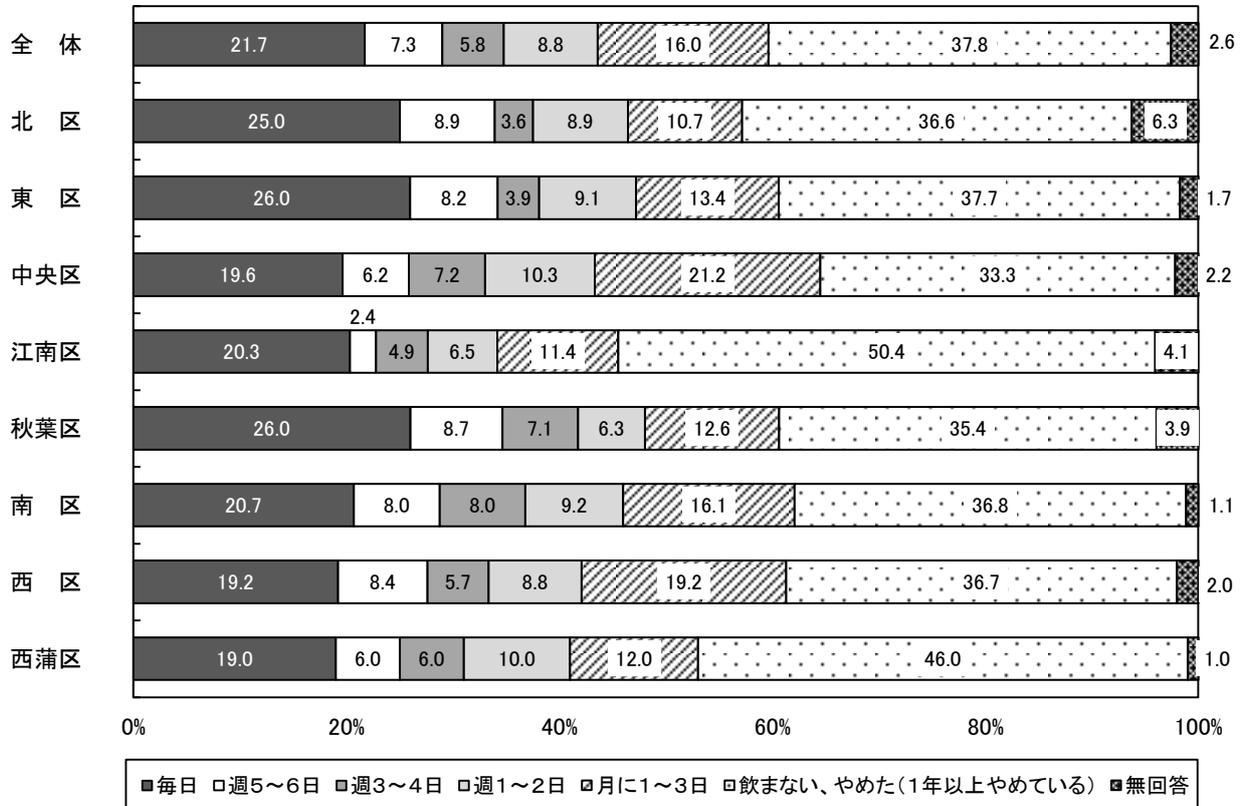
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区ともに、「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合が最も高くなっている。一方、「毎日」の割合は、東区と秋葉区（いずれも26.0%）で高くなっている。

図 5.14-4 飲酒の頻度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

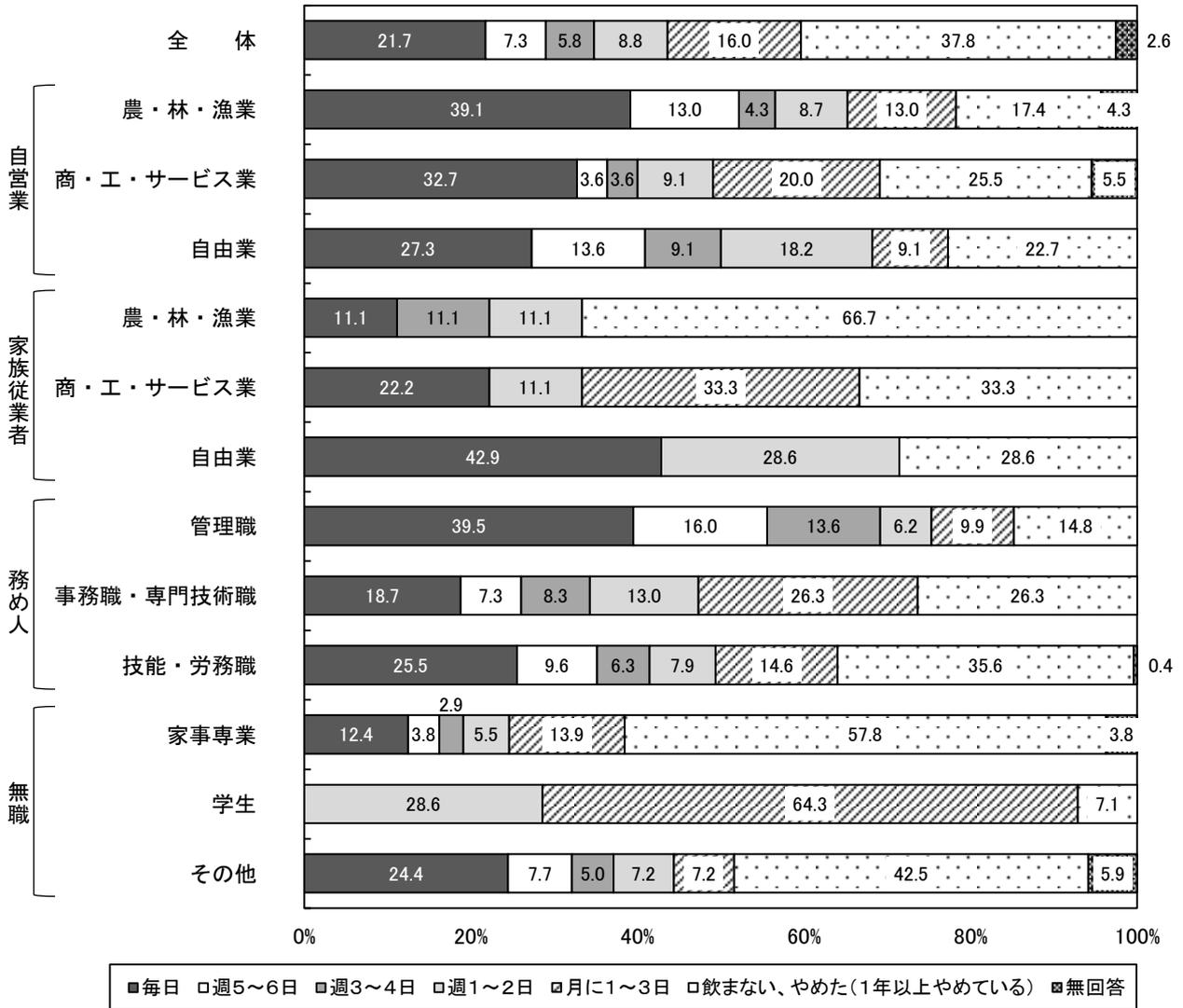
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.14-5 飲酒の頻度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

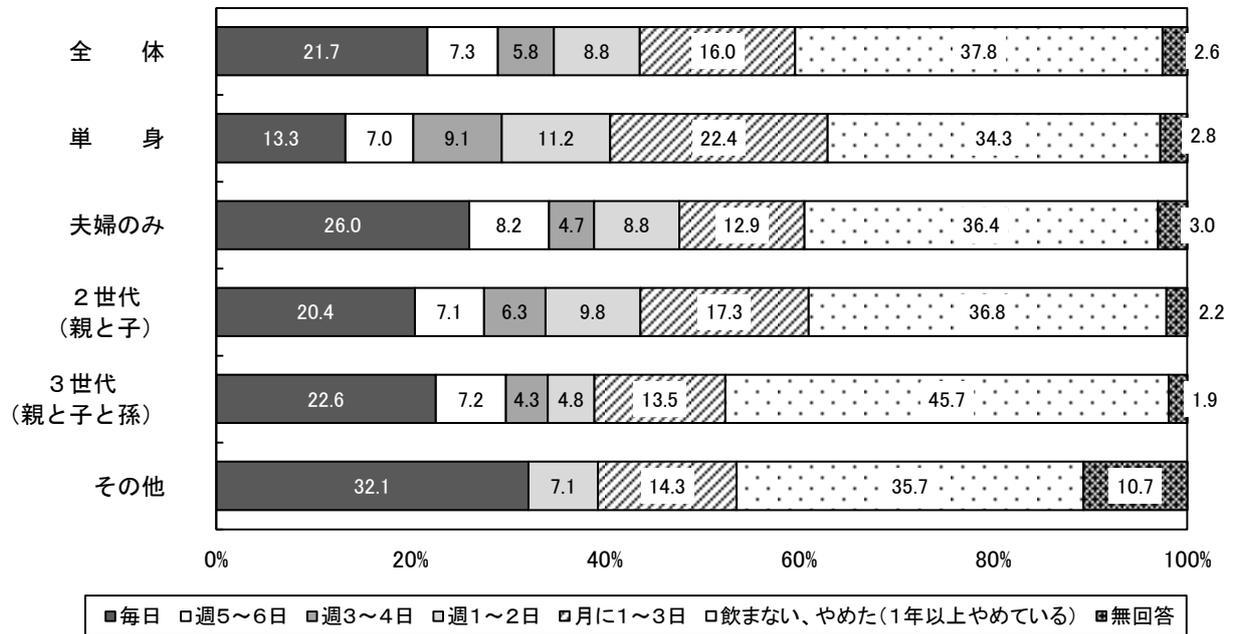
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成ともに、「飲まない、やめた（1年以上やめている）」の割合が最も高くなっている。

図 5.14-6 飲酒の頻度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(15) 平均飲酒量

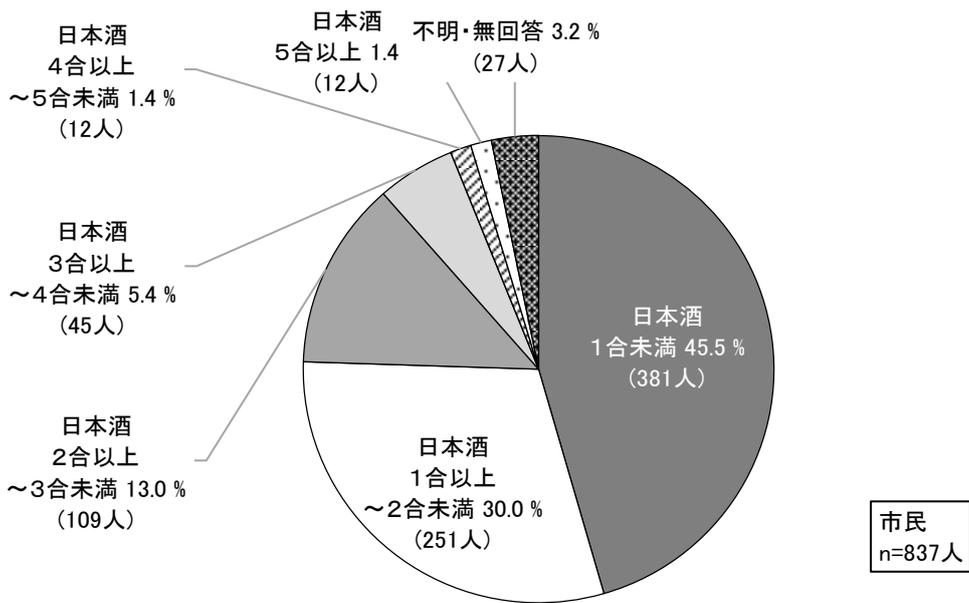
問37-1 あなたの1回当たりの平均飲酒量はどの程度ですか。(○は1つだけ)

※日本酒1合＝(180ml) { ビール、発泡酒1本(500ml)
 ワイン2杯(240ml)
 ウイスキーダブル1杯(60ml)
 焼酎 20度(135ml)
 焼酎 25度(110ml)
 酎ハイ 7度(350ml) } を目安にしてください。

5割弱が「日本酒1合未満」と回答

平均飲酒量については、「日本酒1合未満」(45.5%)と回答した人が最も多く、以下「日本酒1合以上～2合未満」(30.0%)、「日本酒2合以上～3合未満」(13.0%)、「日本酒3合以上～4合未満」(5.4%)と続いている。

図 5.15 平均飲酒量



【性別・年齢別】

30歳代を除く年代で「日本酒1合未満」と回答した人の割合が最も高く、30歳代では「日本酒1合未満」「日本酒1合以上～2合未満」が同じ割合で最も高くなっている。

性別では、女性はすべての年代で、「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっている。男性の30歳代～50歳代では、「日本酒1合以上～2合未満」の割合が最も高くなっている。

図 5.15-2 平均飲酒量（年齢別・全体）

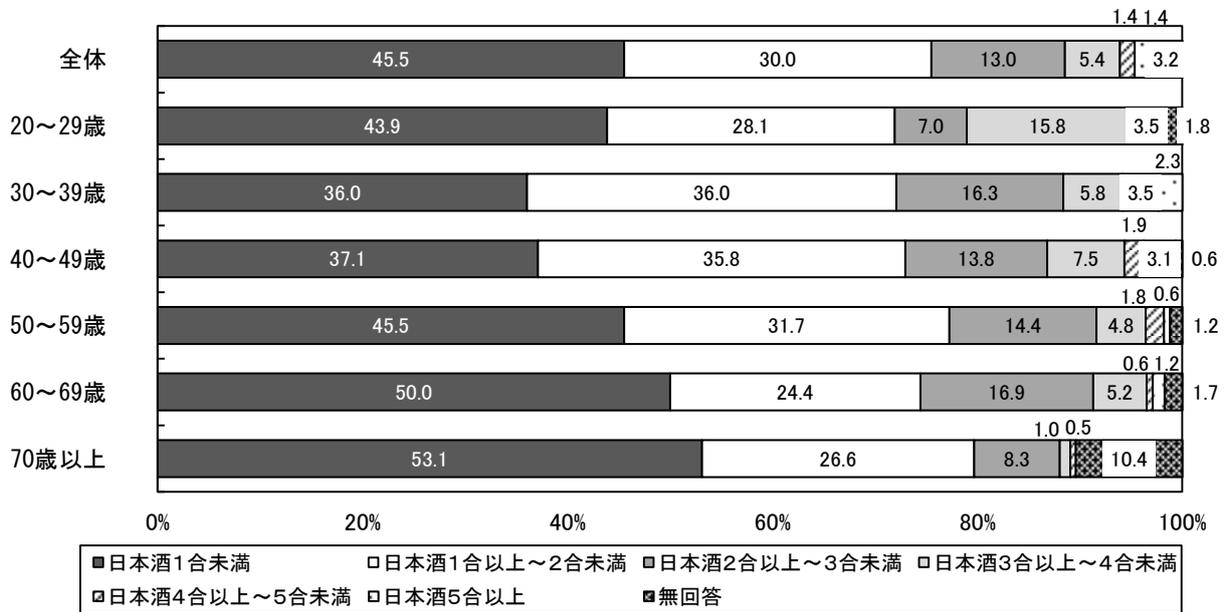
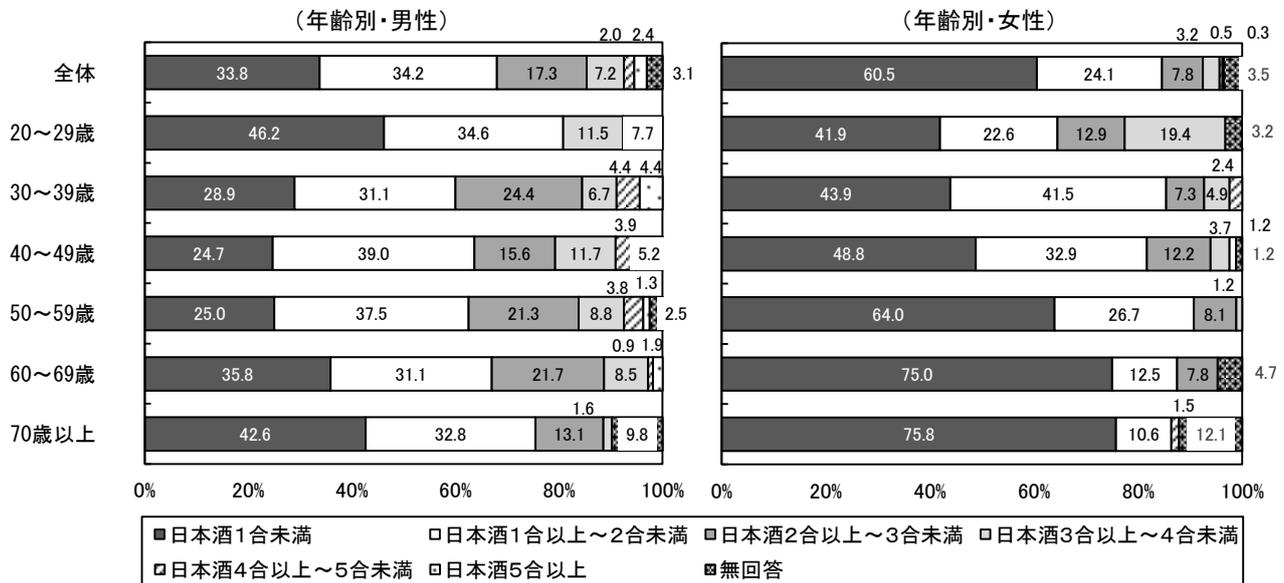


図 5.15-3 平均飲酒量



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	837	57	86	159	167	172	192	4
男性	456	26	45	77	80	106	122	0
女性	370	31	41	82	86	64	66	0

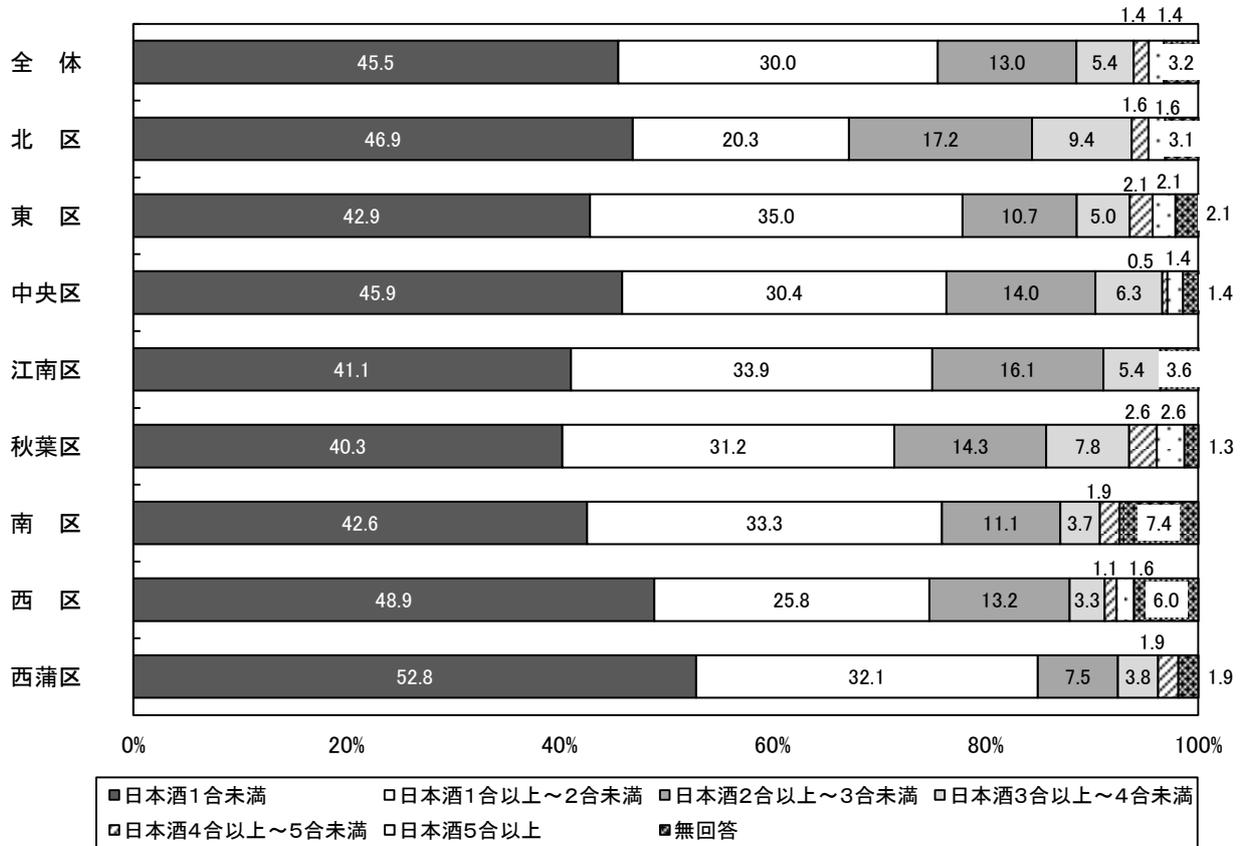
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

各地区とも「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっている。

図 5.15-4 平均飲酒量（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
837	837	837	837	837	837	837	837	837	837

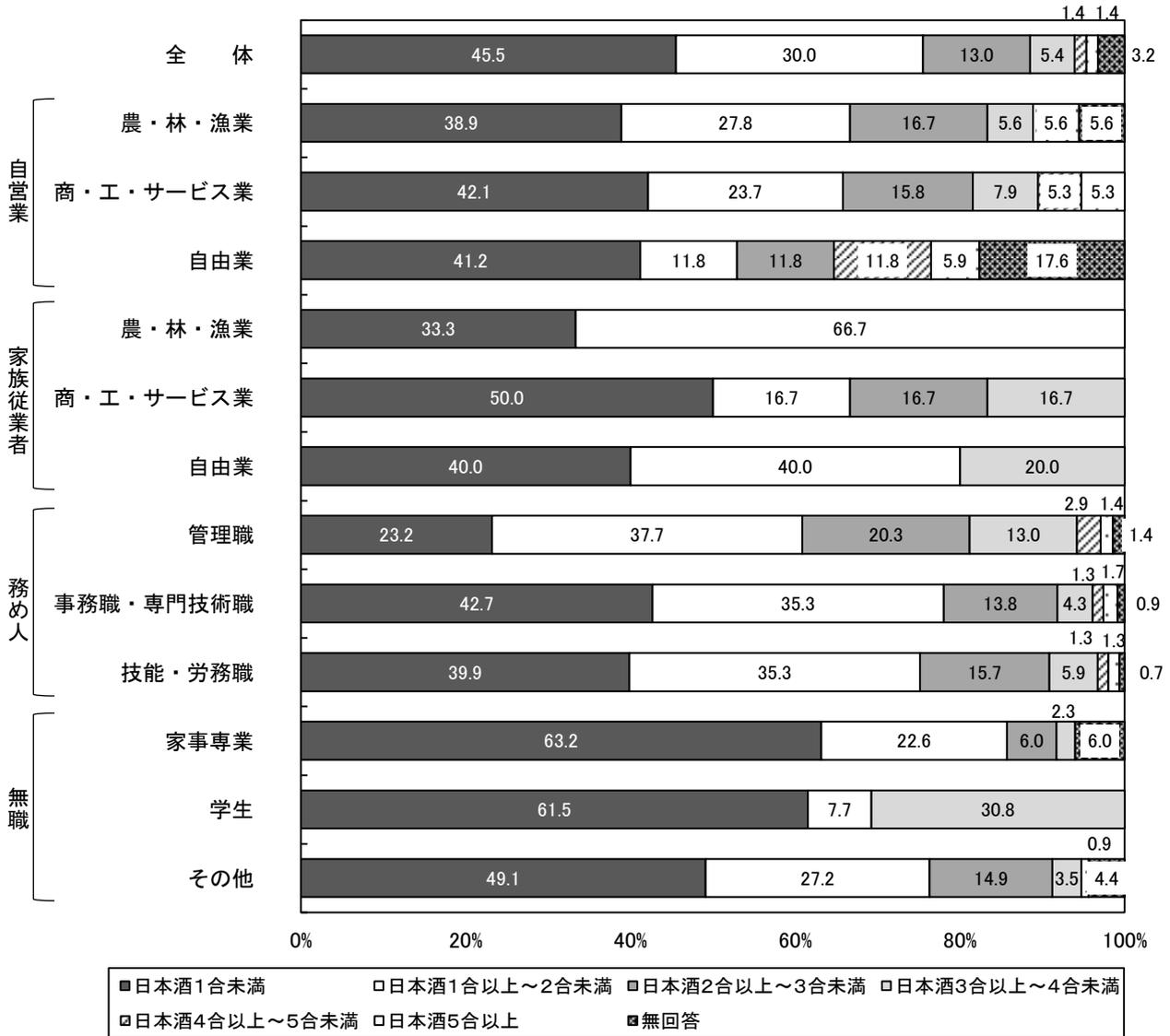
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.15-5 平均飲酒量（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
837	18	38	17	3	6	5

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
69	232	153	133	13	114	36

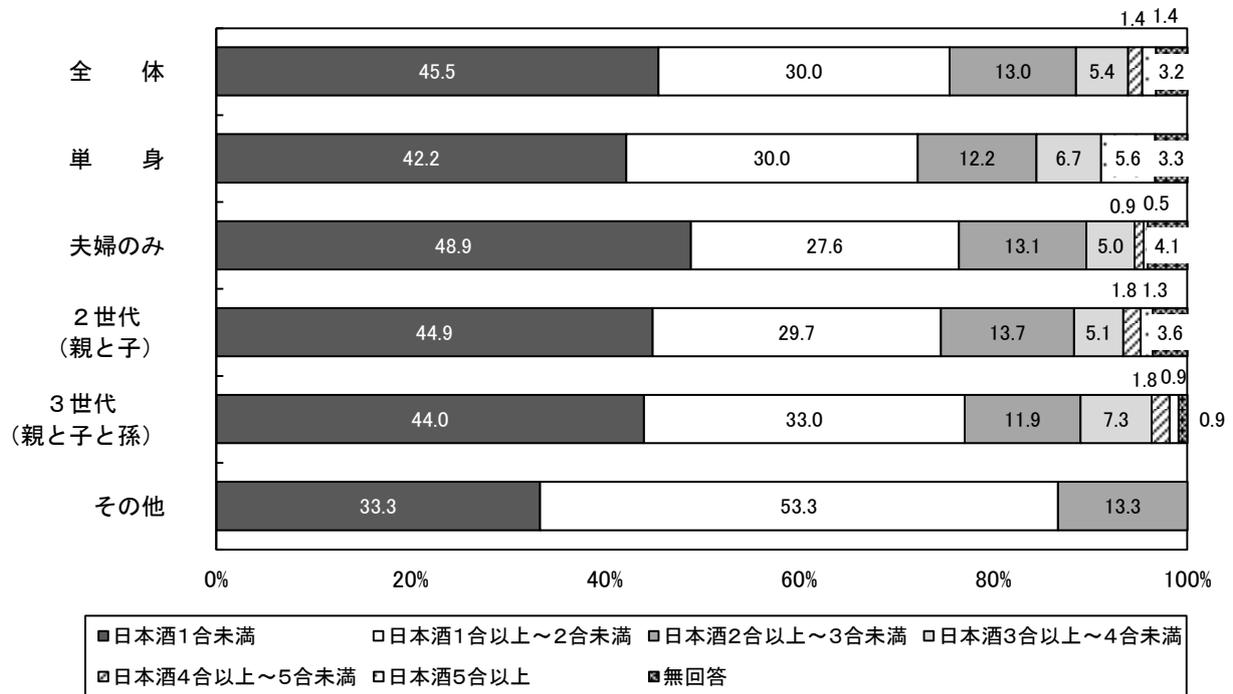
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

その他を除き、「日本酒1合未満」の割合が最も高くなっている。その他は、「日本酒1合以上～2合未満」の割合が最も高くなっている。

図 5.15-6 平均飲酒量（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
837	90	221	394	109	15	8

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

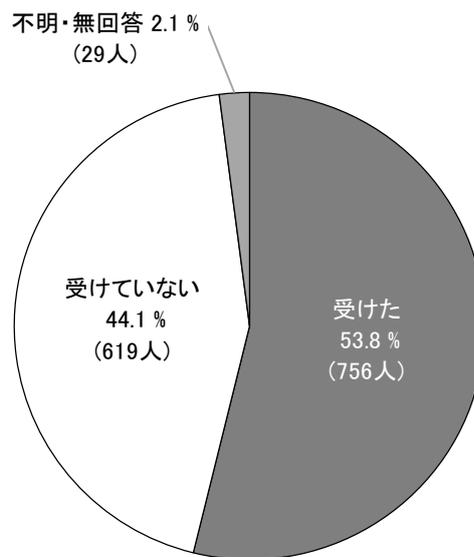
(16) 最近1年間の歯科健（検）診の受診状況

問38 あなたはこの1年間に歯科健（検）診を受けましたか。（○は1つだけ）

5割強が歯科健（検）診を「受けた」と回答

最近1年間に歯科健（検）診を「受けた」と回答した人の割合が5割強（53.8%）、「受けていない」と回答した人の割合は4割強（44.1%）となっている。

図 5.16 最近1年間の歯科健（検）診の受診状況



市民
n=1,404人

【性別・年齢別】

「受けた」の割合は、70歳以上（60.8%）が最も高く、6割を超えている。

性別では、「受けた」の割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 5.16-2 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況（年齢別・全体）

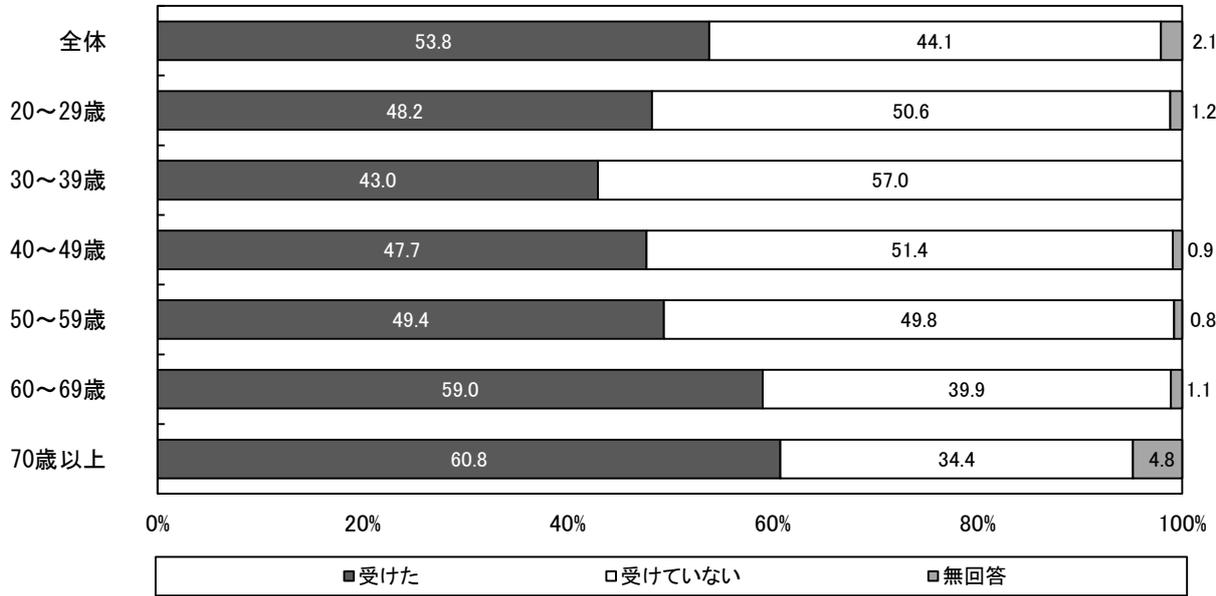
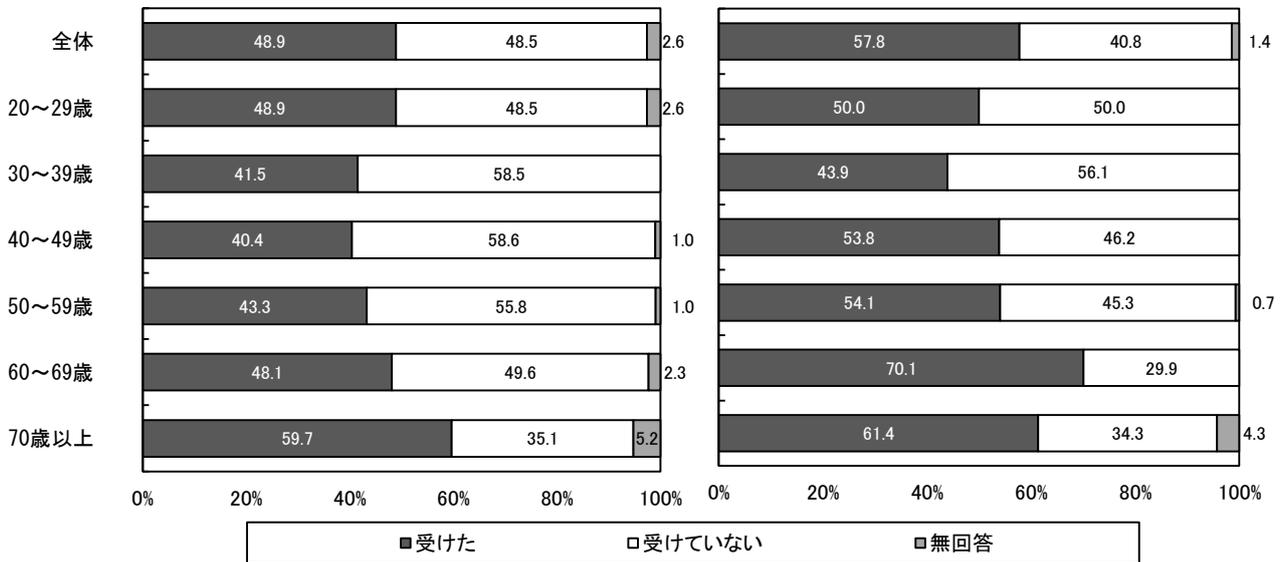


図 5.16-3 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

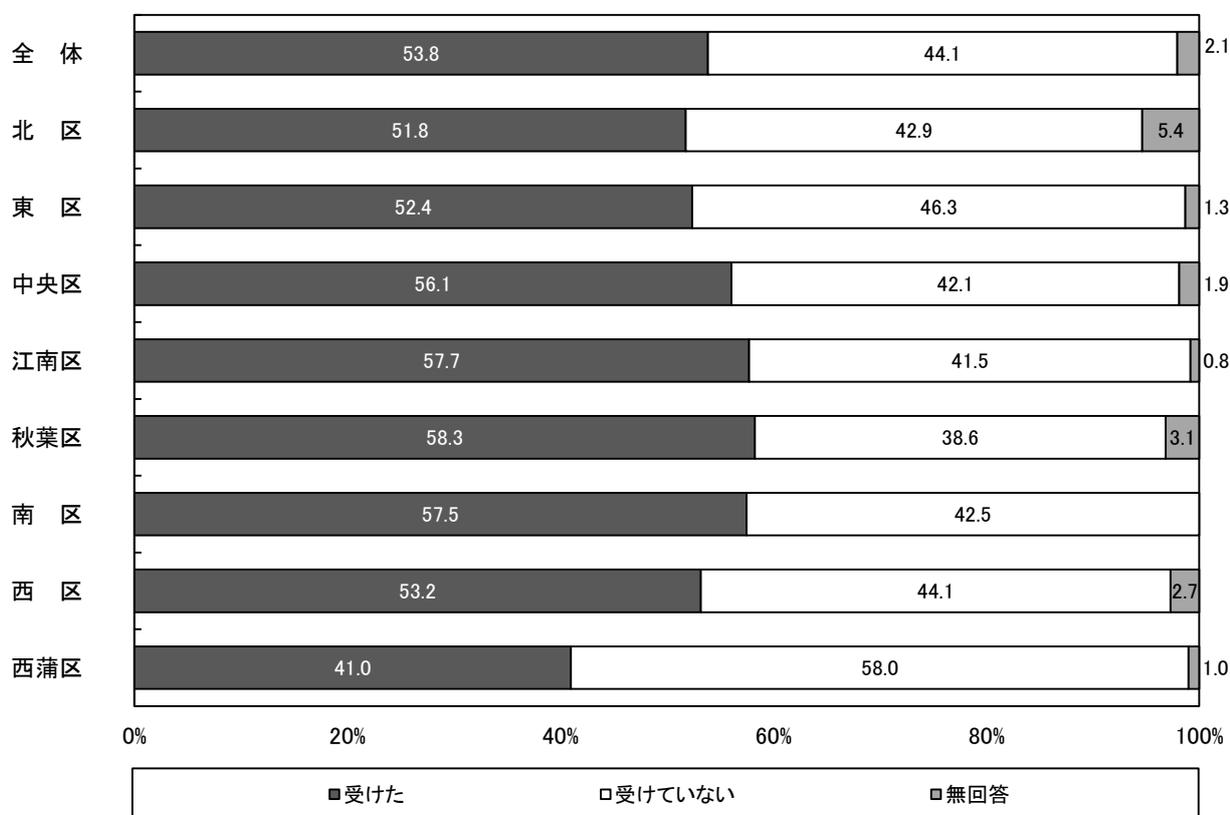
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「受けた」の割合は、秋葉区（58.3%）で最も高く、西蒲区（41.0%）で最も低くなっている。

図 5.16-4 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況(地区別)



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

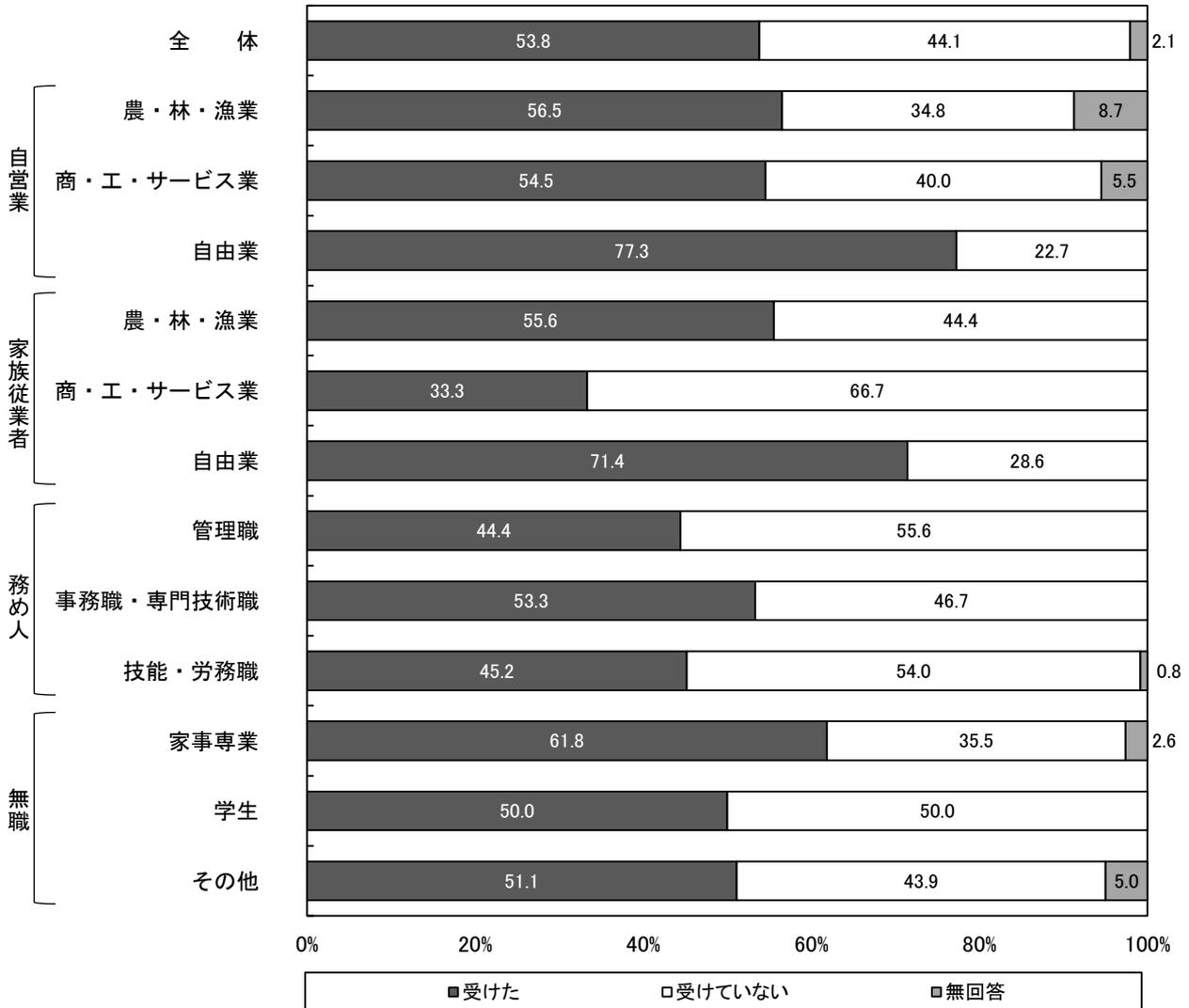
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5. 16-5 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況(職業別)



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

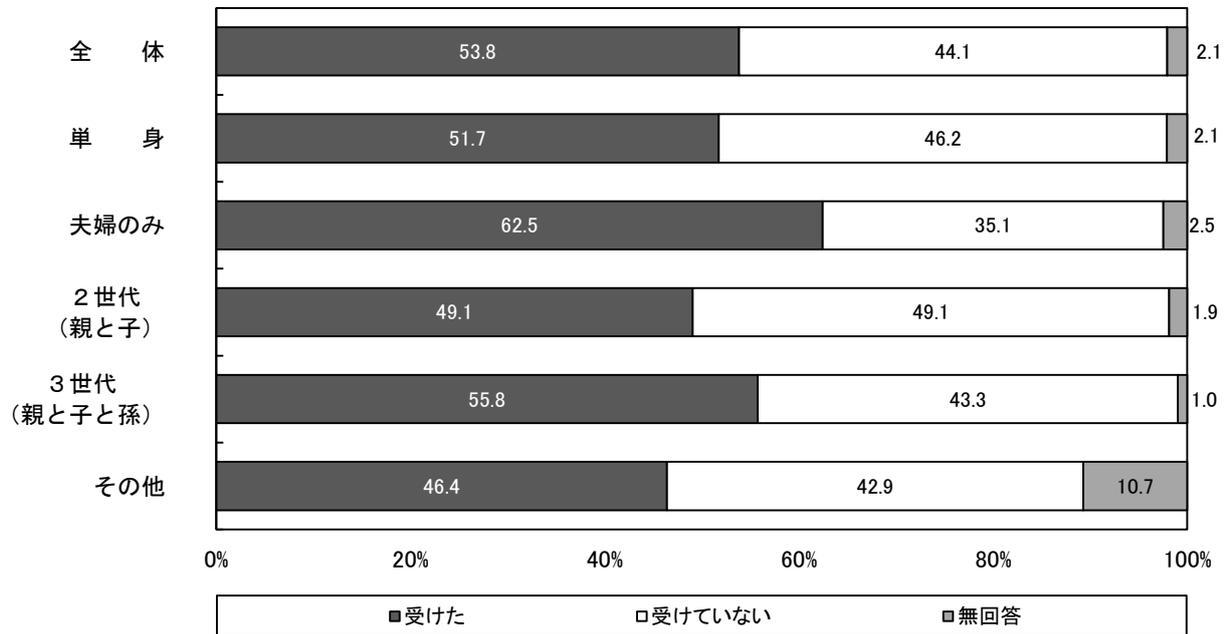
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「受けた」の割合は、夫婦のみ（62.5%）と3世代（55.8%）で高くなっている。

図 5.16-6 最近1年間の歯科健(検)診の受診状況(家族構成別)



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

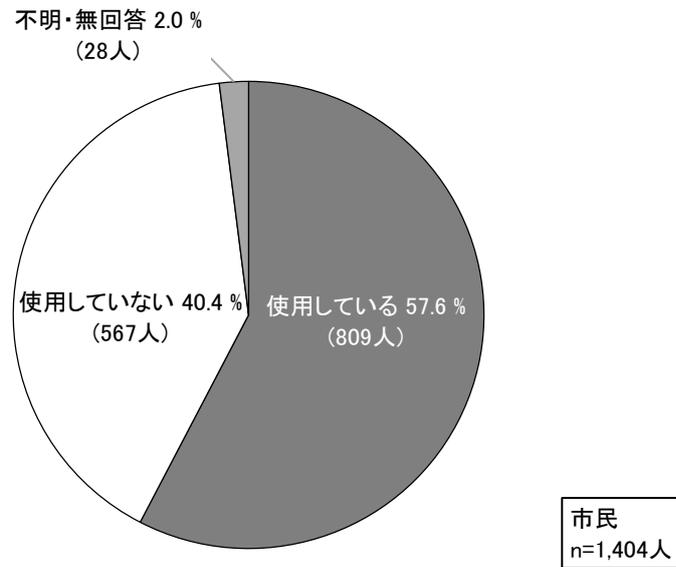
(17) 歯間部清掃用具の使用状況

問39 あなたはむし歯予防や歯周病の予防のために歯間部清掃用具（デンタルフロス（糸つきようじ）、歯間ブラシ）を使用していますか。（○は1つだけ）

6割弱が「使用している」と回答

歯間部清掃用具（デンタルフロス（糸つきようじ）、歯間ブラシ）を「使用している」と回答した人の割合が6割弱（57.6%）、「使用していない」と回答した人の割合は約4割（40.4%）となっている。

図 5.17 歯間部清掃用具の使用状況



【性別・年齢別】

「使用している」の割合は、20歳代（42.4%）で、他の年代に比べ低くなっている。

性別では、「使用している」割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 5.17-2 歯間部清掃用具の使用状況（年齢別・全体）

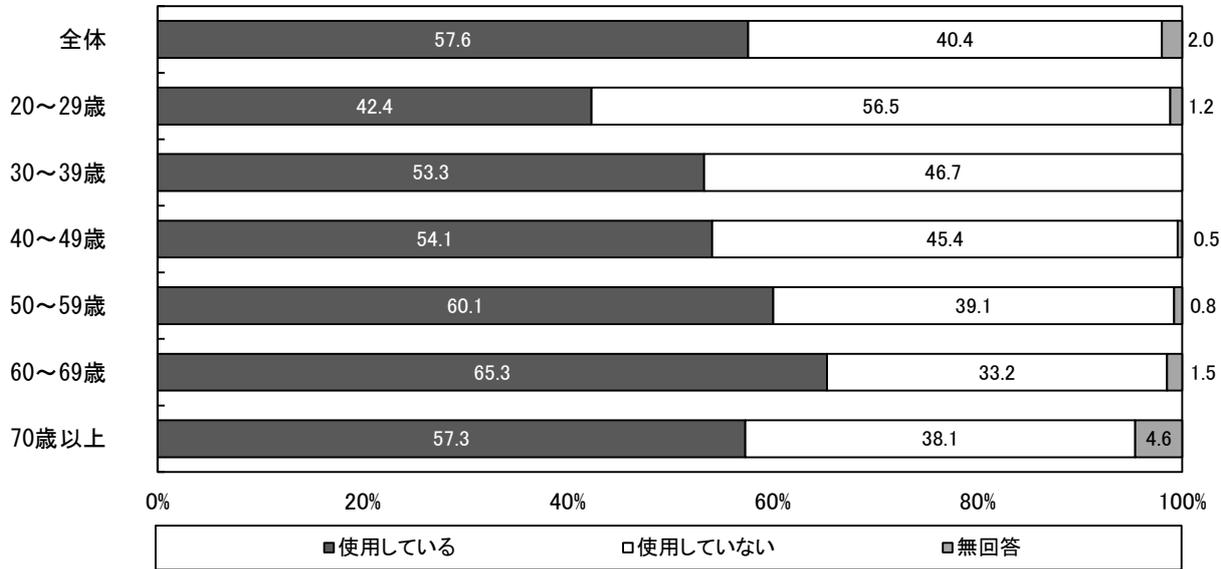
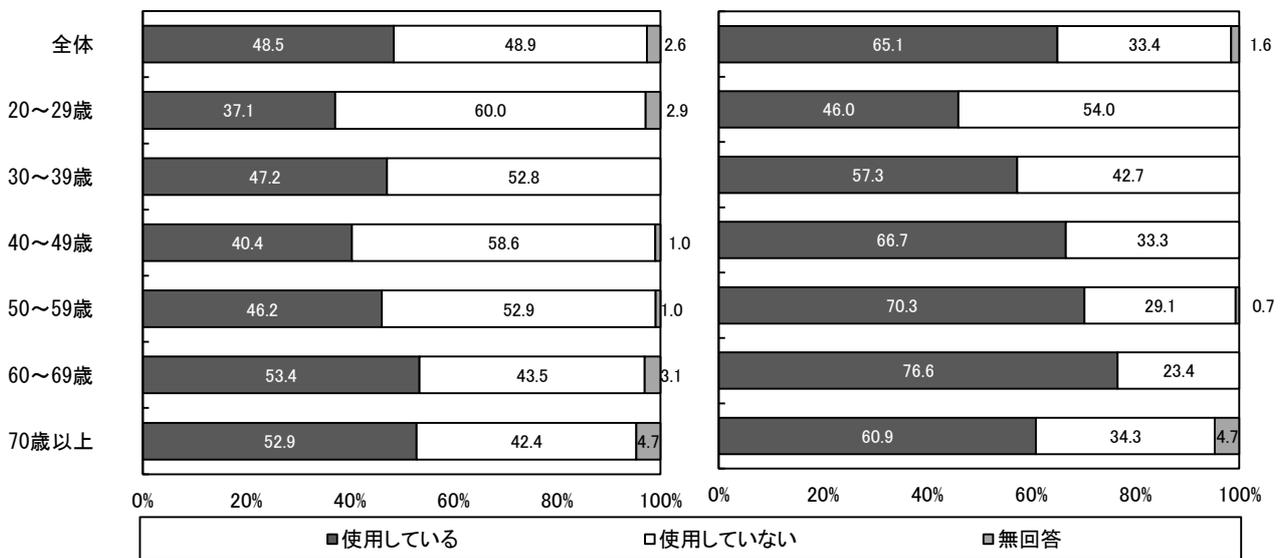


図 5.17-3 歯間部清掃用具の使用状況

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

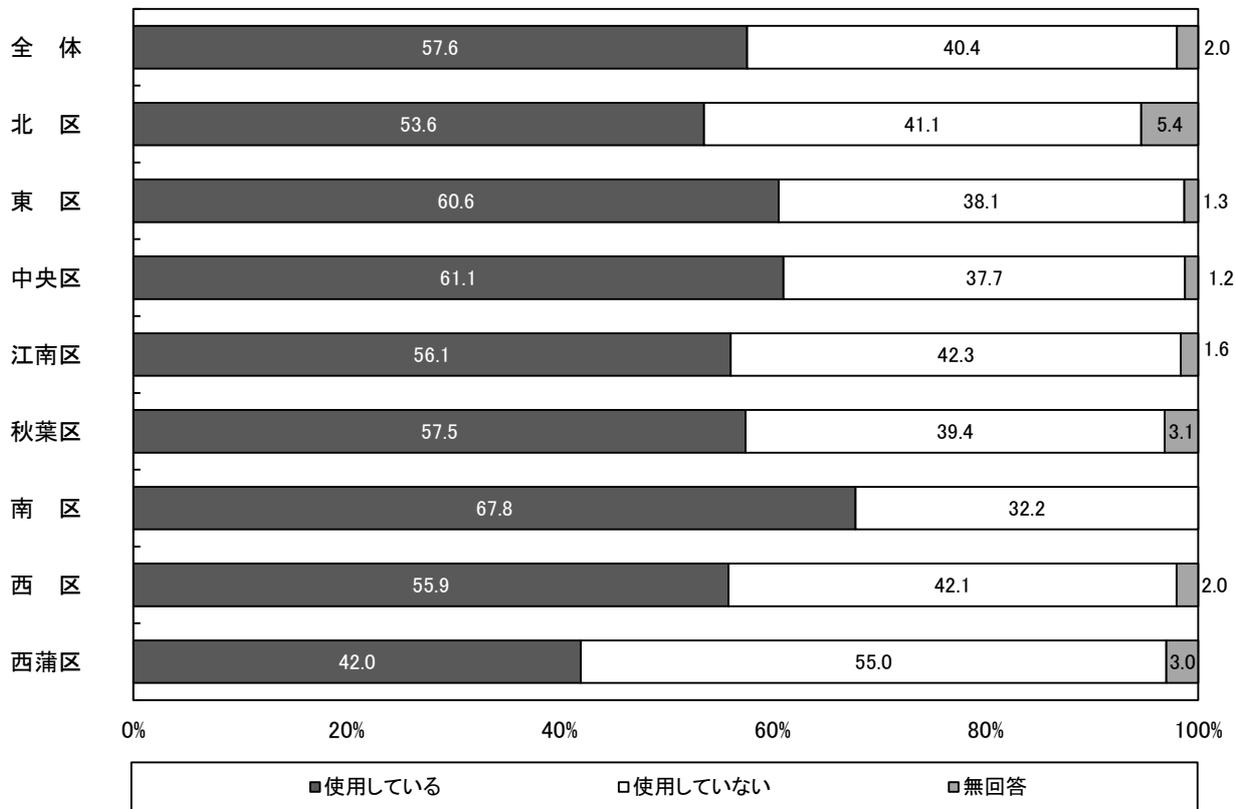
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「使用している」割合は、南区（67.8%）で最も高く、6割を超えている。

図 5.17-4 歯間部清掃用具の使用状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

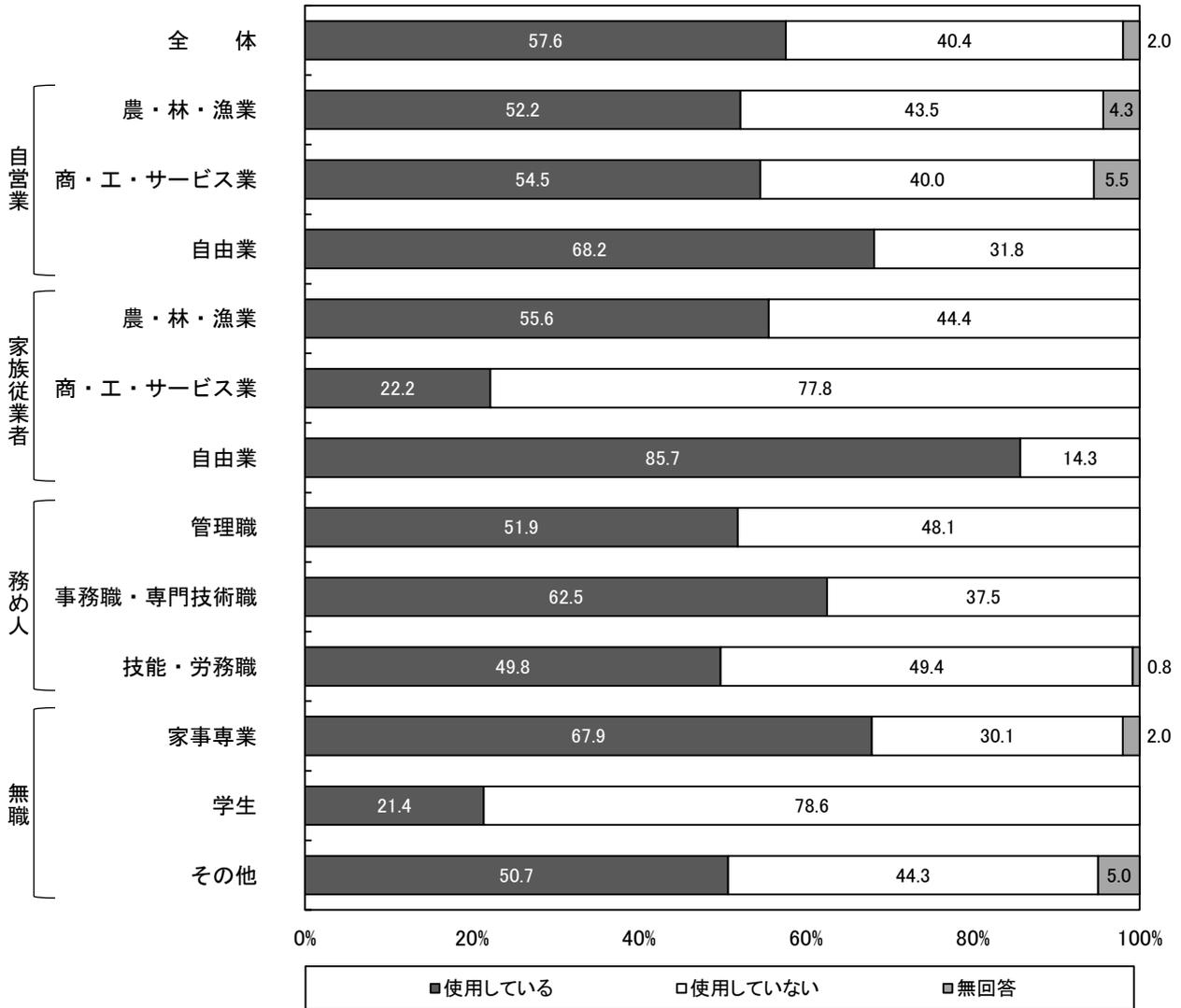
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.17-5 歯間部清掃用具の使用状況（職業別）



全体	自営業			家族従業者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

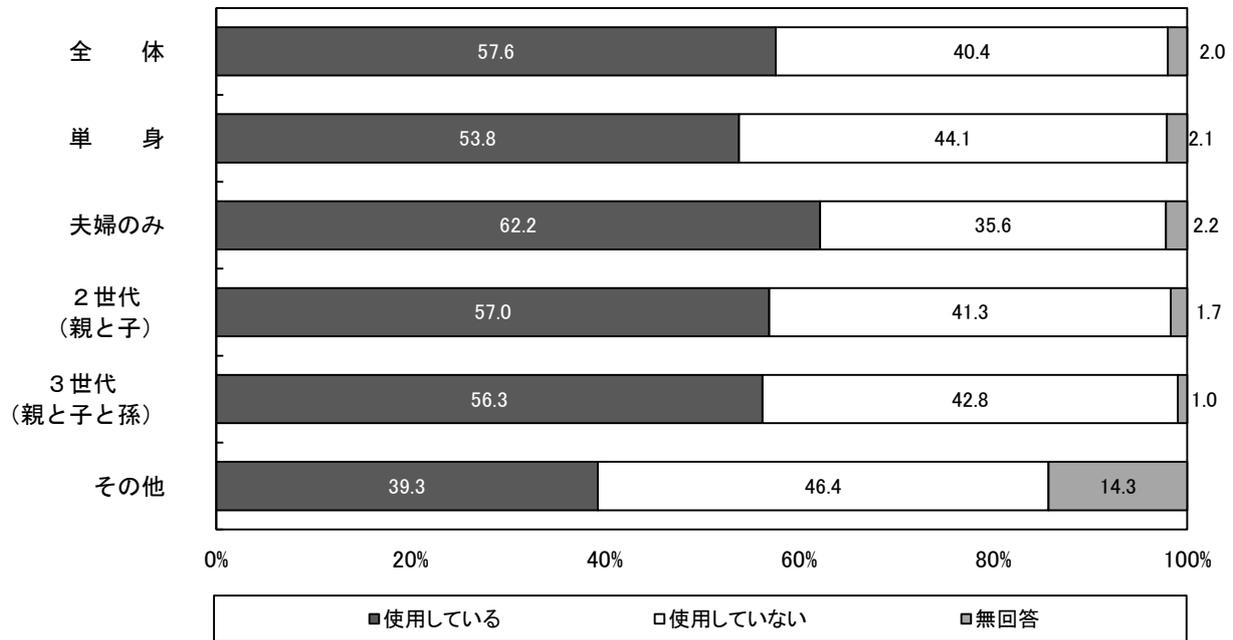
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「使用している」の割合は、夫婦のみ（62.2%）で最も高くなっている。

図 5.17-6 歯間部清掃用具の使用状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(18) 自身の歯の本数

問40 自身の歯は何本ありますか。

※「自身の歯」には、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。

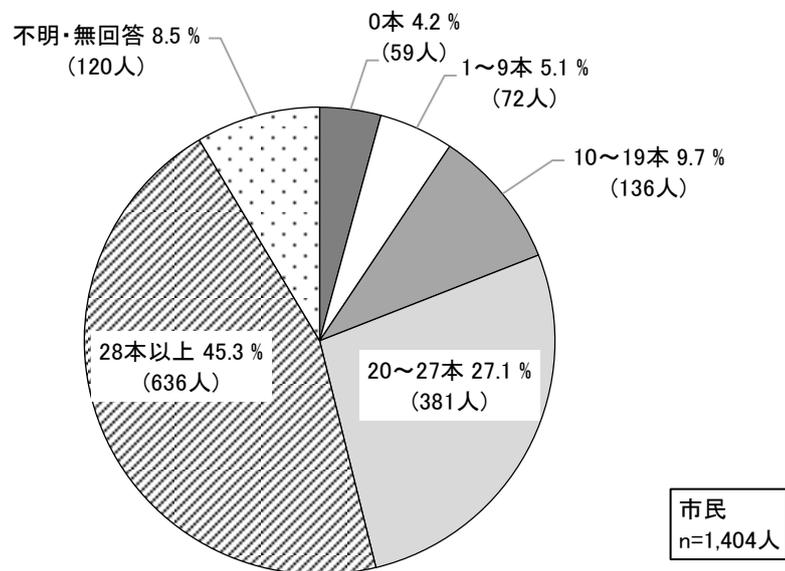
さし歯、親知らずは含みます。親知らずを含むと全部で32本が正常ですが、多少前後することもあります。

0本の場合は、0と書いてください。

5割弱が「28本以上」と回答

「28本以上」と回答した人の割合が5割弱（45.3%）となっている。「28本以上」（45.3%）、「20～27本」（27.1%）と回答した人を合わせた20本以上の割合は7割強（72.4%）となっている。

図 5.18 自身の歯の本数



【性別・年齢別】

「28本以上」「20～27本」を合わせた割合は、30歳代（95.5%）で最も高く9割強となっている。高齢層ほど、「0本」「1～9本」「10～19本」と答えた割合が高くなっている。

性別では、「28本以上」「20～27本」を合わせた割合は、70歳以上を除き、男性より女性で割合が高い。

図 5. 18-2 自分の歯の本数（年齢別・全体）

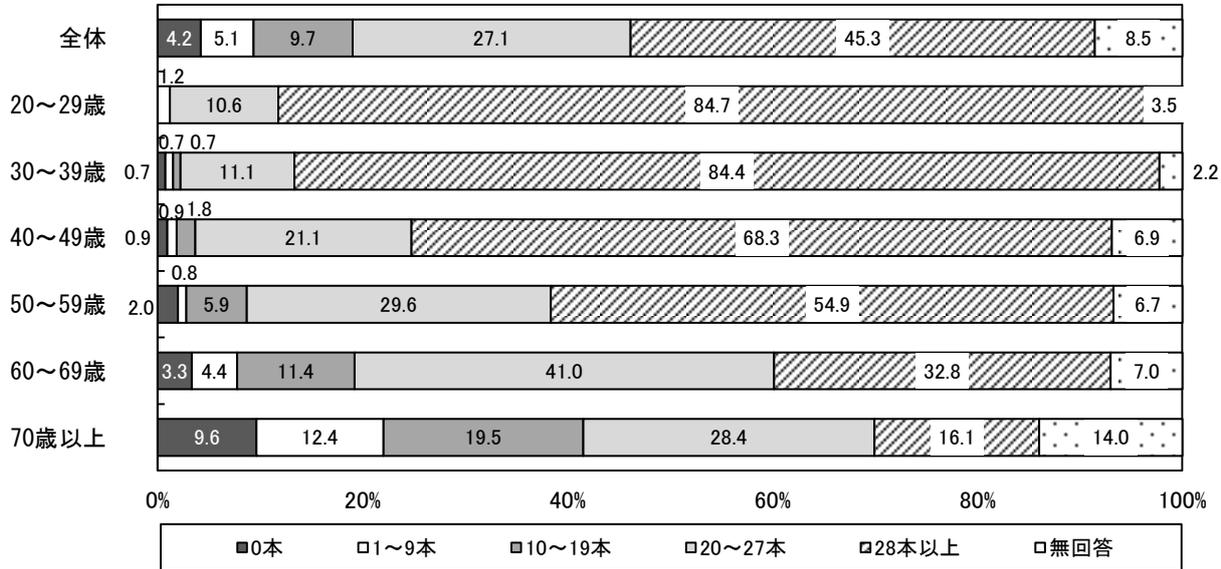
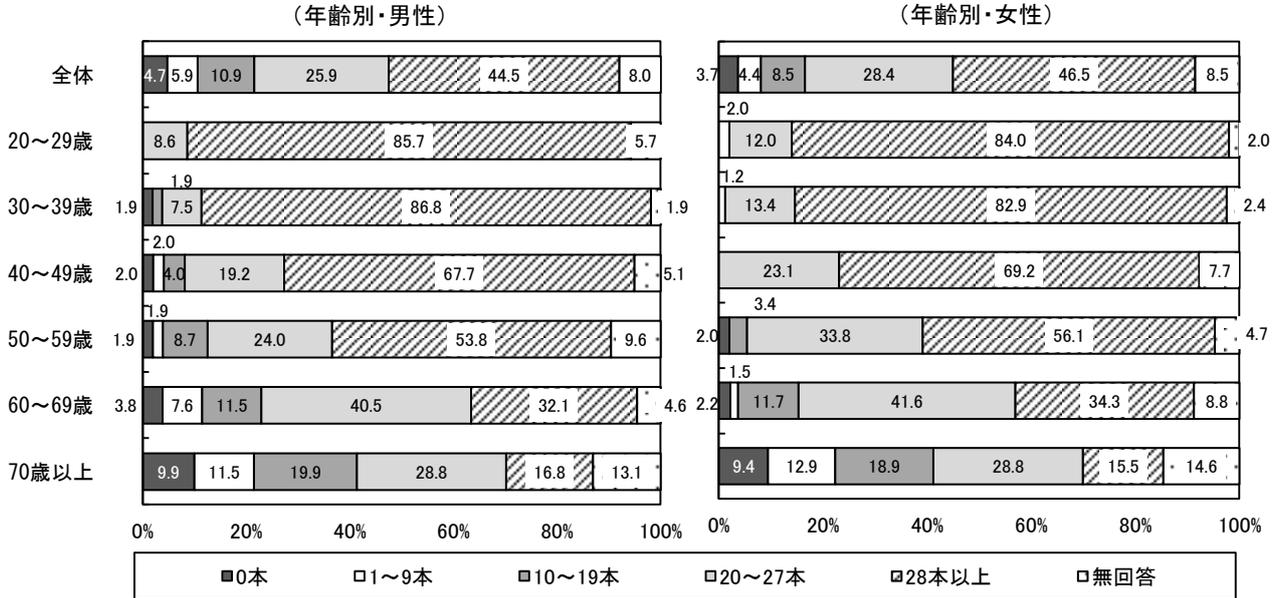


図 5. 18-3 自分の歯の本数



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

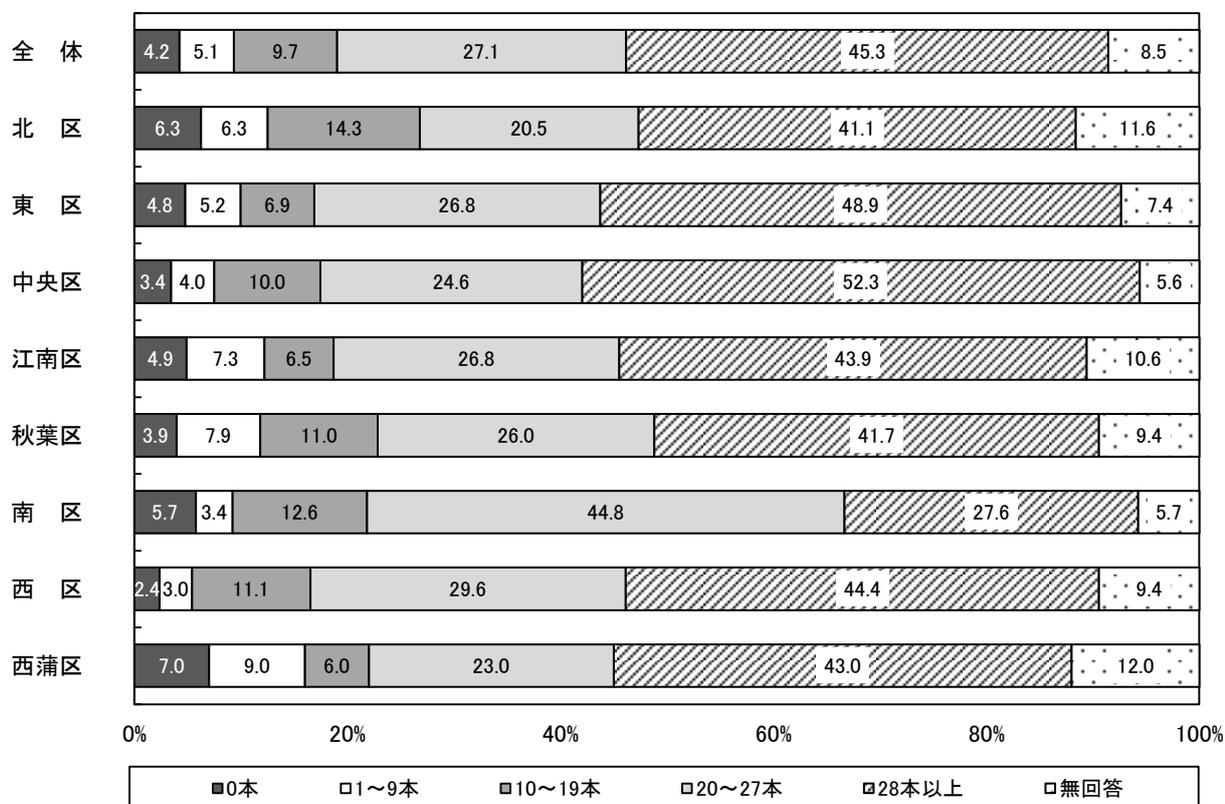
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「28本以上」と回答した人の割合は中央区（52.3%）で最も高い。「28本以上」「20～27本」を合わせた割合は、中央区（76.9%）で最も高く、北区（61.6%）で最も低い。

図 5.18-4 自分の歯の本数（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

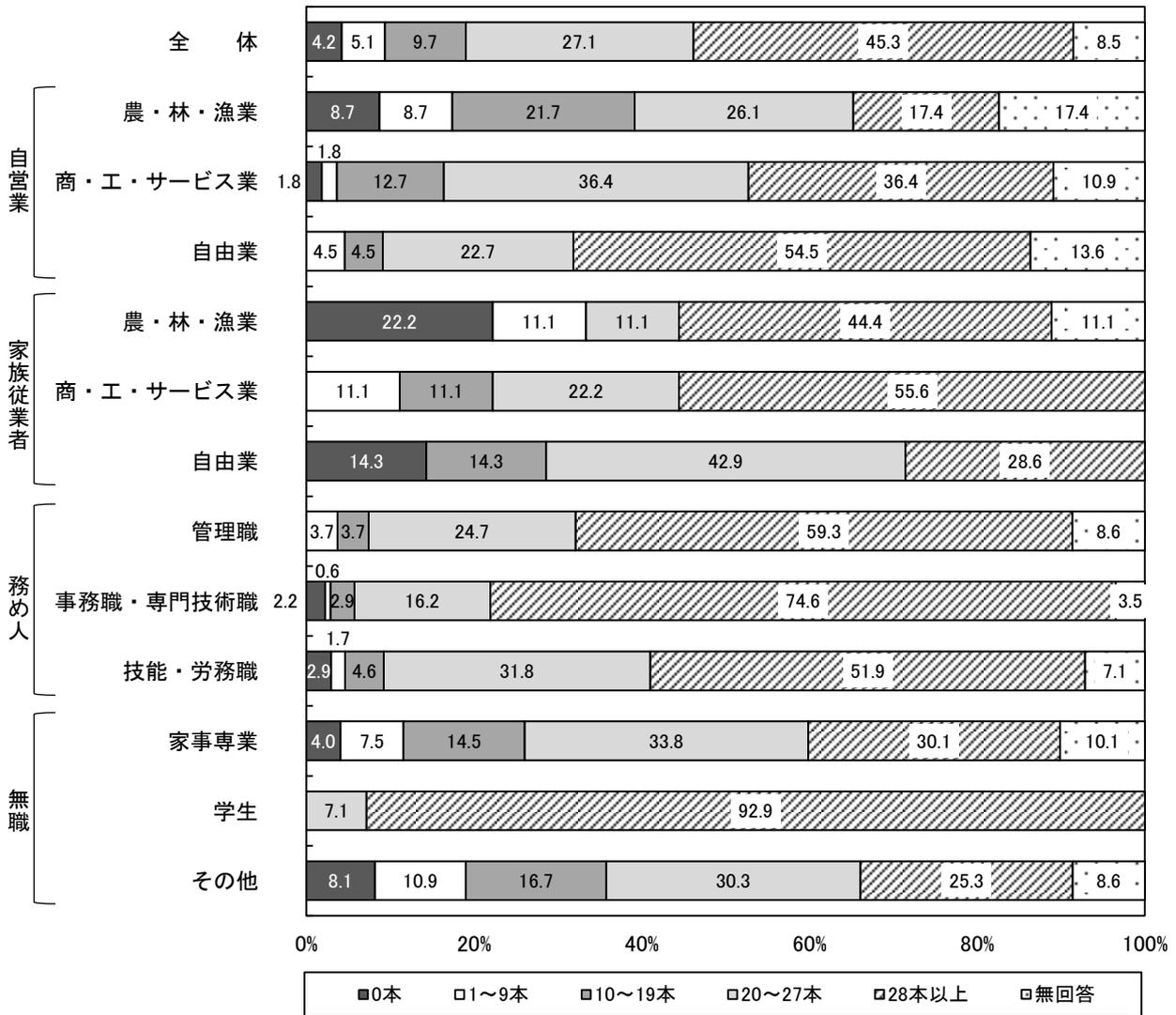
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.18-5 自分の歯の本数（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

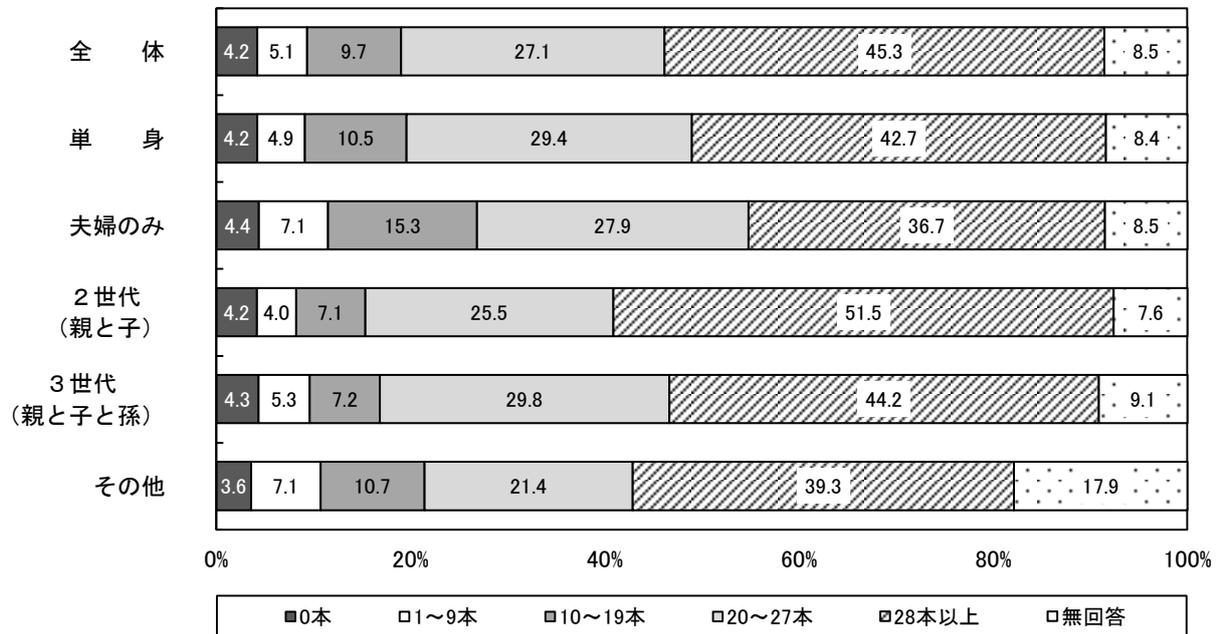
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「28本以上」と回答した人の割合は、2世代（51.5%）で最も高く5割を超えている。「28本以上」「20～27本」を合わせた割合は、2世代（77.1%）で最も高く、その他（60.7%）で最も低い。

図 5.18-6 自分の歯の本数（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(19) 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度

問41 あなたは、「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や、その意味を知っていましたか。（〇は1つだけ）

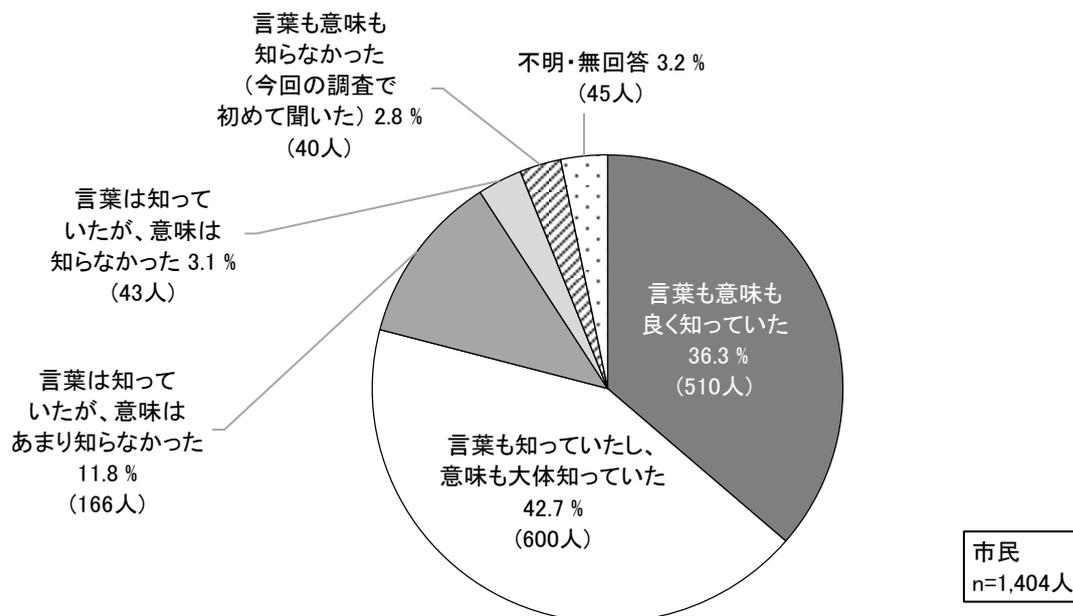
「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」とは

内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態のことです。

8割弱が言葉や意味を認知していると回答

「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」（36.3%）、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」（42.7%）と回答した人を合わせた割合は8割弱（79.1%）となっている。

図 5.19 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、20歳代（87.1%）で最も高く9割弱となっている。一方、70歳以上では、他の年代に比べ「言葉も意味も知らなかった（今回の調査で初めて聞いた）」（6.7%）の割合がやや高くなっている。

図 5.19-2 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（年齢別・全体）

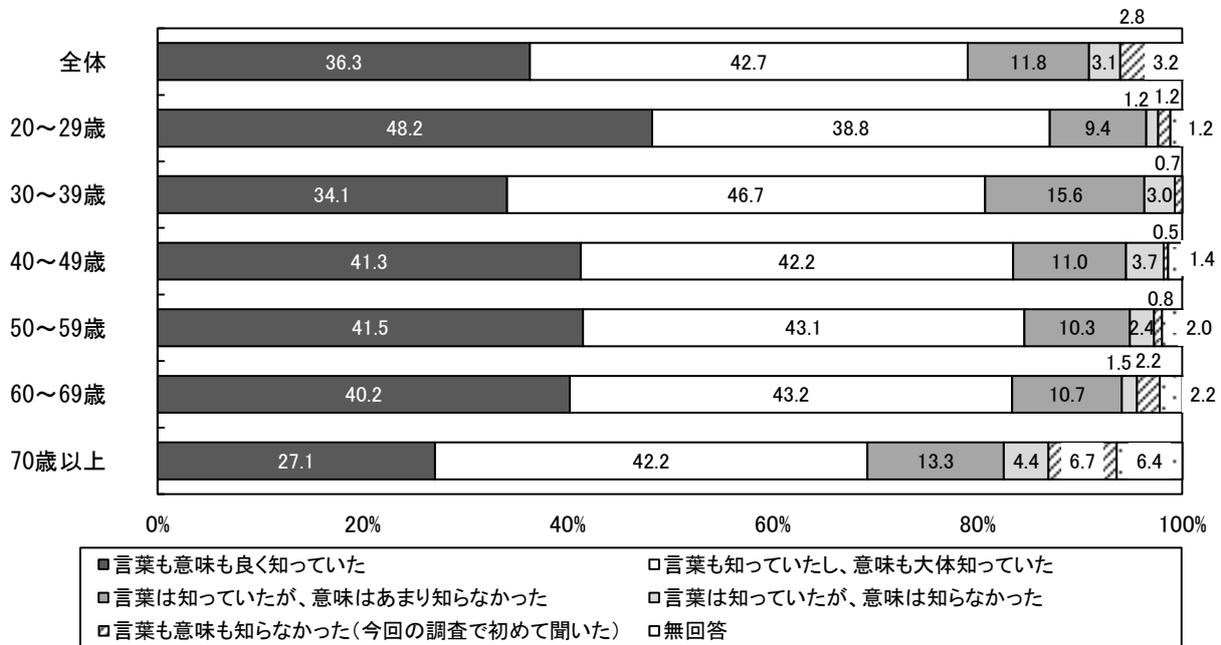
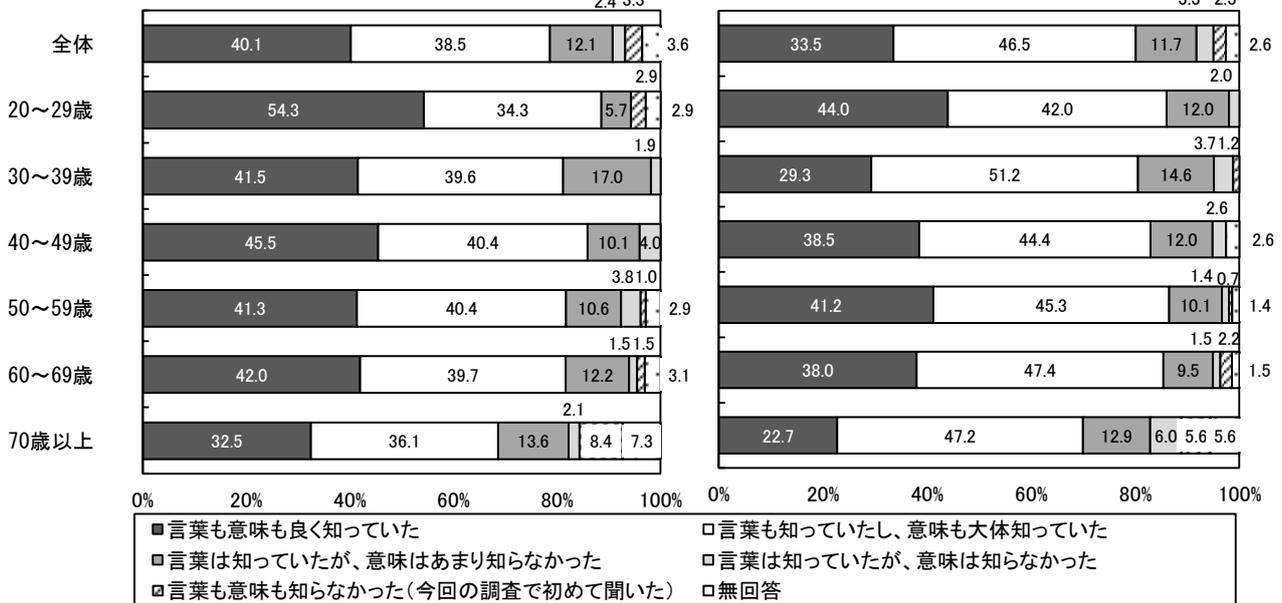


図 5.19-3 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（年齢別・男性）



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

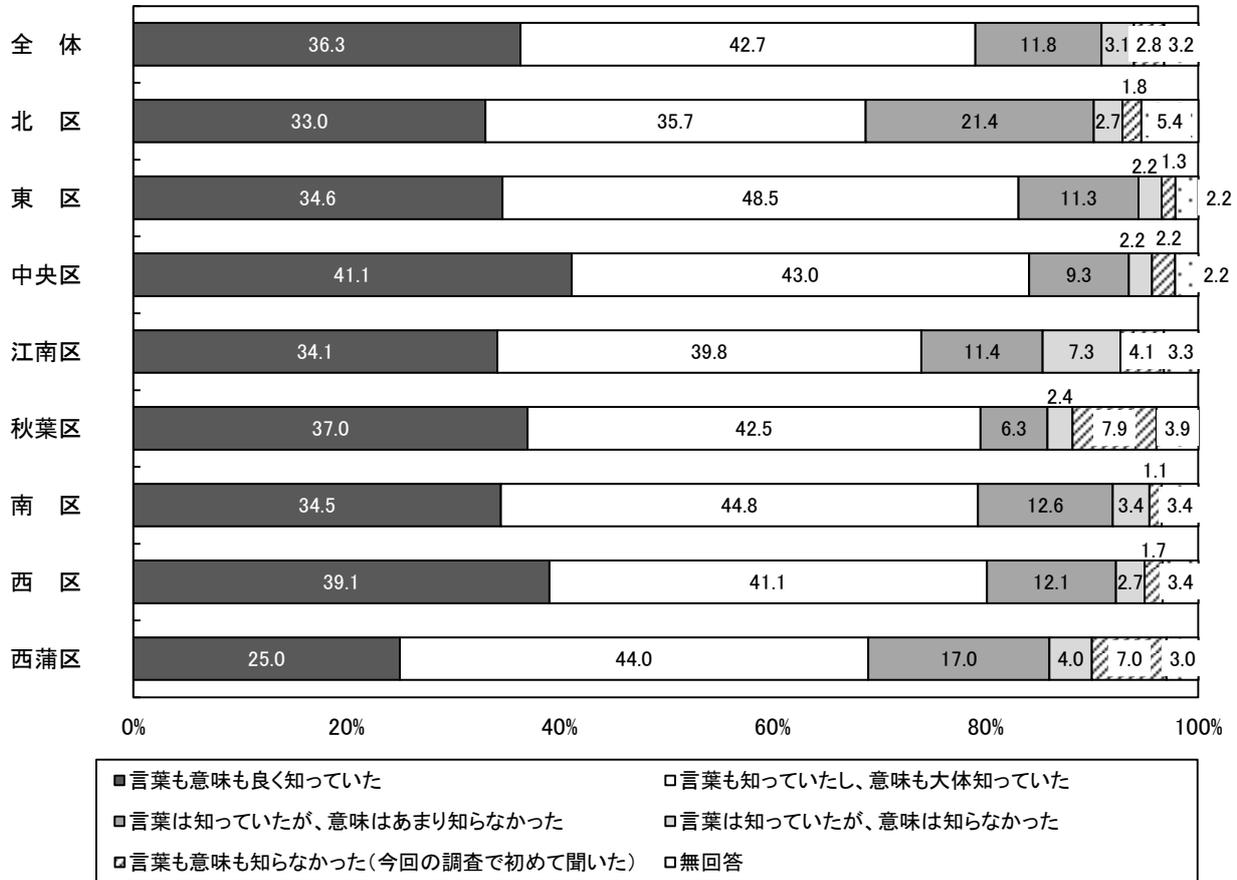
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、東区（83.1%）、中央区（84.1%）、西区（80.1%）で8割を超えている。

図 5.19-4 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

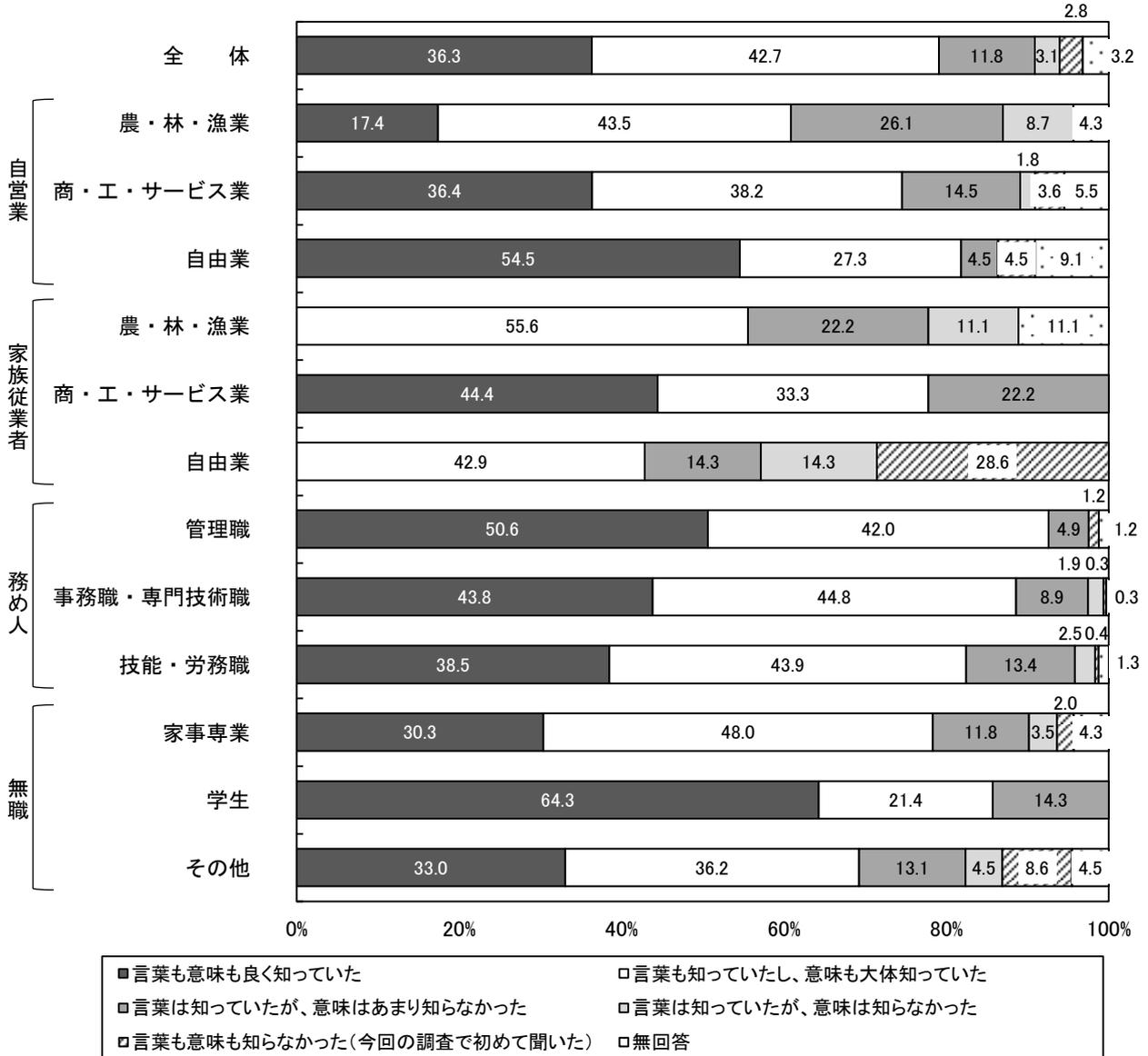
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.19-5 「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」という言葉や意味の認知度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(20) メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況

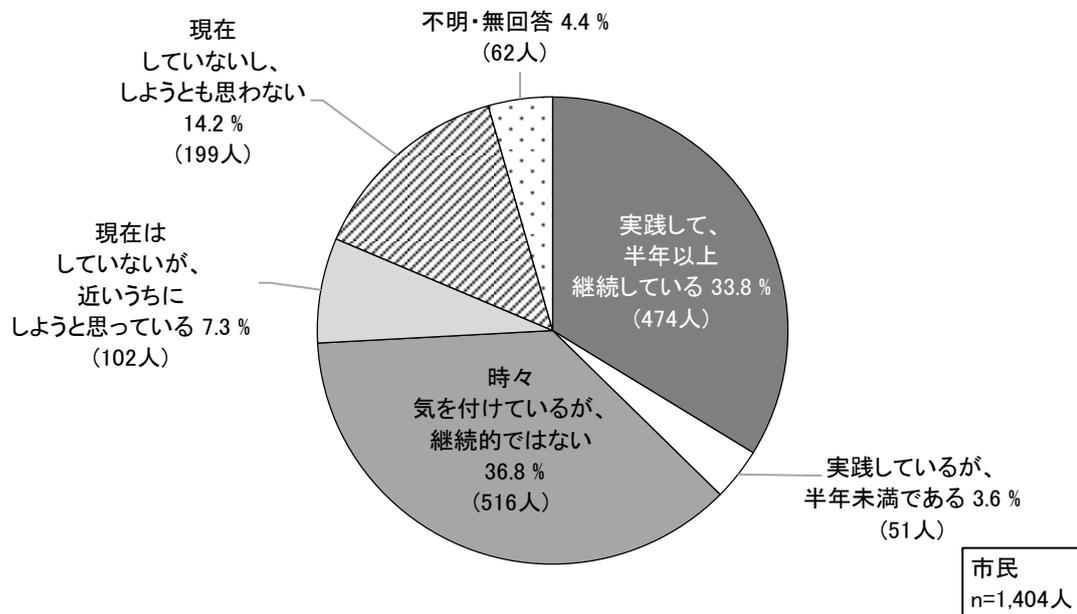
問42 あなたは、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防や改善のために、①適切な食事、②定期的な運動、③週に複数回の体重計測、のいずれかを実践していますか。（〇は1つだけ）

4割弱が予防・改善を実践していると回答

期間に程度の差はあるが、予防・改善を「実践して、半年以上継続している」（33.8%）、「実践しているが、半年未満である」（3.6%）と回答した人を合わせた割合は4割弱（37.4%）となっている。

一方、「現在はしていないが、近いうちにしようと思っている」（7.3%）、「現在していないし、しようとも思わない」（14.2%）と回答した人を合わせた、現在予防・改善を実践していない人は2割強（21.4%）となっている。

図 5.20 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況



【性別・年齢別】

「実践して、半年以上継続している」の割合は60歳代（41.7%）で最も高くなっている。一方、「現在していないし、しようとも思わない」の割合は、20歳代（22.4%）で高くなっている。

図 5.20-2 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（年齢別・全体）

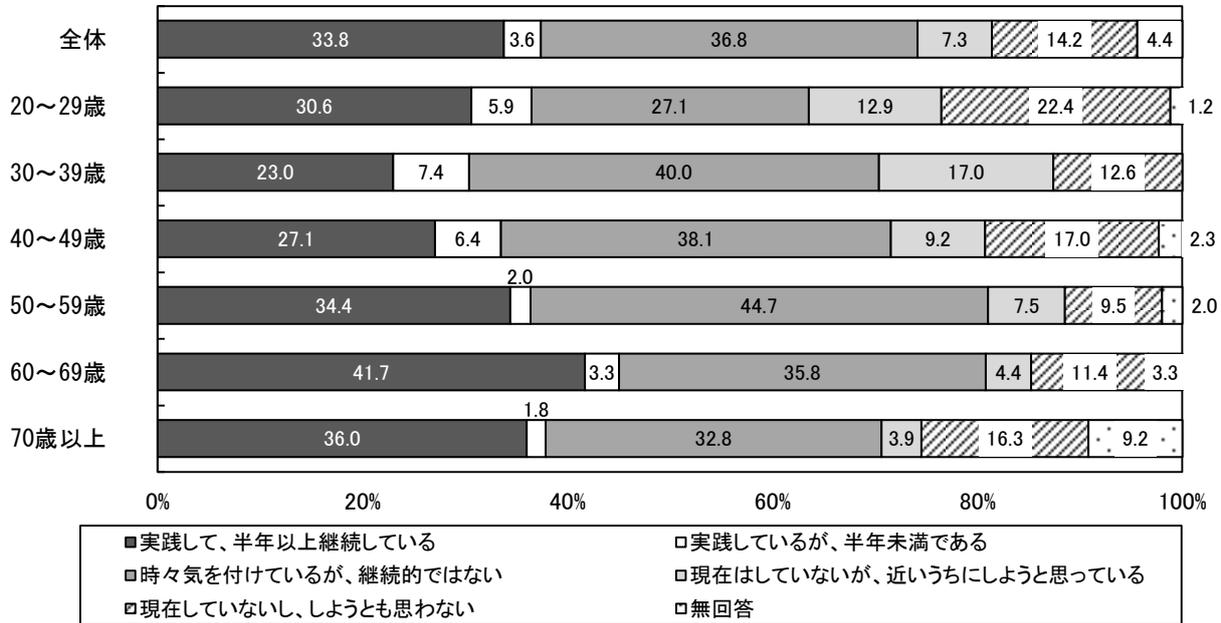
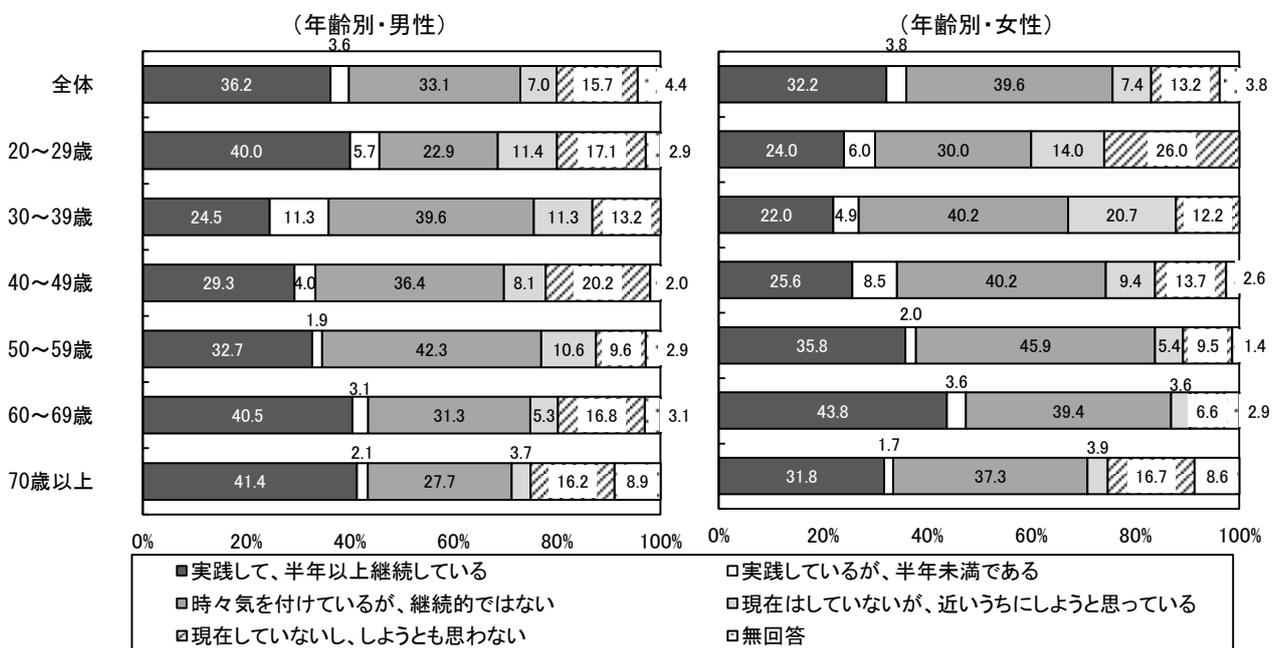


図 5.20-3 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

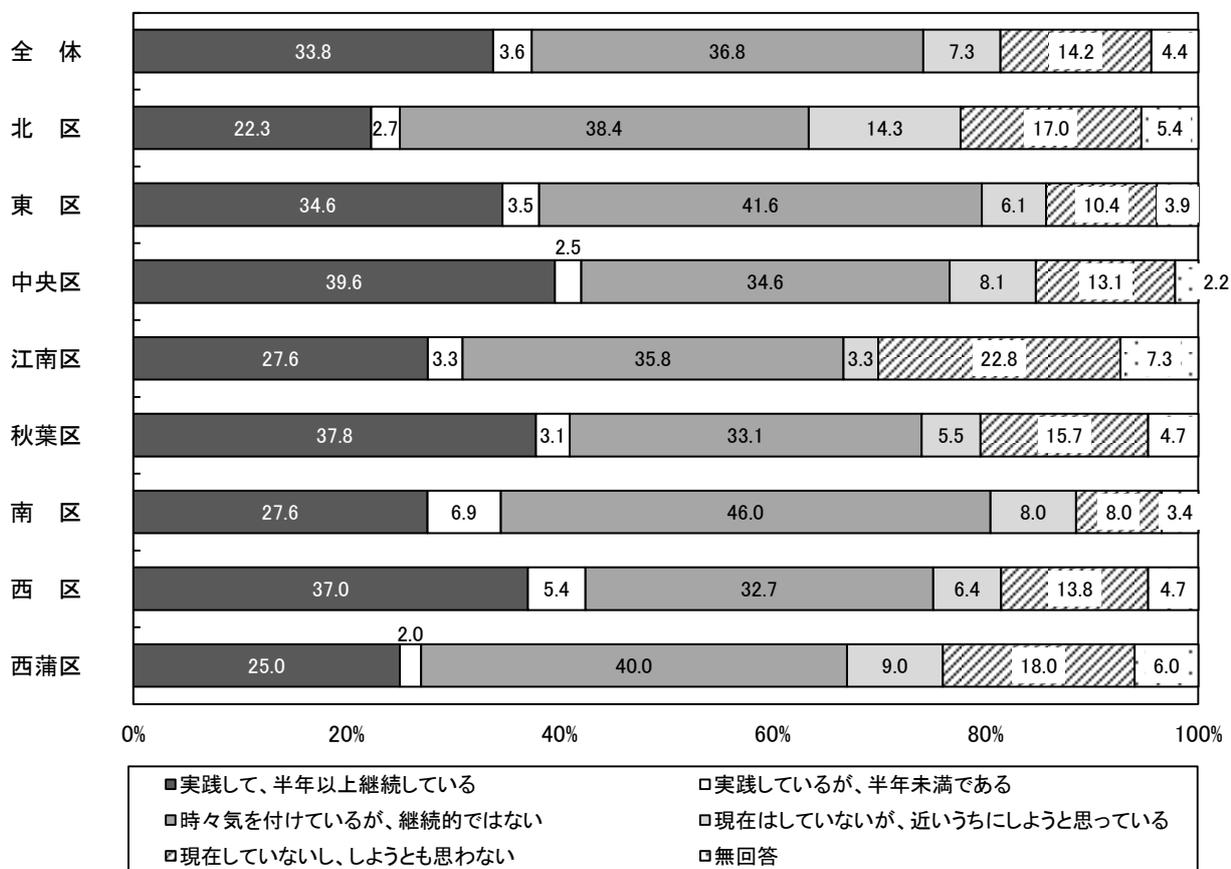
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「実践して、半年以上継続している」の割合は、中央区（39.6%）で約4割と最も高くなっている。

図 5.20-4 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（地区別）



全 体	北 区	東 区	中央区	江南区	秋葉区	南 区	西 区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

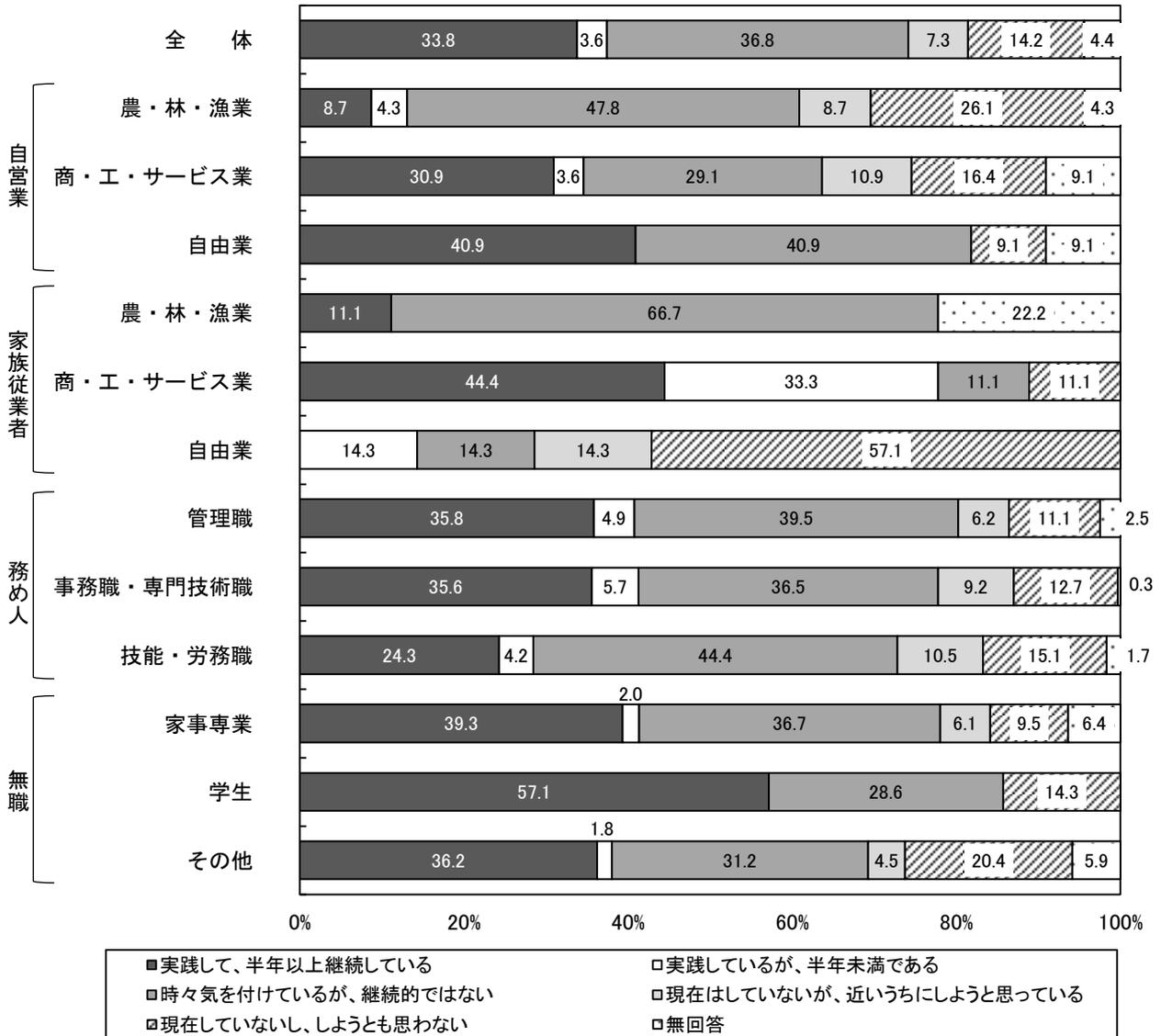
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.20-5 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

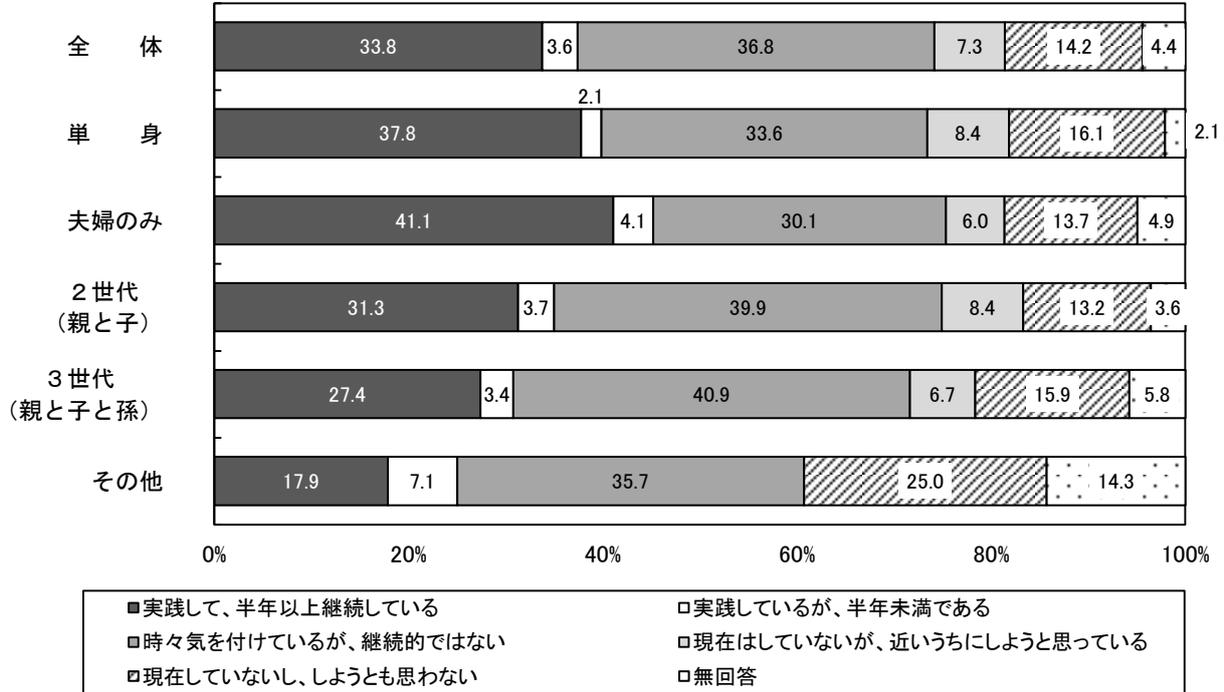
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「実践して、半年以上継続している」の割合は、夫婦のみ（41.1%）で最も高くなっている。一方、「現在していないし、しようとも思わない」の割合は、その他（25.0%）で高く、2割を超えている。

図 5.20-6 メタボリックシンドロームの予防・改善の取り組み状況（家族構成別）



全 体	単 身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

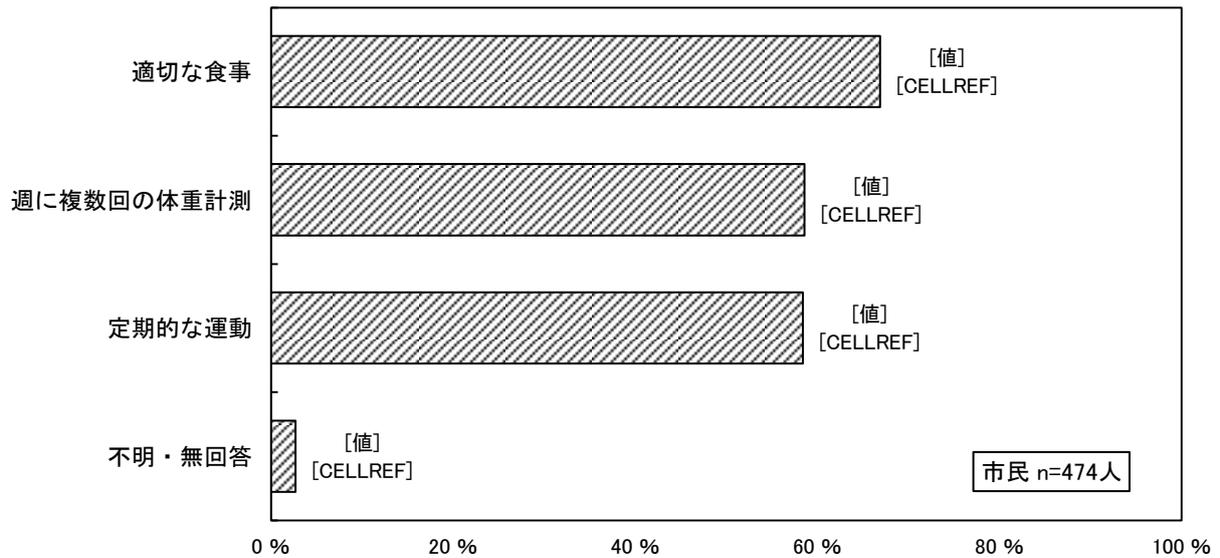
(21) メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること

問42-1 問42で1に○を付けた方にお尋ねします。実践しているものは何ですか。(○はいくつでも)

7割弱が「適切な食事」を実践

メタボリックシンドロームの予防・改善を半年以上実践している人に、具体的な実践内容を聞いたところ、「適切な食事」と回答した人の割合が7割弱(66.9%)で最も高くなっている。「週に複数回の体重計測」(58.6%)、「定期的な運動」(58.4%)と回答した人は6割弱となっている。

図 5.21 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること



【性別・年齢別】

すべての年代で「適切な食事」が最も高く、20歳代は「週に複数回の体重計測」も同率で最も高くなっている。

性別では、「定期的な運動」は男性の方が、「週に複数回の体重計測」は女性の方が、割合が高くなっている。

表 8.1 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・全体）

	対象者	適切な食事	週に複数回の 体重計測	定期的な運動	無回答
計	474	66.9	58.6	58.4	2.7
20～29歳	26	61.5	61.5	53.8	7.7
30～39歳	31	71.0	58.1	54.8	3.2
40～49歳	59	67.8	47.5	59.3	0.0
50～59歳	87	67.8	66.7	52.9	1.1
60～69歳	113	62.8	56.6	61.1	3.5
70歳以上	157	69.4	59.9	60.5	3.2
年齢不明	1	0.0	0.0	100.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 8.2 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・男性）

	対象者	適切な食事	週に複数回の 体重計測	定期的な運動	無回答
計	222	65.8	51.8	64.0	4.1
20～29歳	14	71.4	50.0	78.6	14.3
30～39歳	13	69.2	46.2	53.8	0.0
40～49歳	29	51.7	34.5	79.3	0.0
50～59歳	34	73.5	61.8	61.8	0.0
60～69歳	53	62.3	50.9	58.5	5.7
70歳以上	79	68.4	55.7	62.0	5.1
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 8.3 メタボリックシンドロームの予防・改善のために実践していること（年齢別・女性）

	対象者	適切な食事	週に複数回の 体重計測	定期的な運動	無回答
計	247	68.0	65.2	53.4	1.6
20～29歳	12	50.0	75.0	25.0	0.0
30～39歳	18	72.2	66.7	55.6	5.6
40～49歳	30	83.3	60.0	40.0	0.0
50～59歳	53	64.2	69.8	47.2	1.9
60～69歳	60	63.3	61.7	63.3	1.7
70歳以上	74	70.3	64.9	59.5	1.4
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

(22) 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度

問43 あなたは、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉やその意味を知っていましたか。（○は1つだけ）

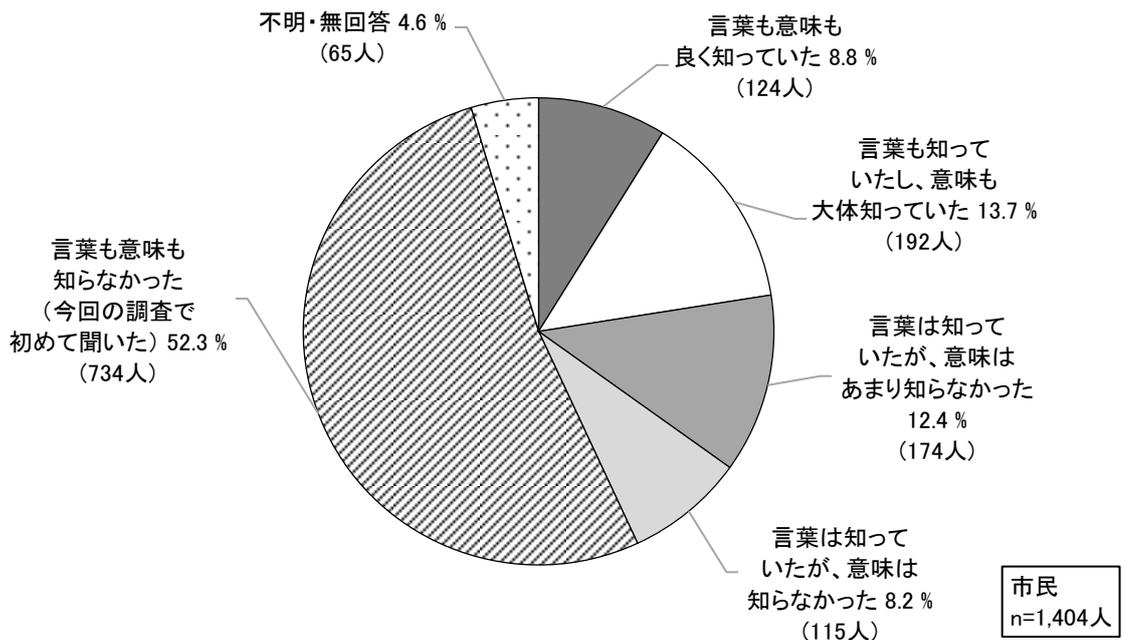
「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」とは
 筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、あるいは複数に障がいが起こり、歩行や日常生活に何らかの機能低下をきたして、要介護になっていた、要介護になる危険の高い状態を「ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ、和名：運動器症候群）」といいます。

5割強が「言葉も意味も知らなかった」と回答

「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知の程度については、「言葉も意味も良く知っていた」（8.8%）、「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」（13.7%）と回答した人を合わせた割合は2割強（22.5%）となっている。

一方、「言葉も意味も知らなかった（今回の調査で初めて聞いた）」と回答した人の割合が、5割強（52.3%）と高くなっている。

図 5.22 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度



【性別・年齢別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、20歳代(29.4%)が最も高くなっている。

性別では、各年代とも「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」と答えた割合は、女性の方が高くなっている。

図 5.22-2 「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」という言葉や意味の認知度

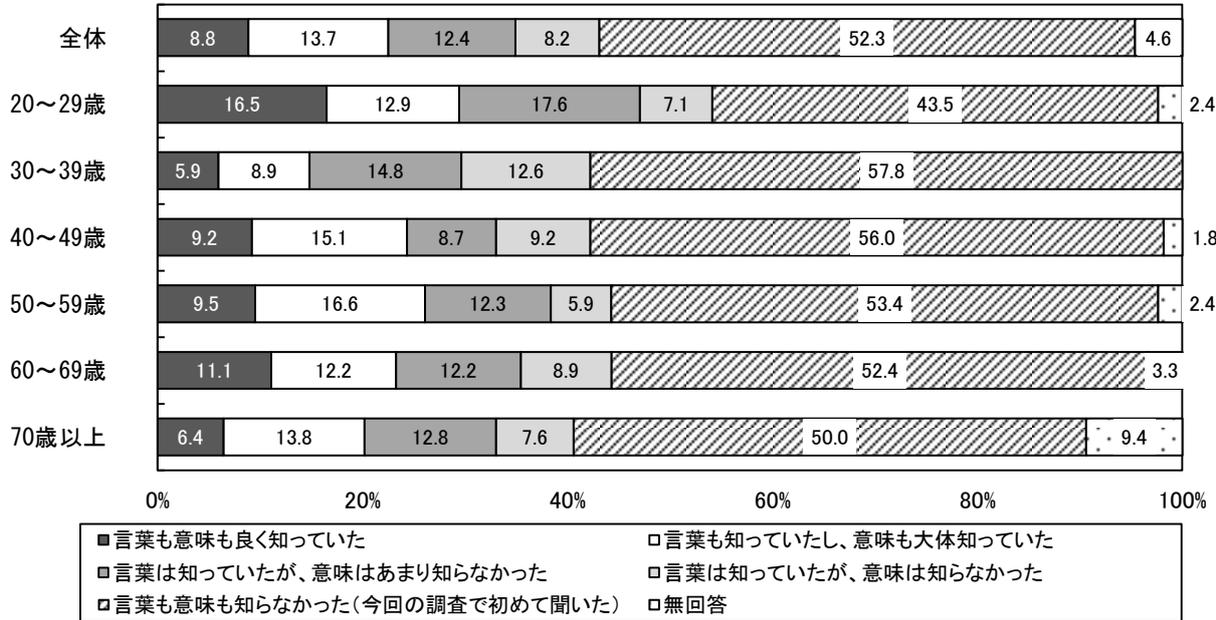
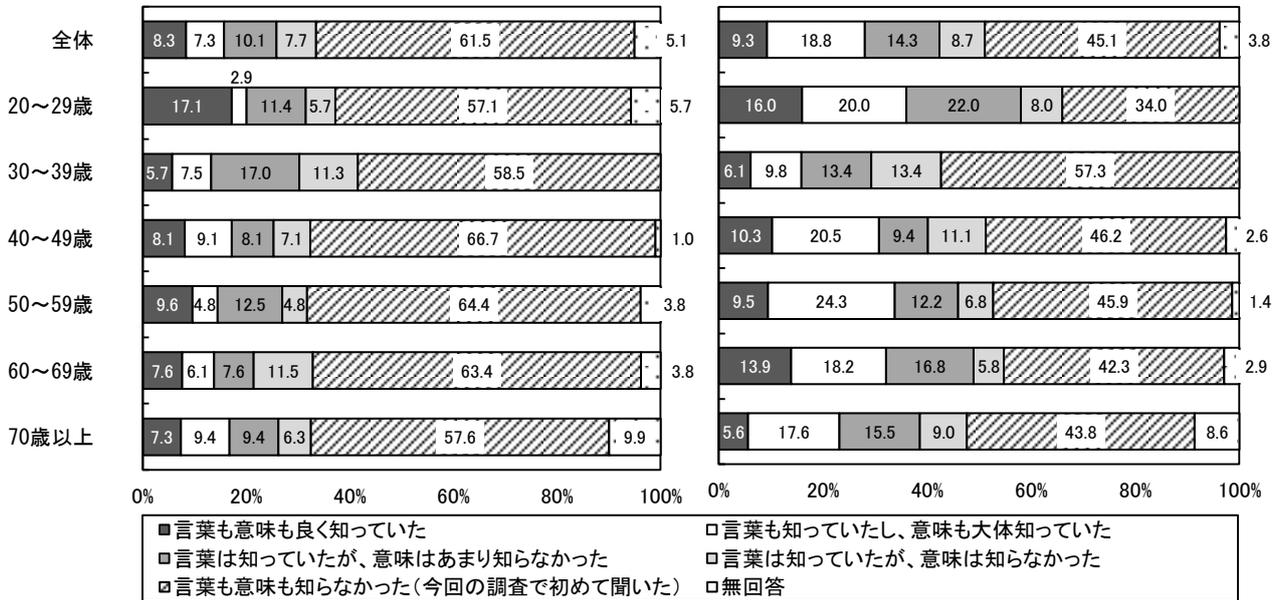


図 5.22-3 「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」という言葉や意味の認知度
(年齢別・男性) (年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	6
男性	613	35	53	99	104	131	191	0
女性	767	50	82	117	148	137	233	0

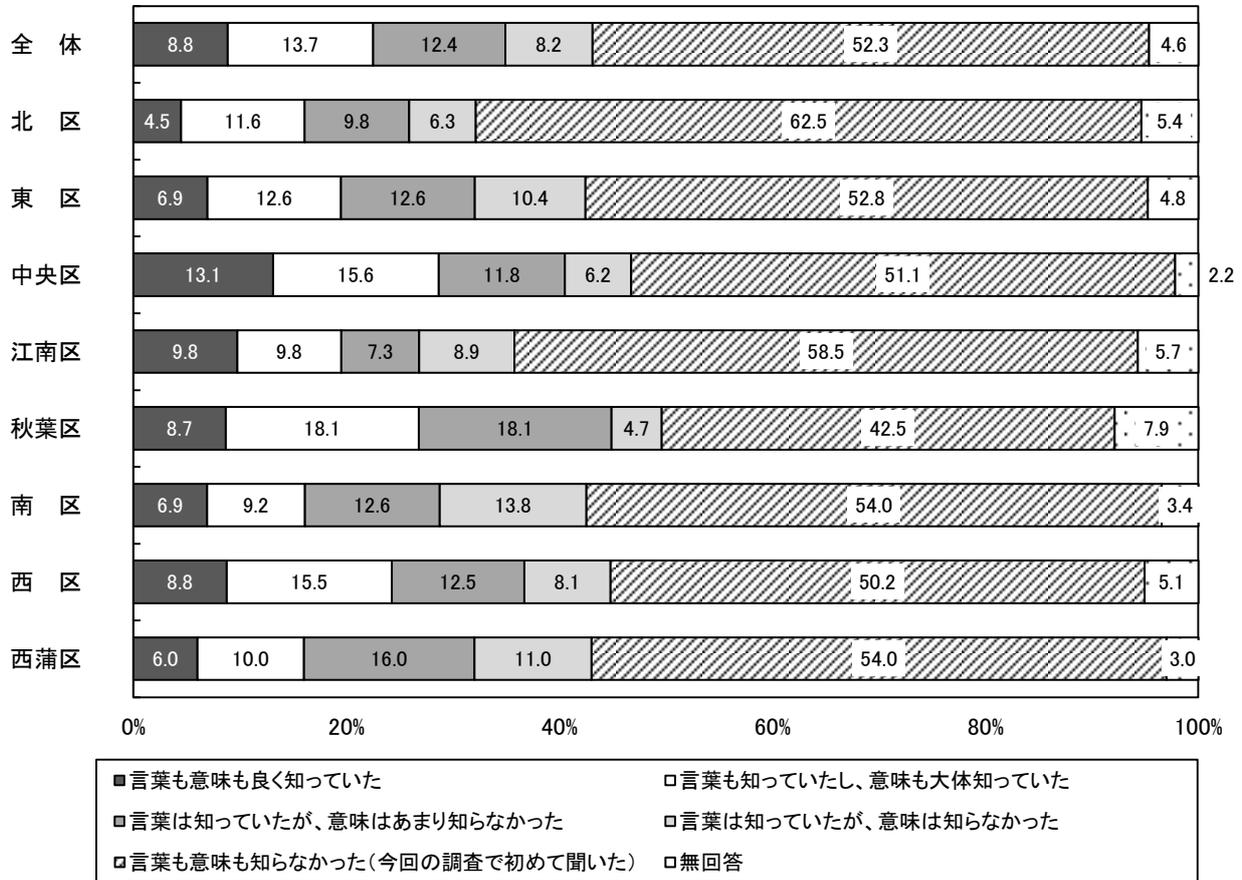
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、中央区（28.7%）が最も高くなっている。

図 5.22-4 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

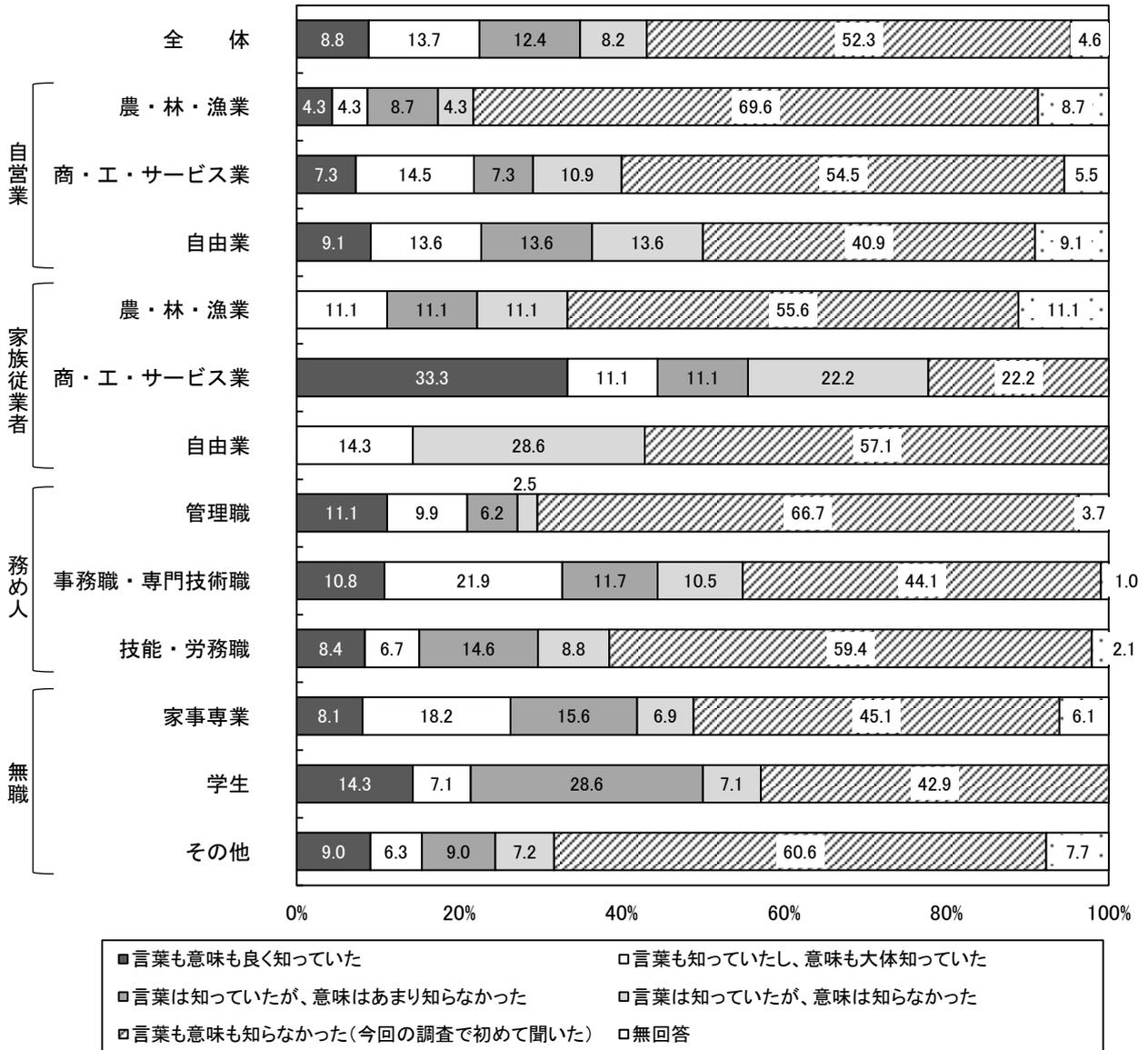
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.22-5 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度（職業別）



全体	自営業			家族従業者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

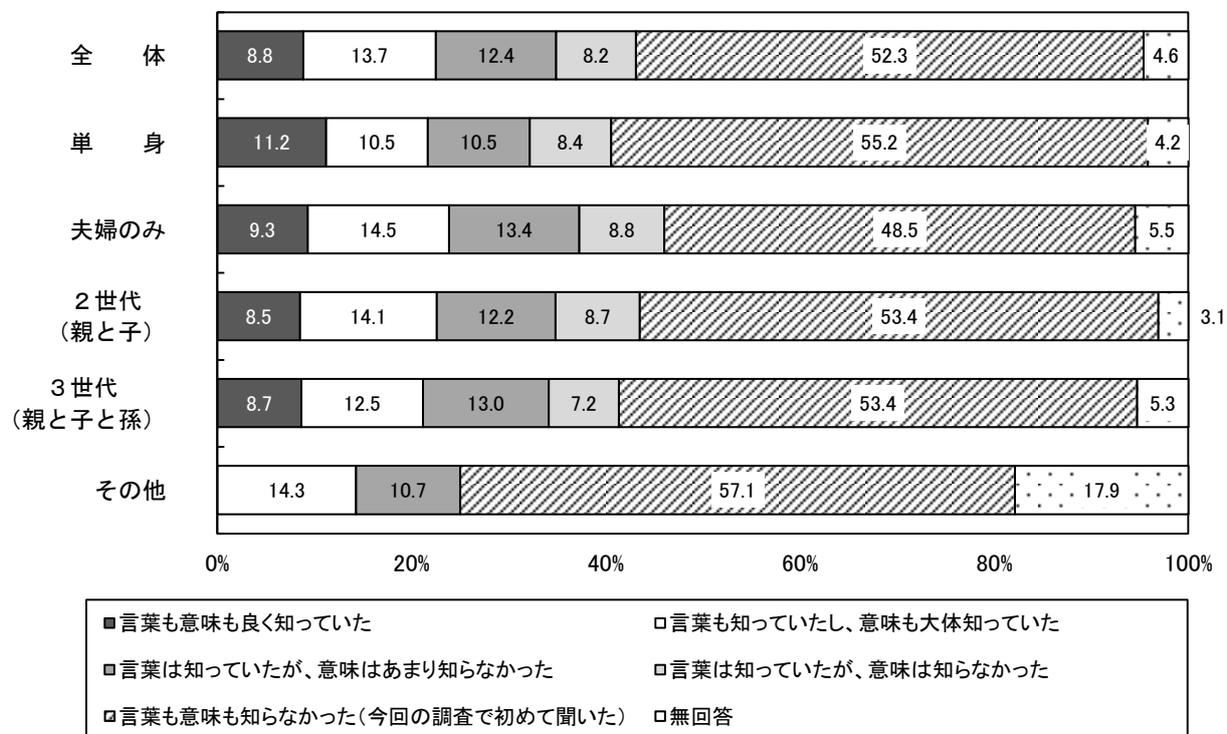
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「言葉も意味も良く知っていた」「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」を合わせた割合は、夫婦のみ（23.8%）で最も高くなっている。

図 5.22-6 「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」という言葉や意味の認知度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代(親と子)	3世代(親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(23) 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況

問44 あなたは過去1年間に市や職場などで行われる健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けましたか。（受けたもの全てに○）
 ※含まれない健（検）診…がんのみの検診、妊産婦健診、病院・診療所で行う診療としての検査

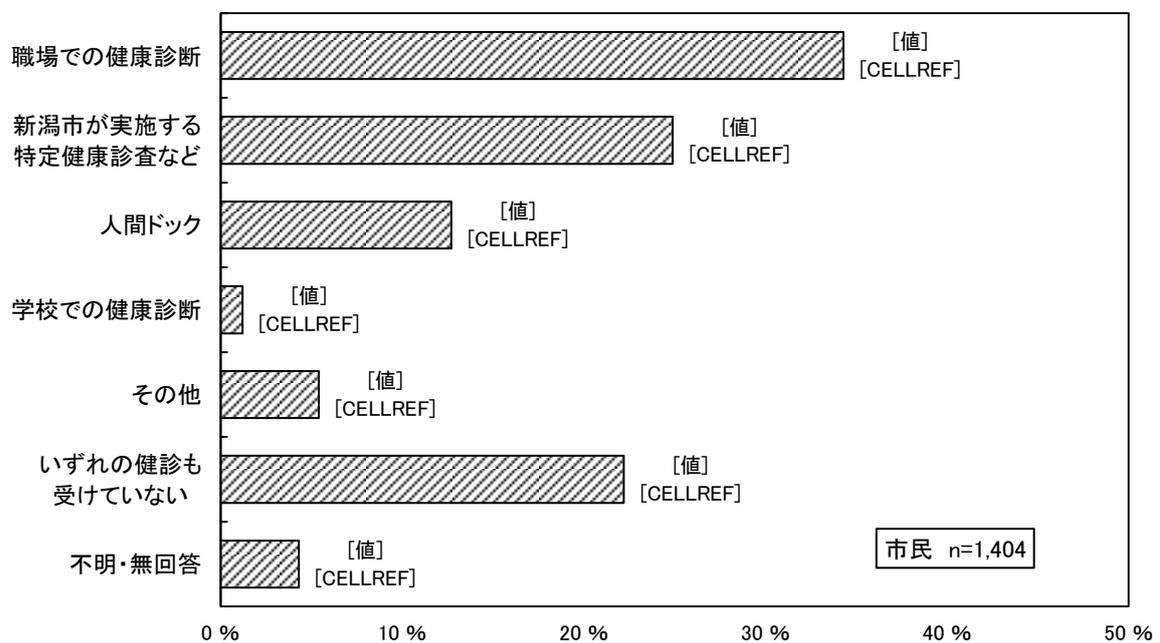
3割強が「職場での健康診断」を受診

【全体結果】

健（検）診の機会は、「職場での健康診断」と回答した人が3割強（34.3%）となっている。以下「新潟市が実施する特定健康診査など」（24.9%）、「人間ドック」（12.7%）が続いている。

一方、「いずれの健（検）診も受けていない」と回答した人は2割強（22.2%）となっている。

図 5.23 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況



【性別・年齢別】

50歳代以下では「職場での健康診断」と回答した人が最も多く、60歳以上では「新潟市が実施する特定健康診査など」と回答した人が多くなっている。

性別では、30歳以上では「職場での健康診断」「人間ドック」の割合は男性の方が高く、「新潟市が実施する特定健康診査など」の割合は女性の方が高くなっている。

表 9.1 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況（年齢別・全体）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	1,404	34.3	24.9	12.7	1.2	5.4	22.2	4.3
20～29歳	85	61.2	5.9	1.2	16.5	0.0	16.5	1.2
30～39歳	135	71.1	5.2	5.9	0.0	0.0	20.7	0.0
40～49歳	218	56.0	9.6	17.4	0.0	2.8	17.4	1.4
50～59歳	253	50.6	12.3	24.1	0.4	2.0	15.0	2.0
60～69歳	271	25.8	31.7	14.8	0.4	6.6	26.2	2.2
70歳以上	436	3.0	45.2	6.9	0.2	10.8	28.0	9.9
年齢不明	6	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0

対象者：人/回答：%

表 9.2 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況（年齢別・男性）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	613	38.2	22.5	15.7	1.8	6.0	17.9	4.1
20～29歳	35	51.4	8.6	0.0	25.7	0.0	17.1	2.9
30～39歳	53	86.8	3.8	7.5	0.0	0.0	3.8	0.0
40～49歳	99	63.6	8.1	22.2	0.0	1.0	9.1	0.0
50～59歳	104	55.8	6.7	27.9	1.0	0.0	12.5	2.9
60～69歳	131	31.3	27.5	16.8	0.0	8.4	23.7	2.3
70歳以上	191	4.2	42.9	9.9	0.5	13.1	25.7	9.4
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 9.3 最近1年間の健（検）診や人間ドックの受診状況（年齢別・女性）

	対象者	職場での健康診断	新潟市が実施する特定健康診査など	人間ドック	学校での健康診断	その他	いずれの健診も受けていない	無回答
計	613	31.8	26.2	10.6	0.8	4.8	25.7	4.0
20～29歳	50	68.0	4.0	2.0	10.0	0.0	16.0	0.0
30～39歳	82	61.0	6.1	4.9	0.0	0.0	31.7	0.0
40～49歳	117	50.4	10.3	13.7	0.0	3.4	24.8	2.6
50～59歳	148	46.6	16.2	21.6	0.0	3.4	16.9	1.4
60～69歳	137	19.7	35.8	12.4	0.7	5.1	28.5	2.2
70歳以上	233	2.1	46.8	4.7	0.0	9.0	30.0	9.9
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

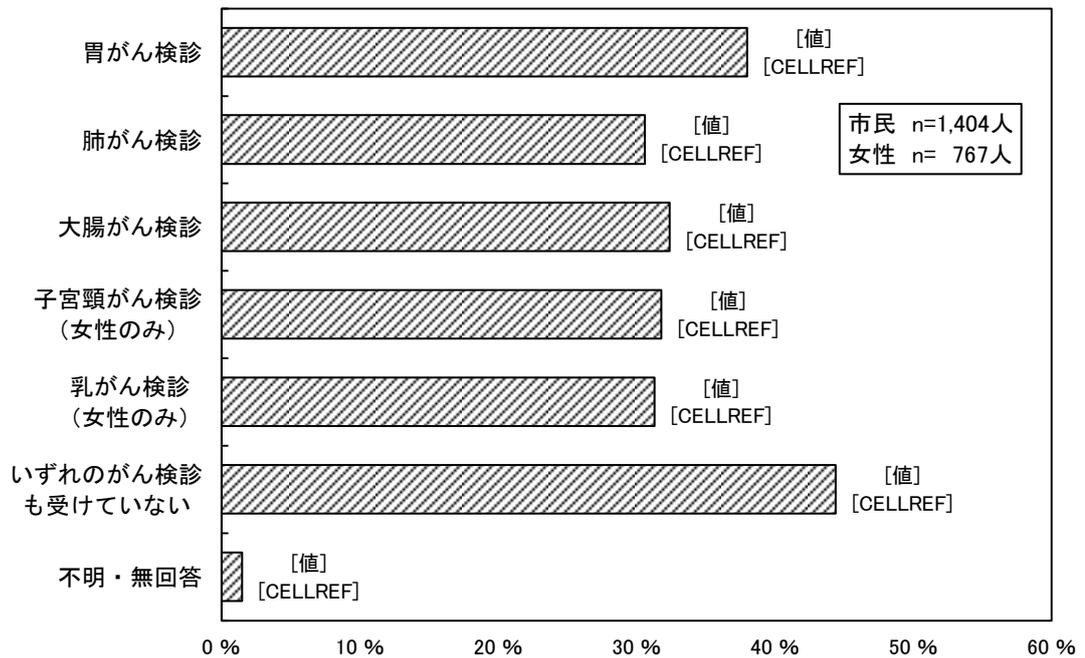
(24) 最近1年間のがん検診の受診状況

問45 あなたは過去1年間（子宮頸がんまたは乳がん検診は過去2年間）にがん検診を受けましたか。
（受けたもの全てに○）

4割強が「いずれのがん検診も受けていない」と回答

「いずれのがん検診も受けていない」と回答した人が4割強（44.4%）となっている。
一方、受診したがん検診については、「胃がん検診」の回答が最も多く、4割弱（38.0%）となっている。また、女性のみが対象の「子宮頸がん検診」（31.8%）、「乳がん検診」（31.3%）は3割強となっている。

図 5.24 最近1年間のがん検診の受診状況



【性別・年齢別】

「胃がん検診」「肺がん検診」「大腸がん検診」の割合は、60歳代で最も高くなっている。

女性が対象の「子宮頸がん検診」の割合は、30歳代から40歳代で高く、5割前後となっている。「乳がん検診」の割合は、40歳代から50歳代で5割前後となっている。

表 10.1 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・全体）

	対象者	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	いずれのがん検診も受けていない	無回答
計	1,404	38.0	30.6	32.4	31.8	31.3	44.4	1.5
20～29歳	85	0.0	1.2	0.0	42.0	2.0	74.1	0.0
30～39歳	135	7.4	4.4	7.4	48.8	23.2	60.0	0.0
40～49歳	218	29.8	22.9	23.4	52.1	50.4	44.5	0.0
50～59歳	253	46.2	39.5	38.7	41.9	49.3	37.9	0.8
60～69歳	271	50.9	41.7	44.3	26.3	35.0	37.6	0.7
70歳以上	436	45.9	36.0	39.9	10.3	17.2	41.7	3.9
年齢不明	6	66.7	50.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0

対象者：人/回答：%

表 10.2 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・男性）

	対象者	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	いずれのがん検診も受けていない	無回答
計	613	40.8	32.3	35.9	-	-	52.0	2.0
20～29歳	35	0.0	2.9	0.0	-	-	97.1	0.0
30～39歳	53	7.5	1.9	3.8	-	-	90.6	0.0
40～49歳	99	31.3	24.2	27.3	-	-	65.7	0.0
50～59歳	104	45.2	36.5	39.4	-	-	48.1	1.0
60～69歳	131	52.7	42.0	45.8	-	-	41.2	1.5
70歳以上	191	51.8	41.4	47.1	-	-	35.6	4.7
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 10.3 最近1年間のがん検診の受診状況（年齢別・女性）

	対象者	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	いずれのがん検診も受けていない	無回答
計	767	34.9	28.8	29.5	31.8	31.3	38.7	1.2
20～29歳	50	0.0	0.0	0.0	42.0	2.0	58.0	0.0
30～39歳	82	7.3	6.1	9.8	48.8	23.2	40.2	0.0
40～49歳	117	27.4	20.5	19.7	52.1	50.4	27.4	0.0
50～59歳	148	46.6	41.2	38.5	41.9	49.3	31.1	0.7
60～69歳	137	48.9	41.6	42.3	26.3	35.0	34.3	0.0
70歳以上	233	40.3	31.8	34.3	10.3	17.2	47.2	3.4
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

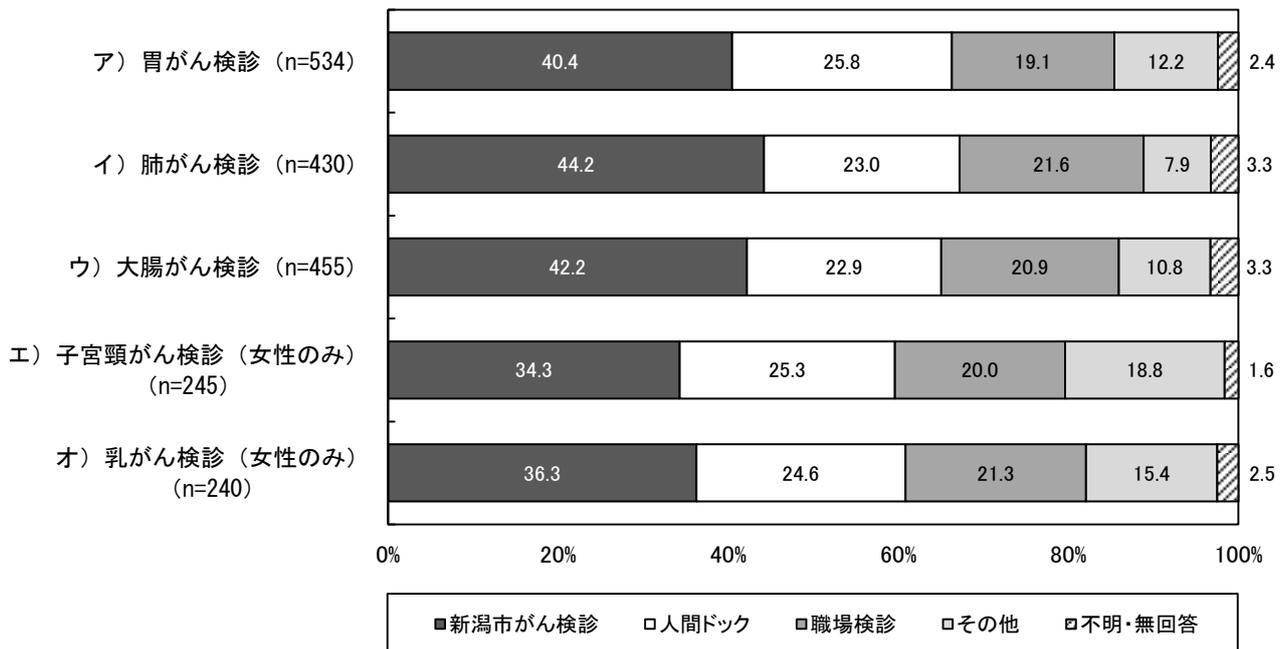
(25) がん検診の検診場所

問46 がん検診を受けた方にお尋ねします。それぞれどこで検診を受けましたか。
 (がん検診ごとに○は1つだけ) ア～ウは全員、エ、オは女性のみお答えください。

検診場所は「新潟市がん検診」が最も多い

いずれのがん検診も「新潟市がん検診」と回答した人が最も多くなっており、なかでも「肺がん検診」(44.2%)の割合が最も高く、以下、「大腸がん検診」(42.2%)が4割強、「胃がん検診」(40.4%)が約4割となっている。

図 5.25 がん検診の検診場所



	全体	新潟市がん検診	人間ドック	職場検診	その他	無回答
ア) 胃がん検診	534	216	138	102	65	13
イ) 肺がん検診	430	190	99	93	34	14
ウ) 大腸がん検診	455	192	104	95	49	15
エ) 子宮頸がん検診(女性のみ)	245	84	62	49	46	4
オ) 乳がん検診(女性のみ)	240	87	59	51	37	6

(人)

ア) 胃がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上（61.5%）で高く6割を超えている。「人間ドック」の割合は、50歳代（43.6%）で最も高く4割強となっている。

図 5.25-2 がん検診の検診場所（年齢別・全体）

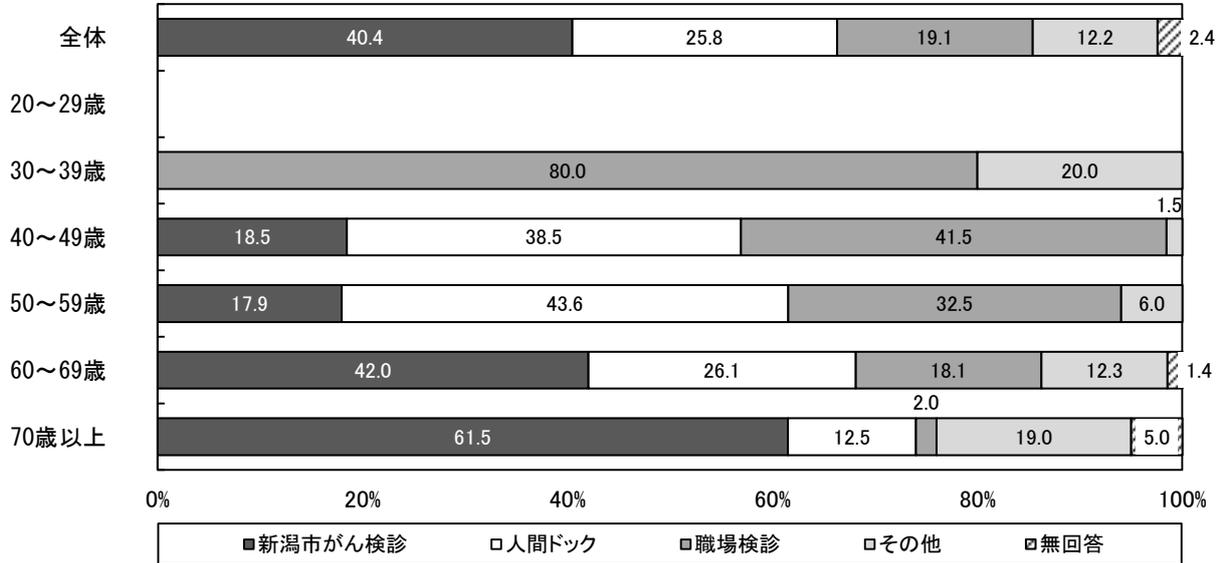
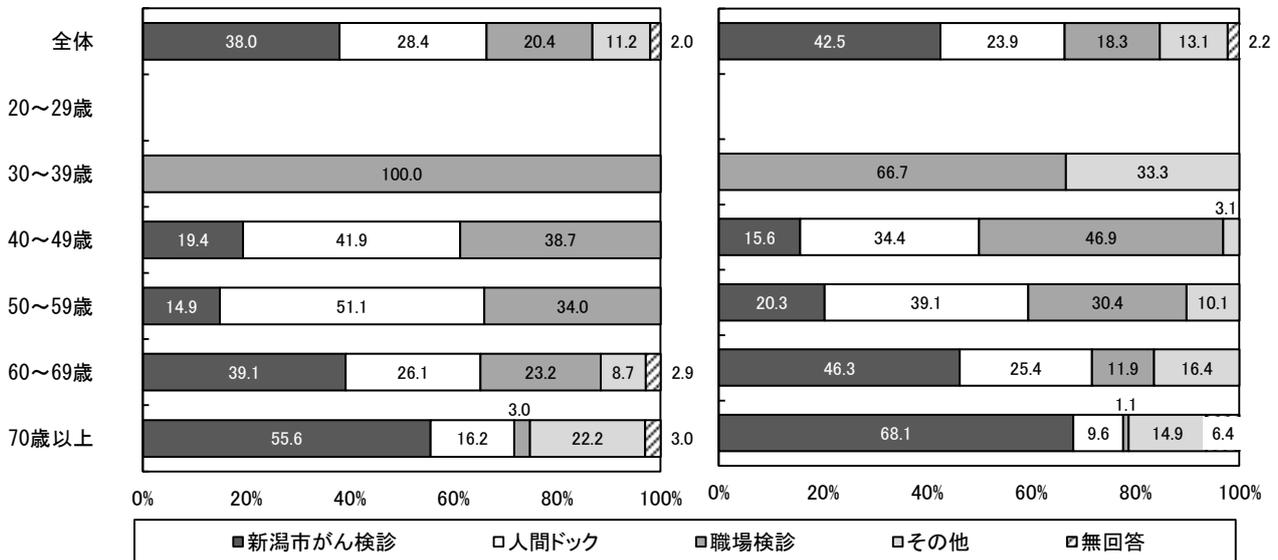


図 5.25-3 がん検診の検診場所

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	534	0	10	65	117	138	200	4
男性	250	0	4	31	47	69	99	0
女性	268	0	6	32	69	67	94	0

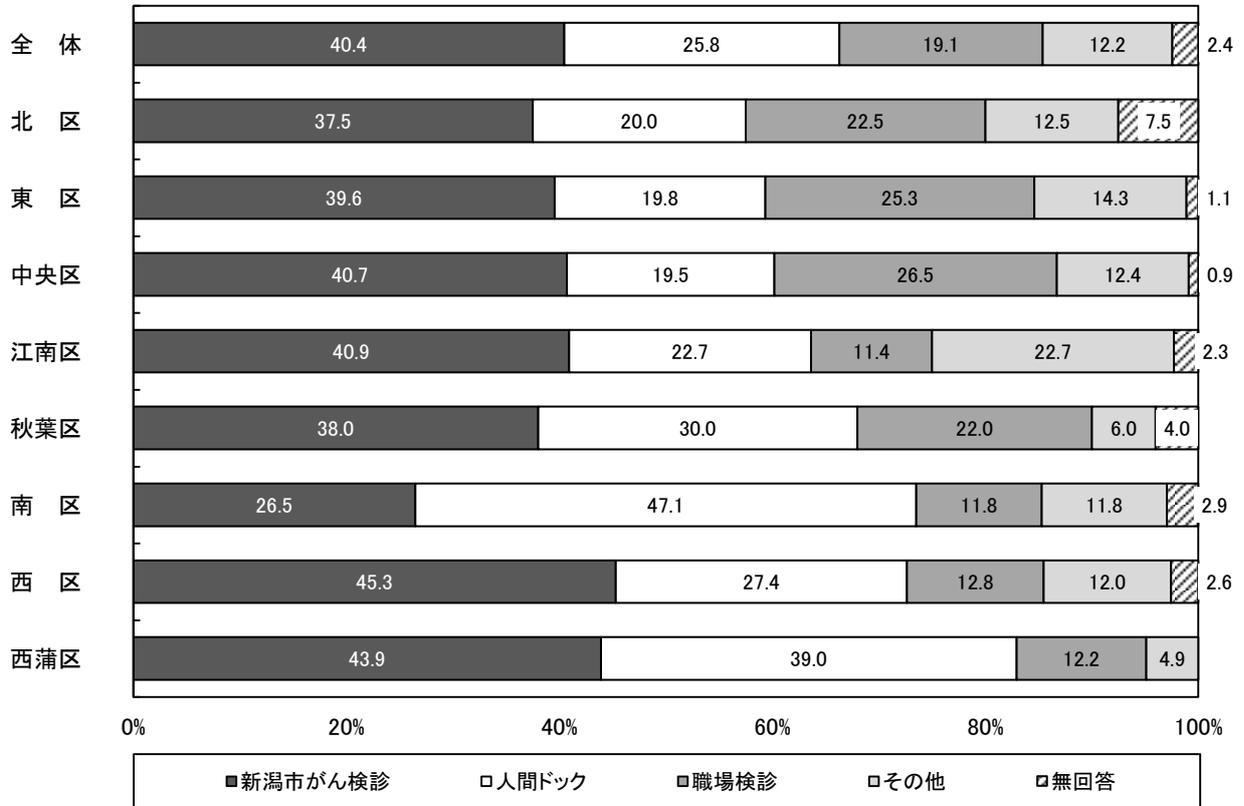
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

南区を除いた地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高い。南区は「人間ドック」(47.1%)の割合が最も高く、5割弱を占めている。

図 5.25-4 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
534	40	91	113	44	50	34	117	41	4

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

イ) 肺がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上（62.4%）で最も高く、6割を超えている。性別でみると、「新潟市がん検診」は、男性より女性で割合が高い。

図 5. 25-5 がん検診の検診場所（年齢別・全体）

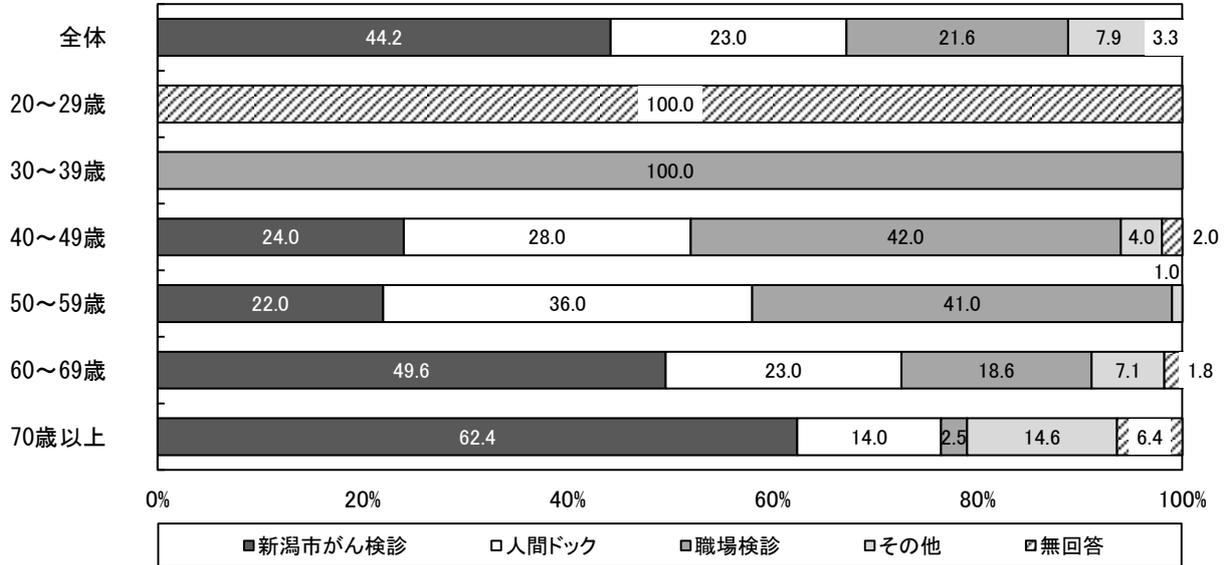
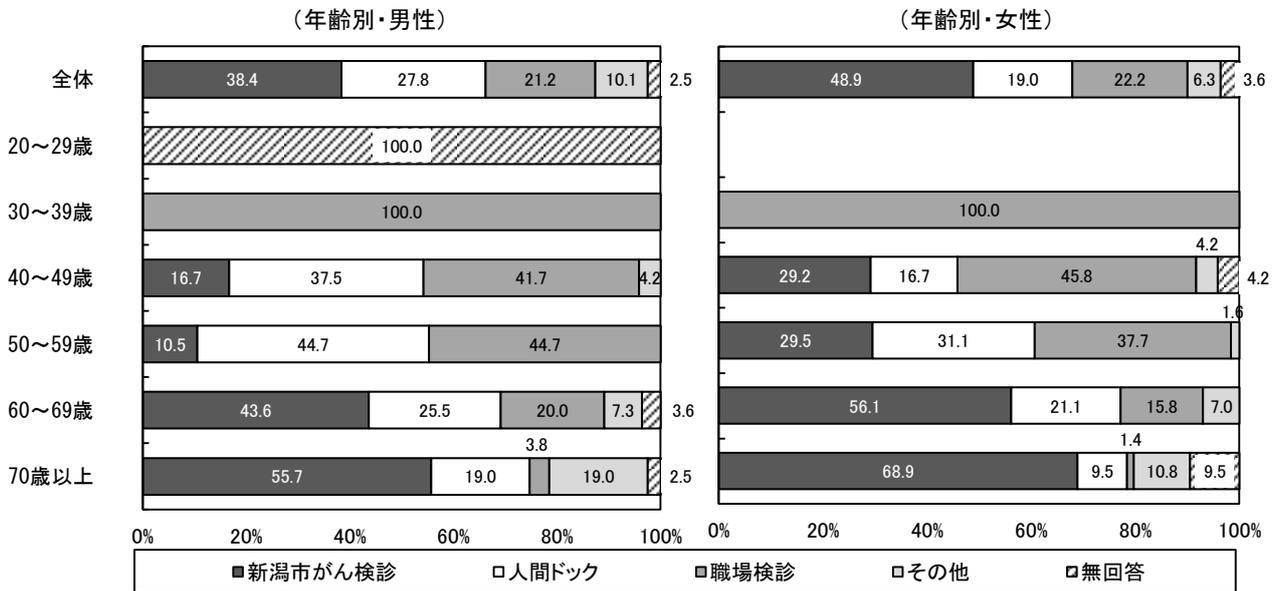


図 5. 25-6 がん検診の検診場所



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	430	1	6	50	100	113	157	3
男性	198	1	1	24	38	55	79	0
女性	221	0	5	24	61	57	74	0

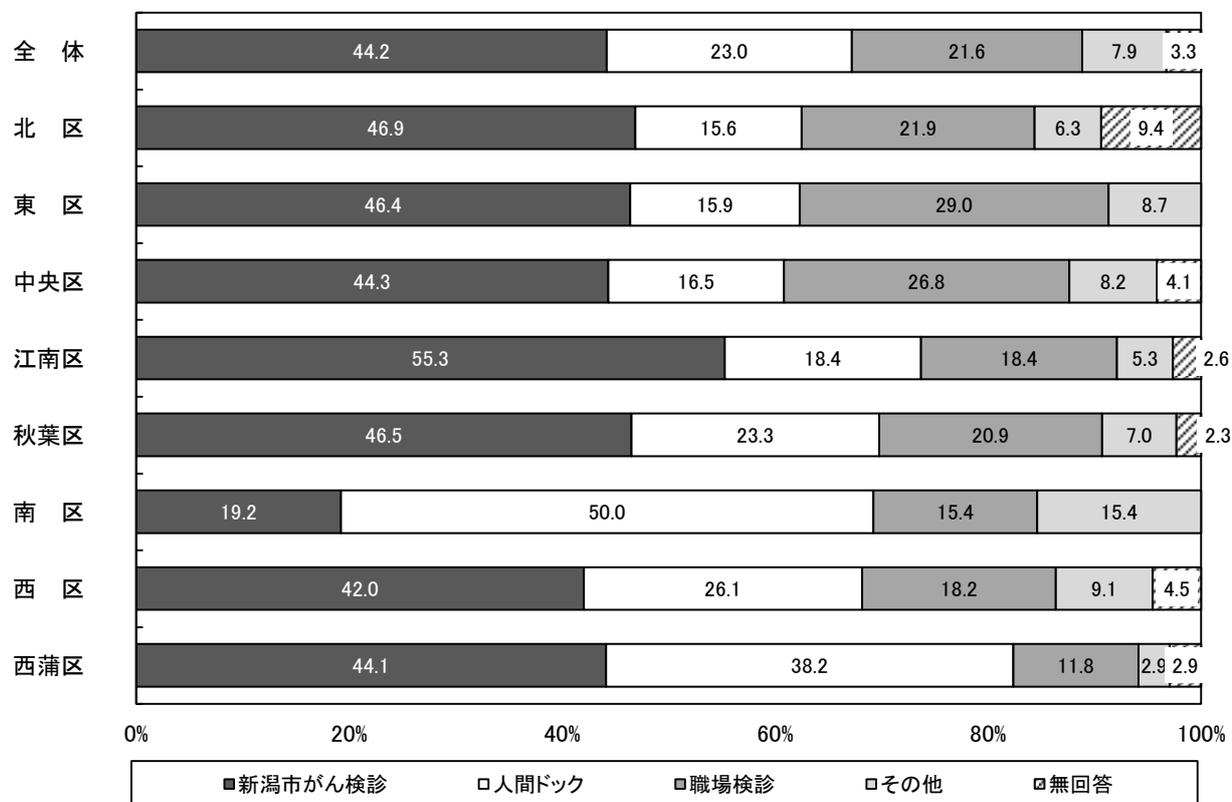
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

南区を除く地区で「新潟市がん検診」と回答した割合が最も高く、江南区では6割弱となっている。南区では「人間ドック」と回答した割合が最も高い。

図 5.25-7 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
430	32	69	97	38	43	26	88	34	3

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

ウ) 大腸がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、70歳以上（62.6%）で最も高く6割を超えている。

図 5.25-8 がん検診の検診場所（年齢別・全体）

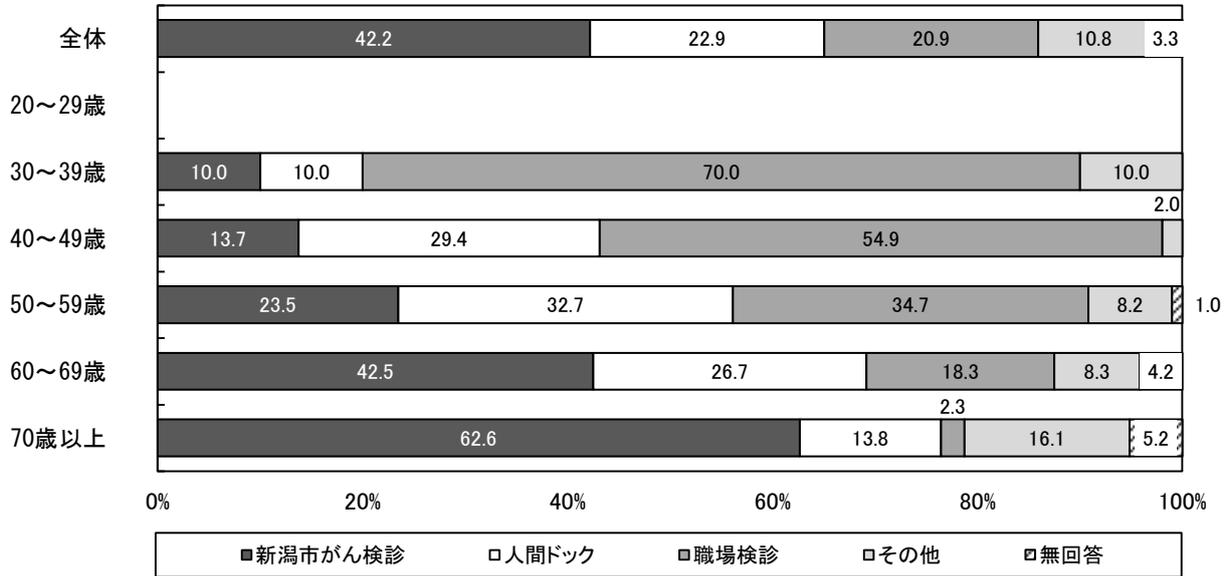
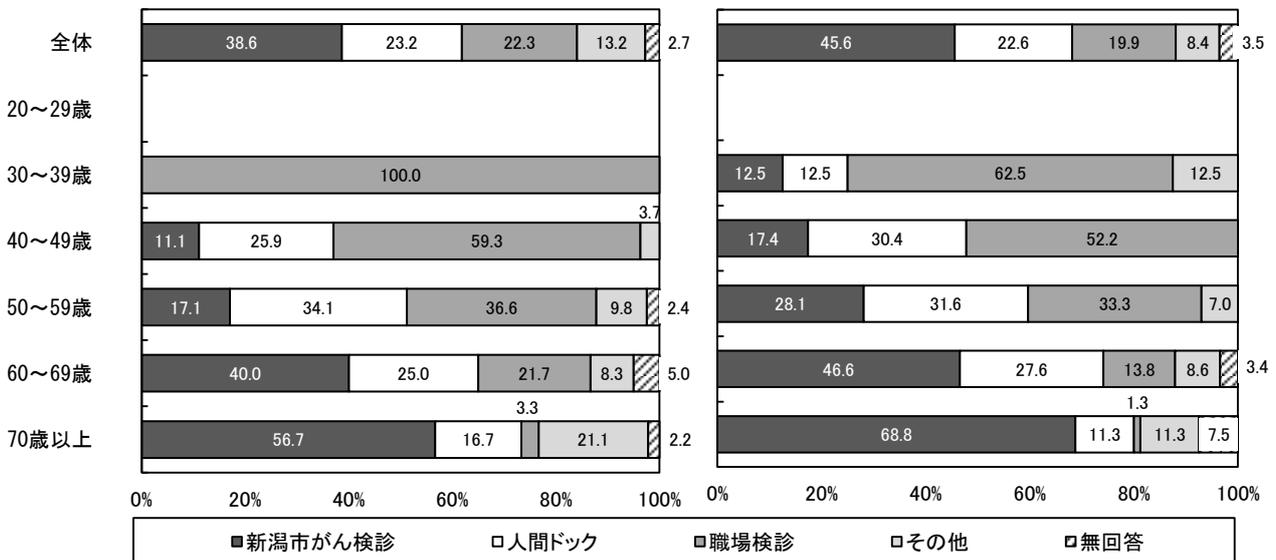


図 5.25-9 がん検診の検診場所

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	455	0	10	51	98	120	174	2
男性	220	0	2	27	41	60	90	0
女性	226	0	8	23	57	58	80	0

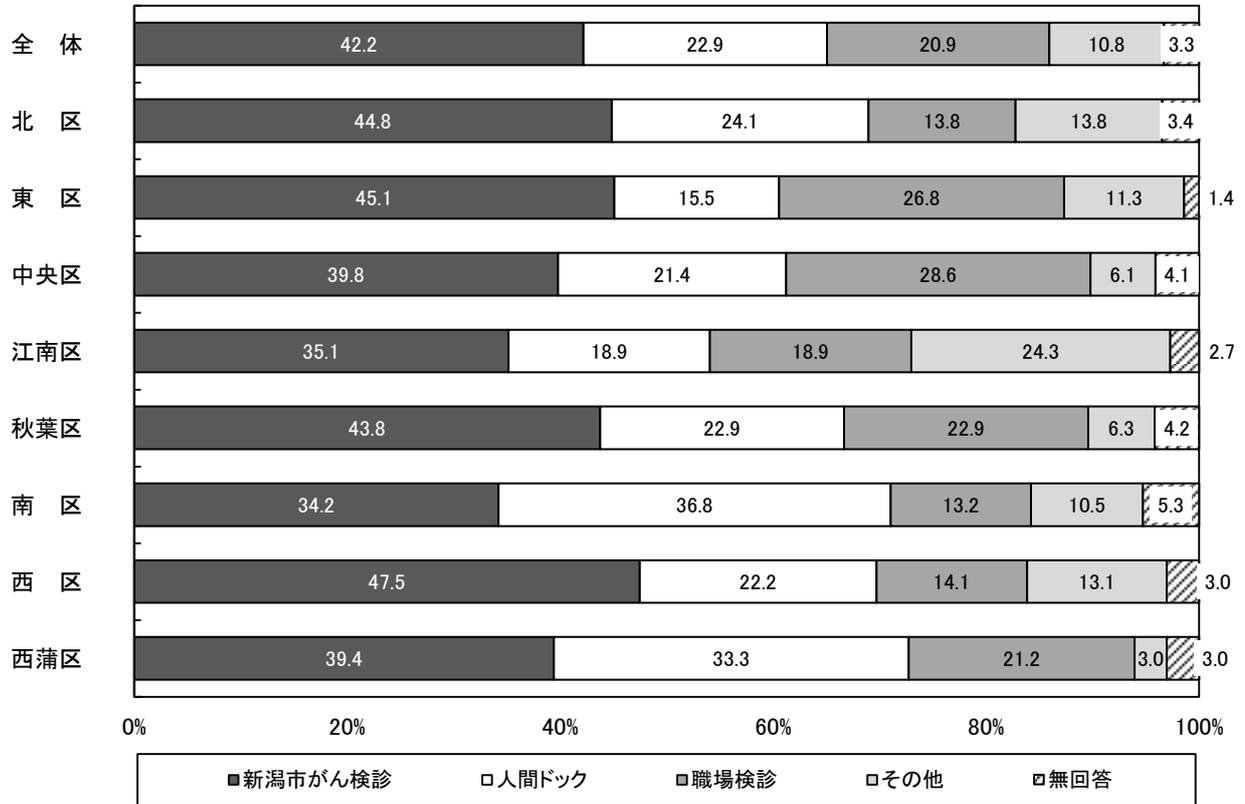
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

南区を除く地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高い。南区では「人間ドック」と回答した割合が最も高くなっている。

図 5.25-10 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
455	29	71	98	37	48	38	99	33	2

(人)

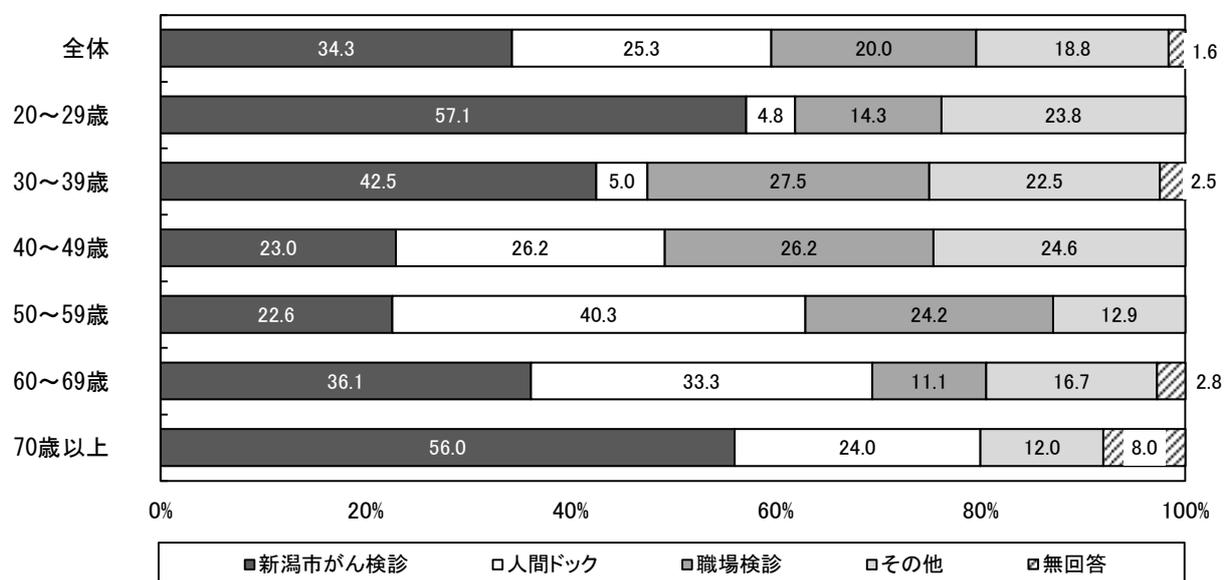
※地区不明者のグラフは省略した。

エ) 子宮頸がん検診

【性別・年齢別】

「新潟市がん検診」の割合は、20歳代と70歳以上で高く、5割を超えている。

図 5.25-11 がん検診の検診場所（年齢別・全体）



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	245	21	40	61	62	36	25	0

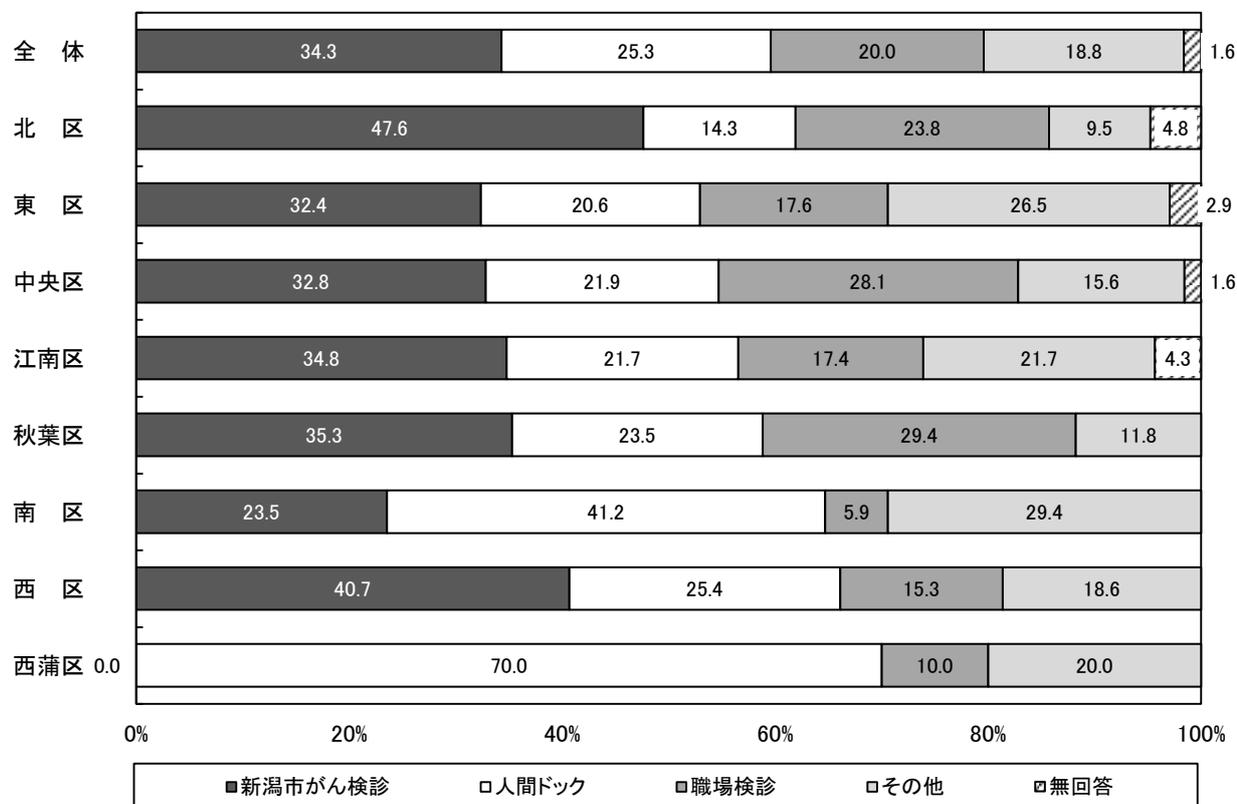
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

南区、西蒲区を除く地区で「新潟市がん検診」と回答した割合が最も高い。南区、西蒲区では「人間ドック」と回答した割合が最も高い。

図 5.25-12 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
245	21	34	64	23	17	17	59	10	0

(人)

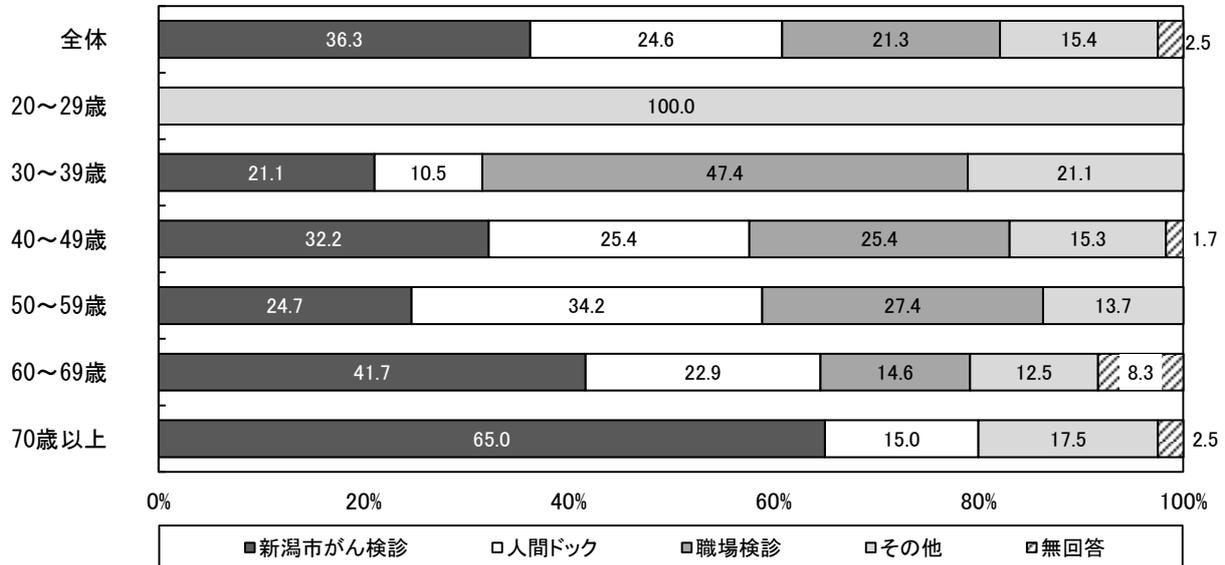
※地区不明者のグラフは省略した。

オ) 乳がん検診

【性別・年齢別】

30歳代では「職場検診」の割合が最も高くなっている。60歳以上では「新潟市がん検診」の割合が最も高くなっている。

図 5.25-13 がん検診の検診場所（年齢別・全体）



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	240	1	19	59	73	48	40	0

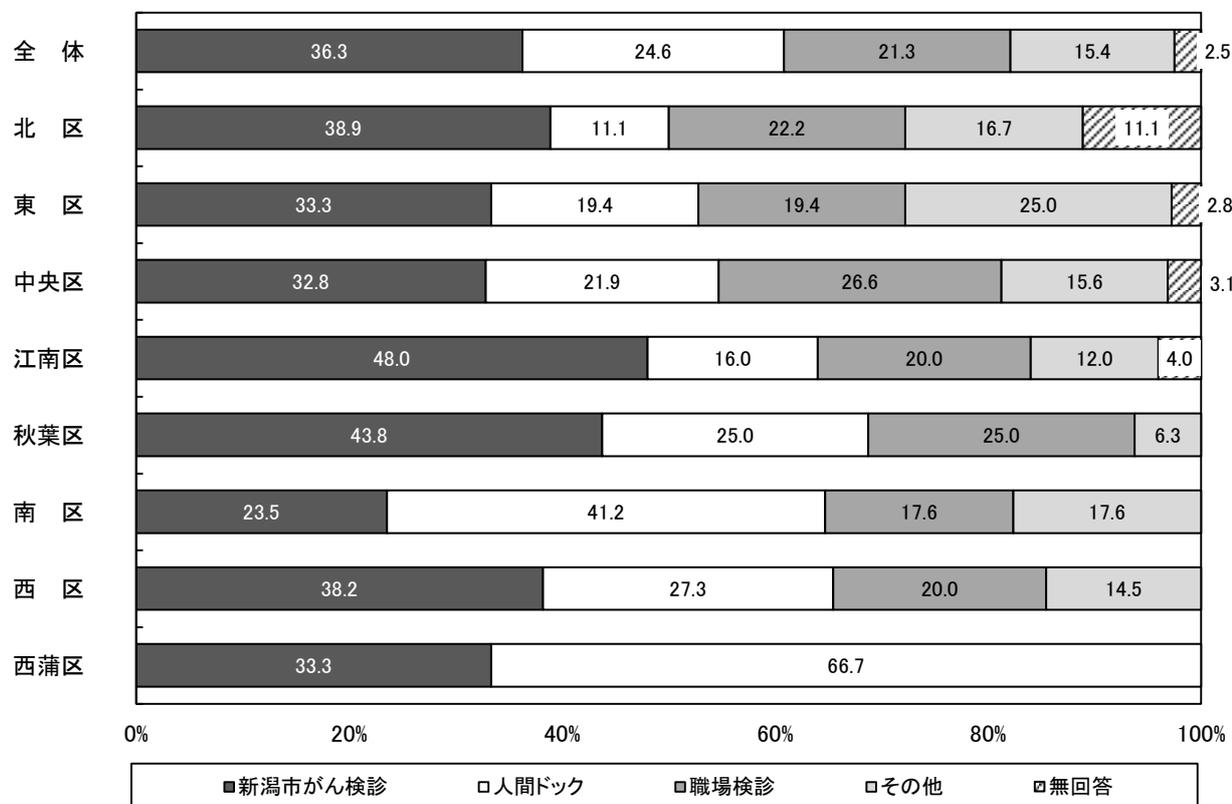
(人)

※年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

南区、西蒲区を除く地区で「新潟市がん検診」と回答した人の割合が最も高い。南区、西蒲区では「人間ドック」と回答した割合が最も高くなっている。

図 5.25-14 がん検診の検診場所（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
240	18	36	64	25	16	17	55	9	0

(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

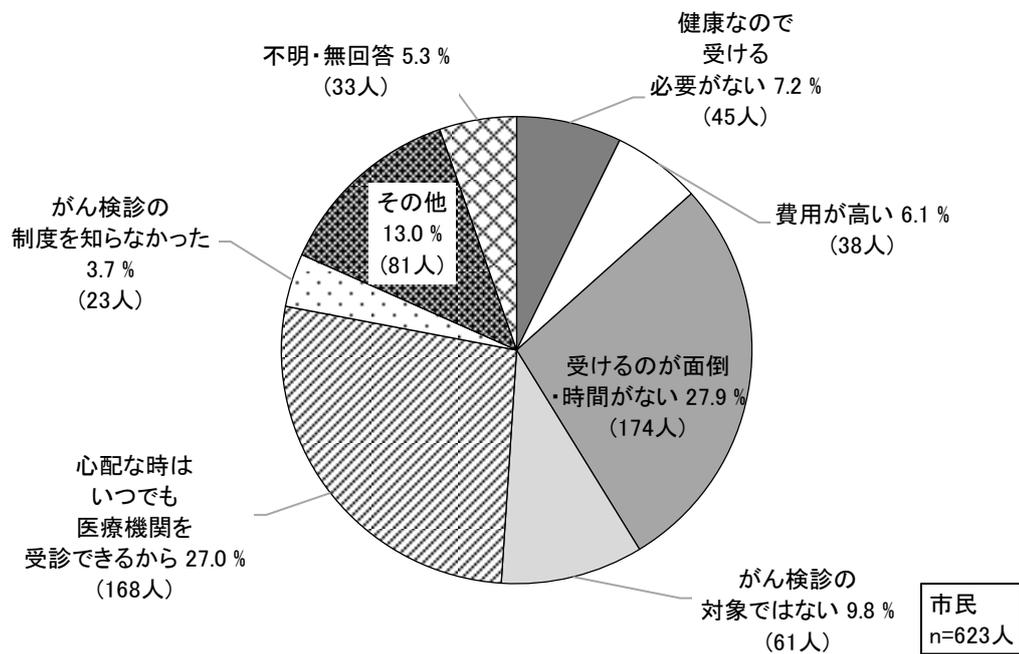
(26) がん検診を受けなかった主な理由

問47 問45で「6 いずれのがん検診も受けていない」に○を付けた方にお尋ねします。
 がん検診を受けなかった主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

「受けるのが面倒・時間がない」と「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が3割弱

がん検診を受けなかった主な理由は、「受けるのが面倒・時間がない」(27.9%)と回答した人が最も多く、以下「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」(27.0%)、「がん検診の対象ではない」(9.8%)、「健康なので受ける必要がない」(7.2%)と続いている。

図 5.26 がん検診を受けなかった主な理由



【性別・年齢別】

30歳代から50歳代は「受けるのが面倒・時間がない」、60歳代以上は「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」と答えた割合が、それぞれ最も高くなっている。

図 5.26-2 がん検診を受けなかった主な理由（年齢別・全体）

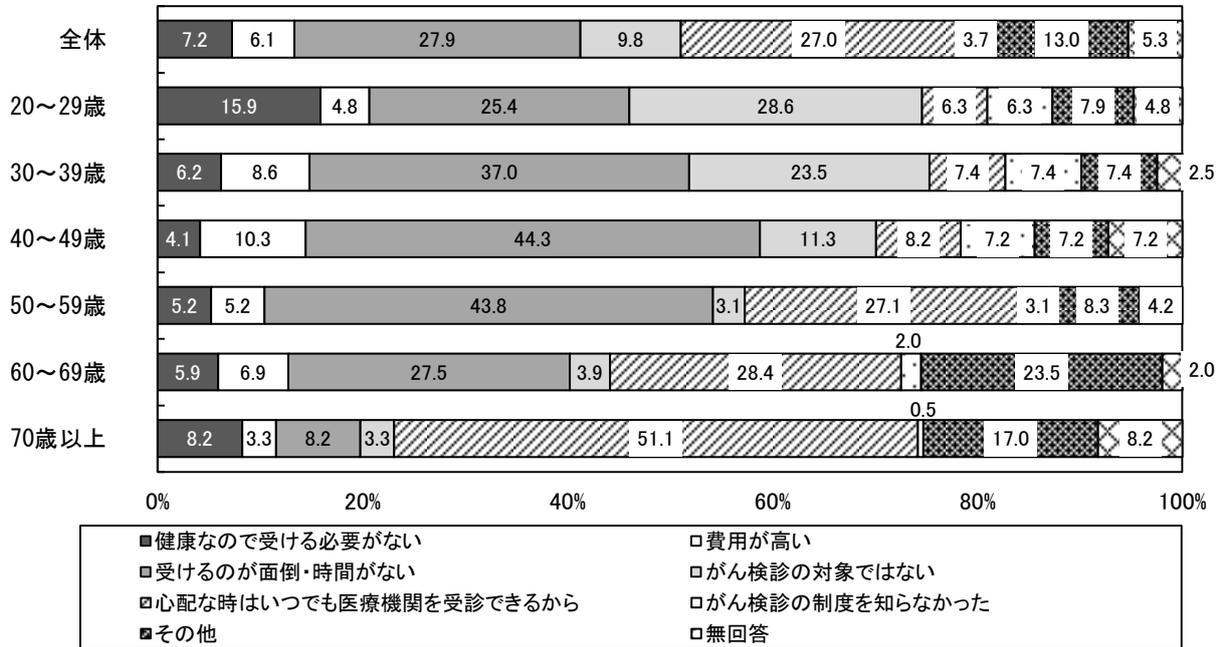
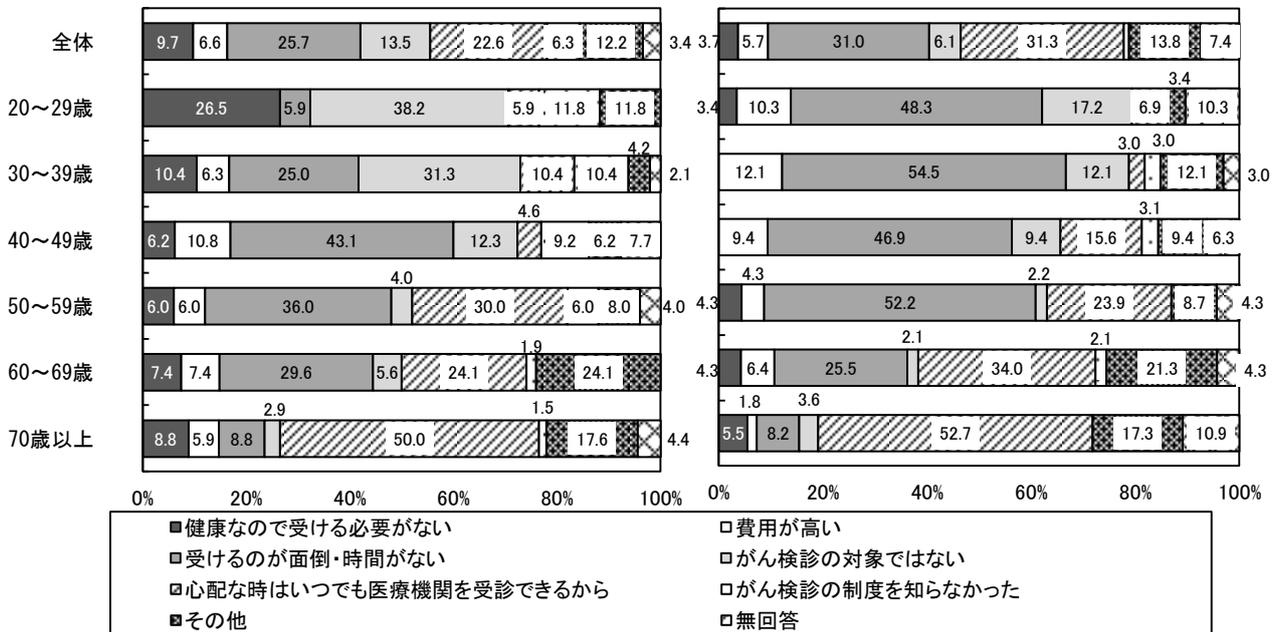


図 5.26-3 がん検診を受けなかった主な理由

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年齢不明
全体	623	63	81	97	96	102	182	2
男性	319	34	48	65	50	54	68	34
女性	297	29	33	32	46	47	110	29

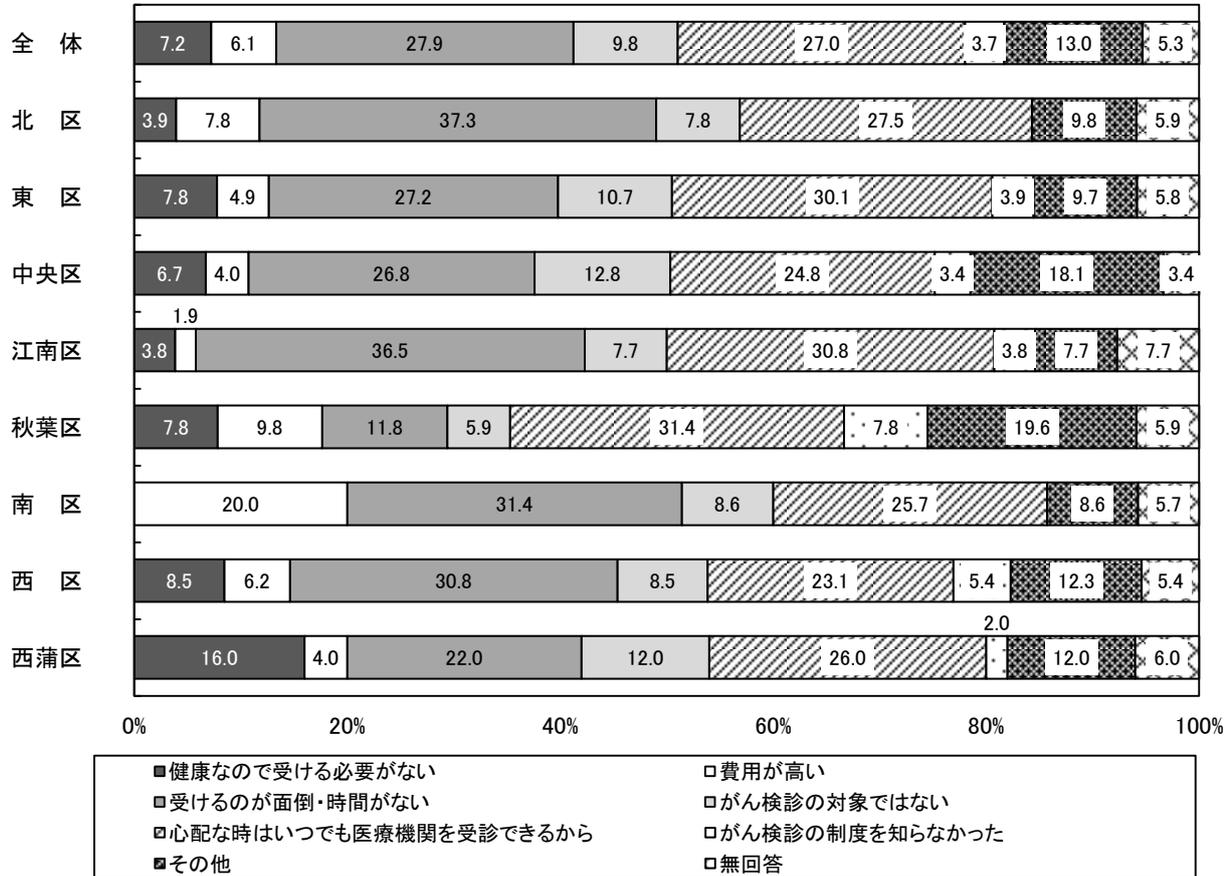
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

東区、秋葉区、西蒲区では「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」と答えた割合が最も高く、他の地区では「受けるのが面倒・時間がない」と回答した割合が最も高くなっている。

図 5.26-4 がん検診を受けなかった主な理由（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
623	51	103	149	52	51	35	130	50	2

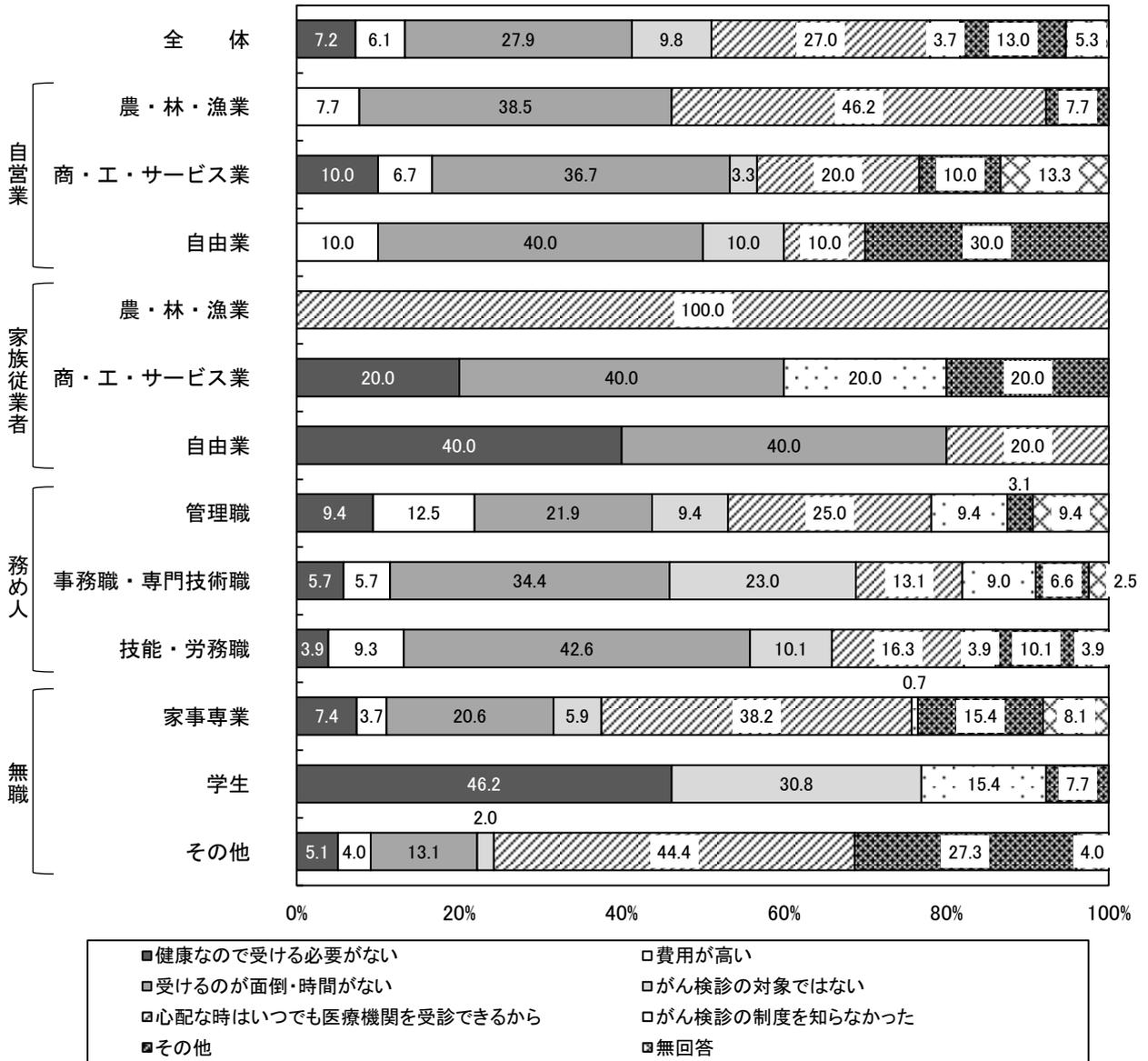
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.26-5 がん検診を受けなかった主な理由（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
623	13	30	10	2	5	5

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
32	122	129	136	13	99	27

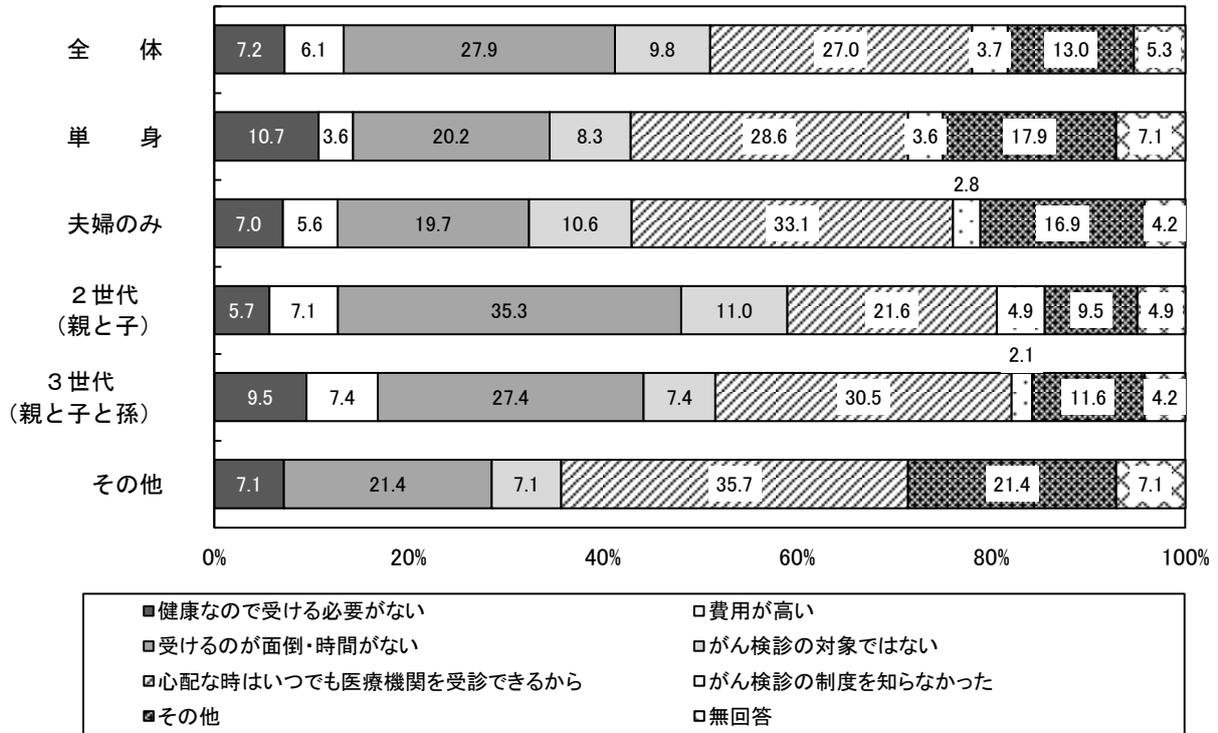
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

2世代を除き、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」と回答した人が、それぞれ最も多くなっている。2世代は「受けるのが面倒・時間がない」と回答した割合が最も高い。

図 5.26-6 がん検診を受けなかった主な理由（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
623	84	142	283	95	14	5

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

(27) 地域の人とのつながりの強さ

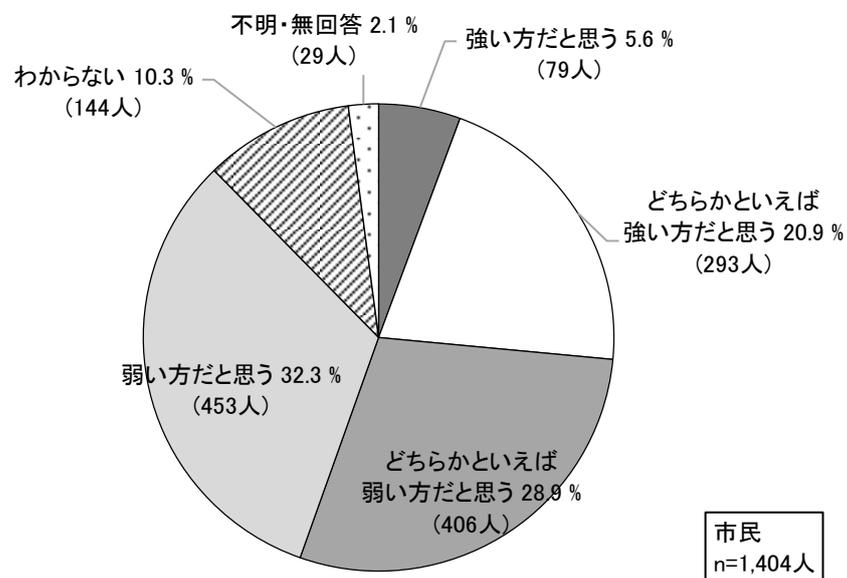
問48 あなたにとってご自身と地域の人たちとのつながりは強い方だと思いますか。(〇は1つだけ)

3割弱が地域の人たちとのつながりは強いと回答

「強い方だと思う」(5.6%)、「どちらかといえば強い方だと思う」(20.9%)と回答した人を合わせた、地域の人たちとのつながりは強いと感じている人の割合は3割弱(26.5%)となっている。

一方、「どちらかといえば弱い方だと思う」(28.9%)、「弱い方だと思う」(32.3%)と回答した人を合わせた、地域の人たちとのつながりは弱いと感じている人の割合は6割強(61.2%)となっている。

図 5.27 地域の人とのつながりの強さ



【性別・年齢別】

すべての年代で、「どちらかといえば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合は、70歳以上（36.7%）で最も高くなっている。

図 5.27-2 地域の人とのつながりの強さ（年齢別・全体）

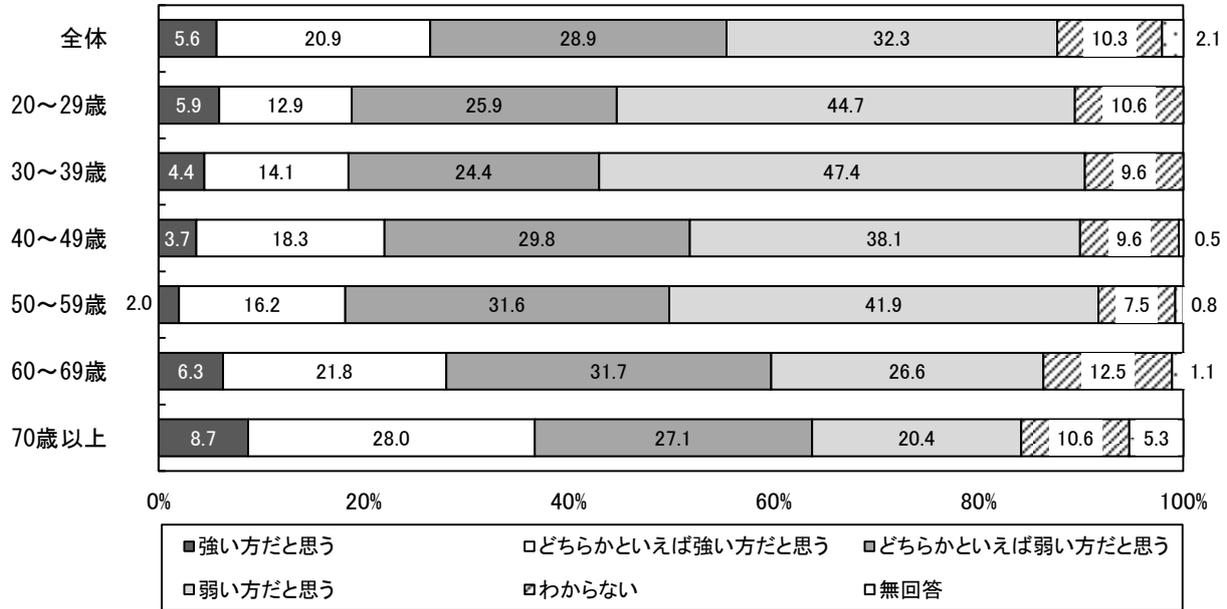
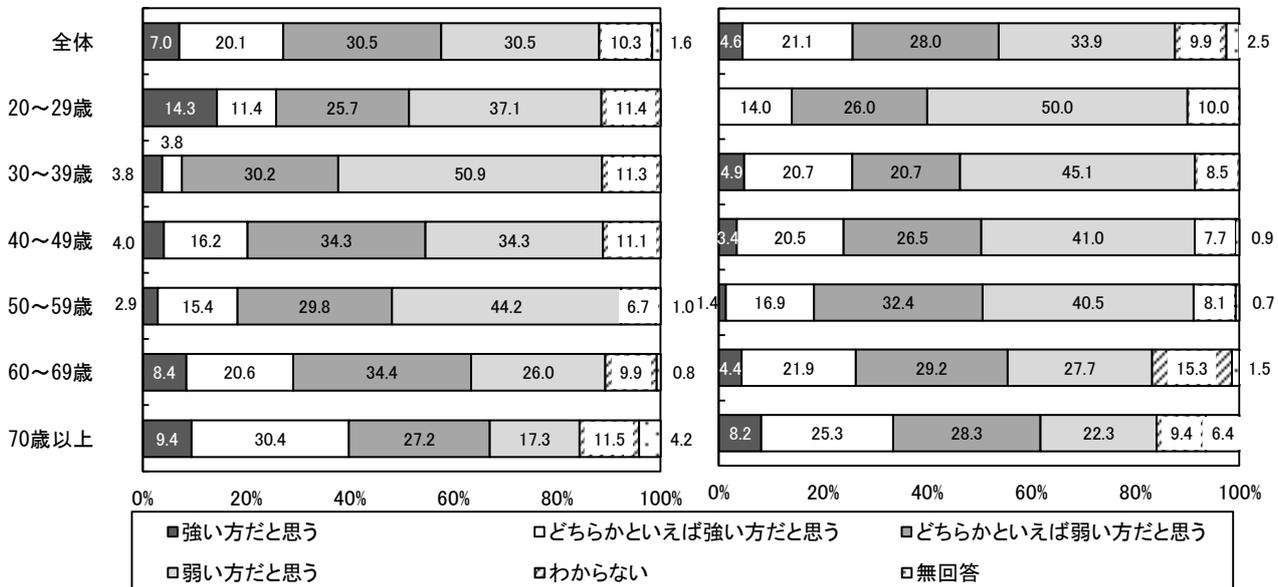


図 5.27-3 地域の人とのつながりの強さ

(年齢別・男性)

(年齢別・女性)



	計	20～29歳	30～39	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,404	85	135	218	253	271	436	46
男性	613	35	53	99	104	131	191	27
女性	767	50	82	117	148	137	233	17

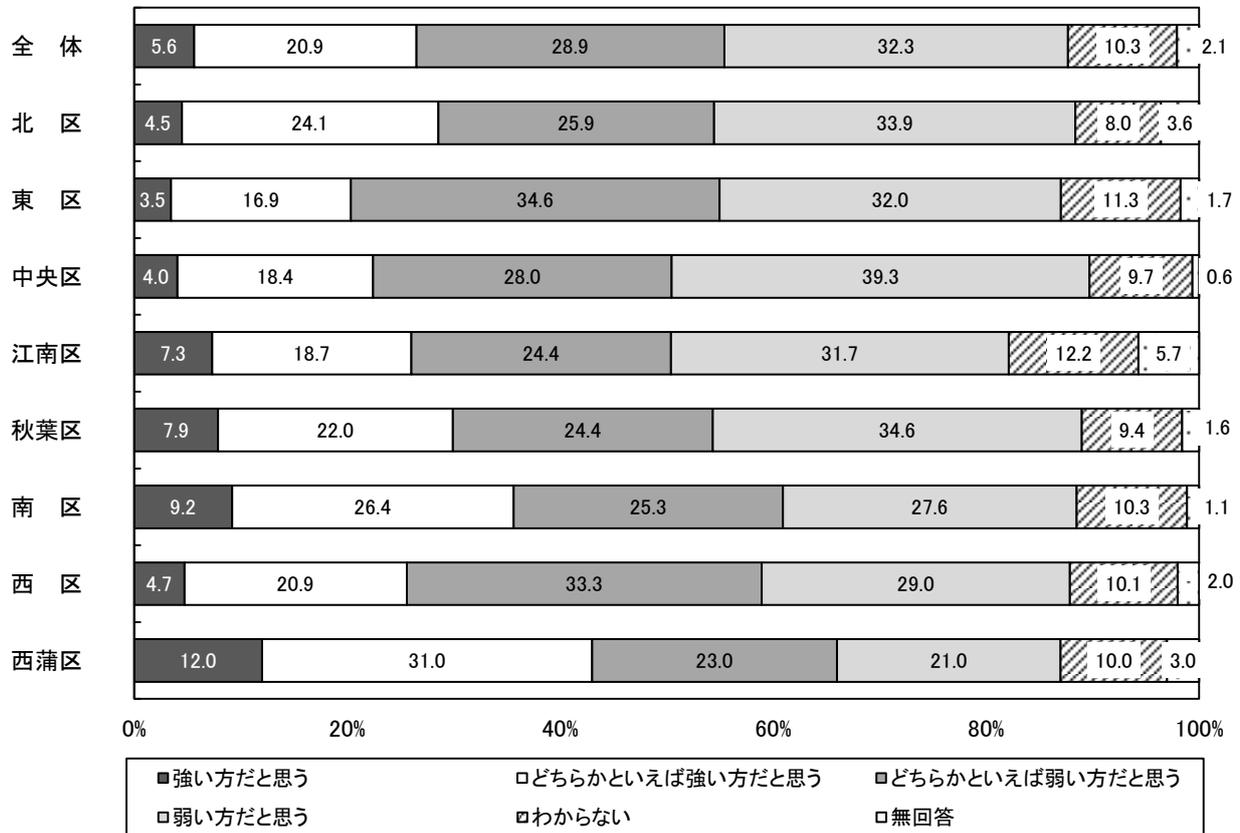
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

すべての地区で「どちらかといえば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合は、西蒲区（43.0%）で最も高い。

図 5. 27-4 地域の人とのつながりの強さ（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,404	112	231	321	123	127	87	297	100	6

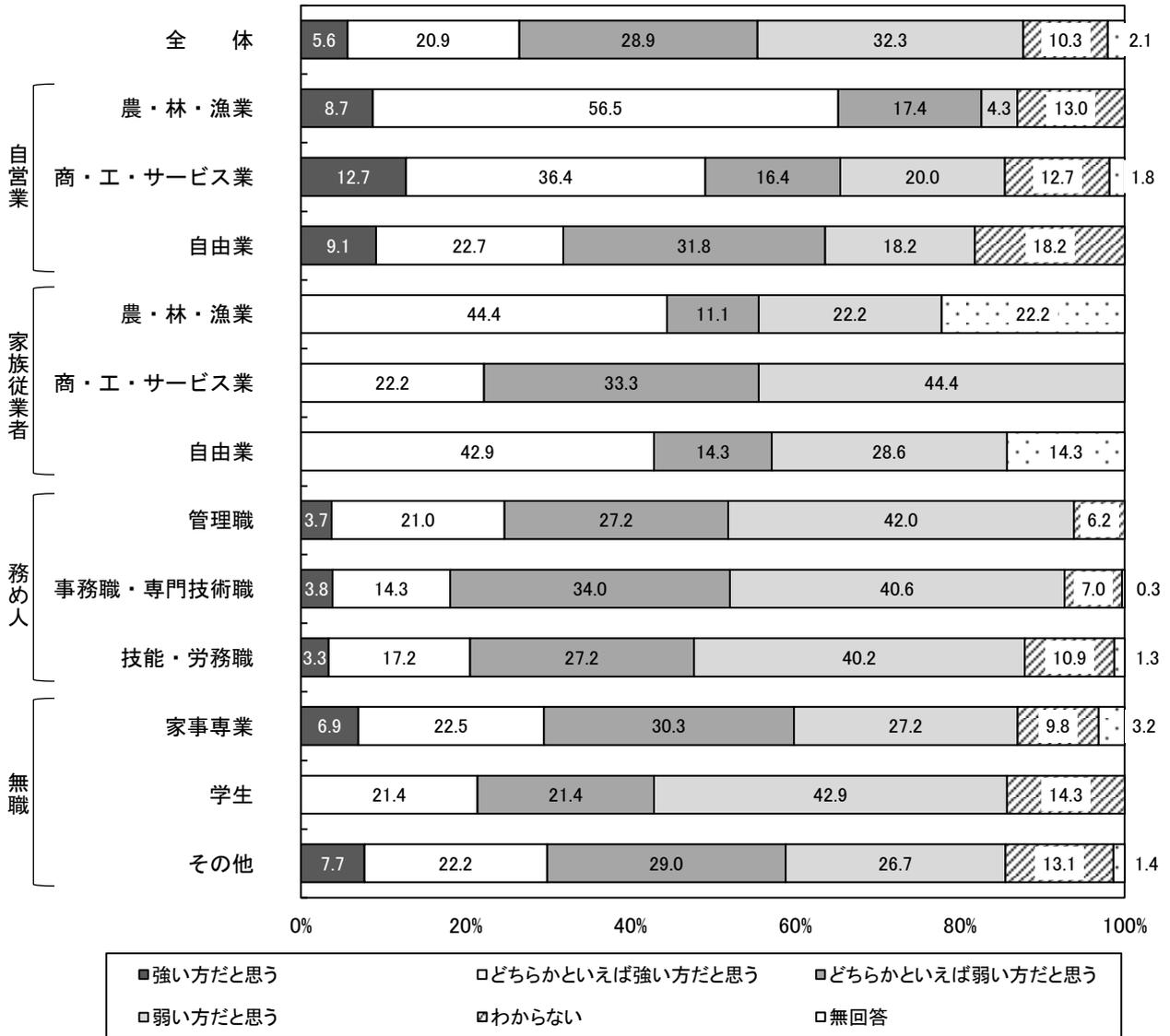
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 5.27-5 地域の人とのつながりの強さ（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,404	23	55	22	9	9	7

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
81	315	239	346	14	221	63

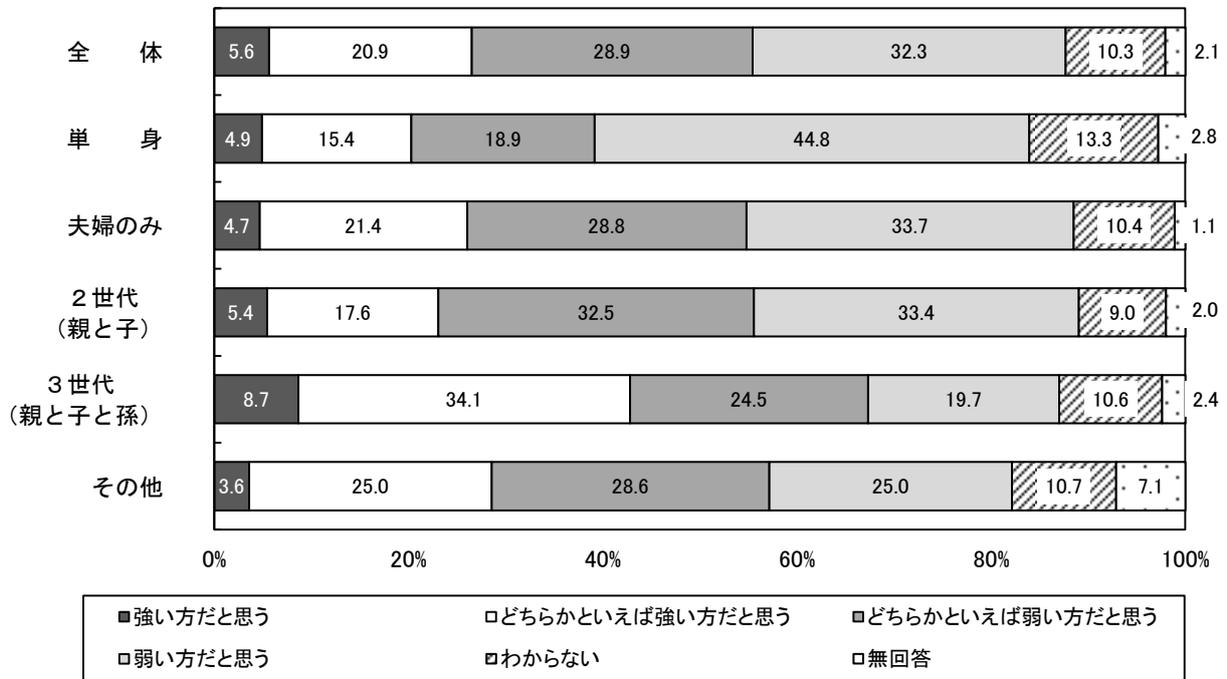
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

各家族構成とも、「どちらかといえば弱い方だと思う」「弱い方だと思う」を合わせた割合が、「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合を上回っている。「強い方だと思う」「どちらかといえば強い方だと思う」を合わせた割合は、3世代（42.8%）で最も高い。

図 5.27-6 地域の人とのつながりの強さ（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,404	143	365	646	208	28	14

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

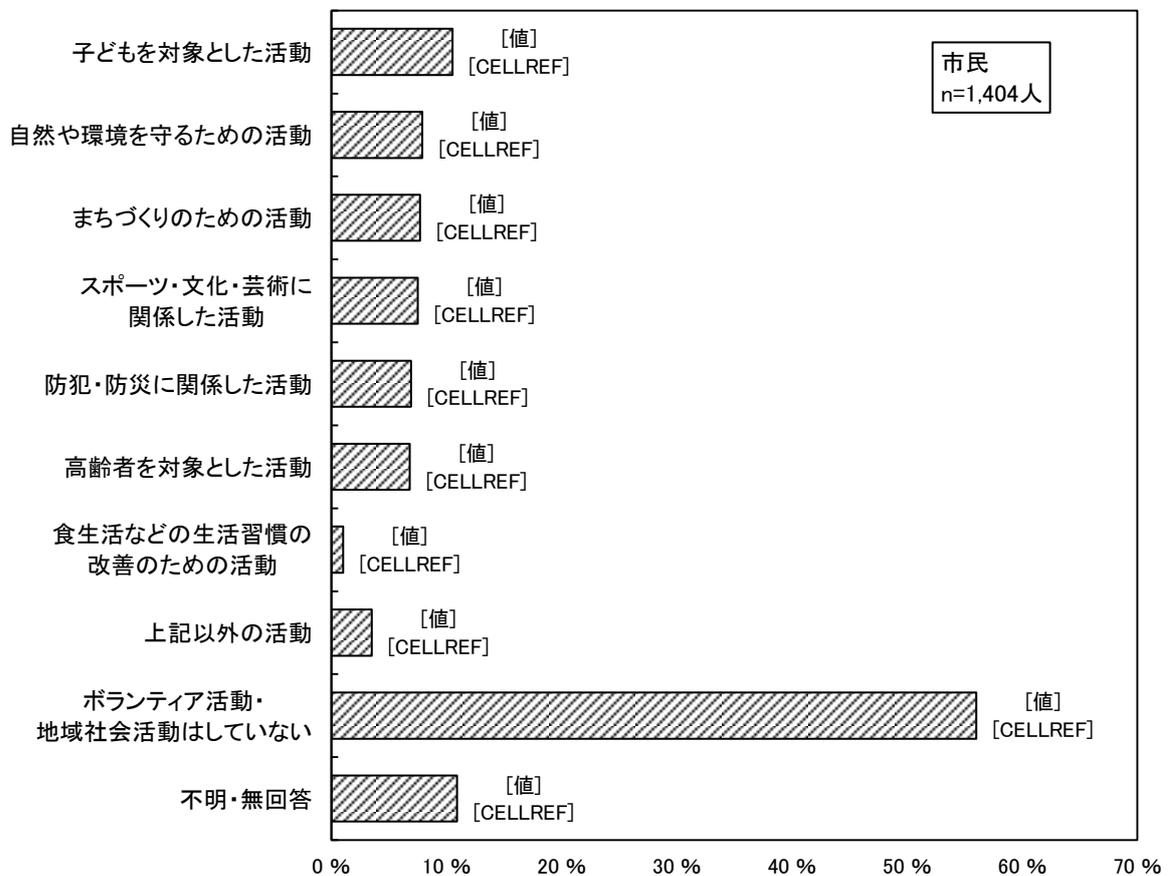
(28) 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況

問49 あなたがこの1年間にボランティア活動（近隣の人への手助け・支援を含む）、地域社会活動（町内会活動・地域行事など）を行いましたか。（○はいくつでも）
※有償・無償にかかわらず

「ボランティア活動・地域社会活動に参加している」人は3割強

「ボランティア活動・地域社会活動はしていない」（56.0%）、「不明・無回答」（10.9%）を除いた、何らかのボランティア活動・地域活動に参加したと回答した人の割合は3割強（33.1%）となっている。その中で、「子どもを対象とした活動」（10.5%）を回答した人が最も多く、以下「自然や環境を守るための活動」（7.9%）「まちづくりのための活動」（7.7%）と続いている。

図 5.28 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況



【性別・年齢別】

各年代とも「ボランティア活動・地域社会活動はしていない」と回答した人の割合が最も高くなっている。30歳代と40歳代では、「子どもを対象とした活動」の割合が、50歳代と60歳代では「自然や環境を守るための活動」の割合が、70歳以上では「高齢者を対象とした活動」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

表 11.1 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況（年齢別・全体）

	対象者	子どもを対象とした活動	自然や環境を守るための活動	まちづくりのための活動	スポーツ・文化・芸術に関する活動	防犯・防災に関する活動	高齢者を対象とした活動	食生活などの生活習慣の改善のための活動	上記以外の活動	ボランティア活動・地域社会活動はしていない	無回答
計	1,404	10.5	7.9	7.7	7.5	6.9	6.8	1.0	3.5	56.0	10.9
20～29歳	85	1.2	1.2	0.0	9.4	0.0	3.5	1.2	2.4	78.8	2.4
30～39歳	135	17.0	6.7	9.6	9.6	5.9	0.7	0.7	3.0	60.7	5.9
40～49歳	218	22.5	7.8	10.6	6.4	4.1	2.8	0.5	3.7	56.9	3.7
50～59歳	253	9.5	9.9	7.5	7.1	7.1	2.8	0.4	3.2	62.1	3.6
60～69歳	271	10.0	10.3	9.6	8.1	10.0	6.6	1.5	3.0	54.6	11.1
70歳以上	436	5.5	7.1	6.2	7.1	7.8	13.8	1.1	4.4	47.0	21.8
年齢不明	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	50.0	16.7

対象者：人/回答：%

表 11.2 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況（年齢別・男性）

	対象者	子どもを対象とした活動	自然や環境を守るための活動	まちづくりのための活動	スポーツ・文化・芸術に関する活動	防犯・防災に関する活動	高齢者を対象とした活動	食生活などの生活習慣の改善のための活動	上記以外の活動	ボランティア活動・地域社会活動はしていない	無回答
計	613	11.4	12.4	11.3	9.5	9.5	5.9	0.7	3.4	55.5	6.9
20～29歳	35	0.0	2.9	0.0	8.6	0.0	5.7	0.0	2.9	80.0	0.0
30～39歳	53	17.0	11.3	7.5	11.3	11.3	1.9	1.9	3.8	58.5	5.7
40～49歳	99	19.2	9.1	10.1	10.1	5.1	1.0	0.0	3.0	57.6	3.0
50～59歳	104	9.6	17.3	13.5	5.8	8.7	1.0	0.0	1.9	58.7	1.9
60～69歳	131	13.7	15.3	15.3	9.9	13.7	4.6	1.5	3.1	55.0	6.1
70歳以上	191	7.3	11.5	11.0	10.5	10.5	13.1	0.5	4.7	47.6	13.6
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 11.3 最近1年間のボランティア活動、地域社会活動の参加状況（年齢別・女性）

	対象者	子どもを対象とした活動	自然や環境を守るための活動	まちづくりのための活動	スポーツ・文化・芸術に関する活動	防犯・防災に関する活動	高齢者を対象とした活動	食生活などの生活習慣の改善のための活動	上記以外の活動	ボランティア活動・地域社会活動はしていない	無回答
計	767	10.2	4.6	5.1	6.1	4.8	7.6	1.2	3.4	56.7	13.7
20～29歳	50	2.0	0.0	0.0	10.0	0.0	2.0	2.0	2.0	78.0	4.0
30～39歳	82	17.1	3.7	11.0	8.5	2.4	0.0	0.0	2.4	62.2	6.1
40～49歳	117	25.6	6.8	11.1	3.4	3.4	4.3	0.9	4.3	56.4	3.4
50～59歳	148	9.5	4.7	3.4	8.1	6.1	4.1	0.7	4.1	64.2	4.7
60～69歳	137	6.6	5.8	4.4	6.6	6.6	8.8	1.5	2.2	54.0	16.1
70歳以上	233	4.3	3.9	2.6	4.3	5.6	14.6	1.7	3.9	47.2	27.9
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%